レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-2810/2710

設置ガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

プリンタを設置するには・・・・・・・・・・・・
パソコンと接続するには・・・・・・・・・・・・
オプション品を取り付けるには・・・・・・・・・ ▶ **設置ガイド（本書）**

基本的な使いかたを知るには・・・・・・・・・・
困ったときには・・・・・・・・・・・・・・・・・ ▶ **ユーザーズガイド**

プリンタドライバをインストールするには・・・
印刷するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・
添付ソフトウェアの使いかたを知るには・・・・ ▶ **LIPSソフトウェアガイド** CD-ROM

ネットワーク環境で使用するには・・・・・・・・ ▶ **ネットワークガイド** CD-ROM
LBP-2810の場合のみ

操作パネルを使ってプリンタを設定するには・・ ▶ **LIPS機能ガイド** CD-ROM

Webブラウザからプリンタを
操作・設定するには・・・・・・・・・・・・・・・ ▶ **リモートUIガイド** CD-ROM
LBP-2810の場合のみ

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル
LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

● 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

このマークがついている分冊は、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

設置ガイドの構成について

第１章 設置する前に

必ずお読みください

第２章 プリンタの設置

必ずお読みください

第３章 オプション品の取り付け

第４章 プリンタの動作と機能を確認する

第５章 付録

各部の寸法や、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内などを掲載しています。

1
2
3
4
5

設置サービスのご案内

本製品の設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合や、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本製品をお買い求めの販売店などへ依頼してください。

目次

第２章　プリンタの設置

第３章　オプション品の取り付け

第４章　プリンタの動作と機能を確認する

第５章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP-2810/2710 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 • 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 • 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 • 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ • 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

• 操作パネル上のキー .... [オンライン]

イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り、LBP-2810 の場合のものです。LBP-2710 の標準状態では、プリントサーバおよび LAN コネクタはありません。(ただし、オプションで装着可能です。)また、HDD ランプは LBP-2710 にはありません。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating system を Windows と表記しています。

キヤノンレーザショット内蔵型プリントサーバ NB-5F をプリントサーバ NB-5F と表記しています。

LASER SHOT LBP-2810 を LBP-2810 と表記しています。

LASER SHOT LBP-2710 を LBP-2710 と表記しています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、Flash Buddy、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

FontGallery、LASER SHOT は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT、PS/55 シリーズ、PS/V シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

NetHawk は、新潟キヤノテック株式会社の商標です。

Novell、NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。

PC-9800 シリーズは、日本電気株式会社の商標です。

Unix は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

安全にお使いいただくために

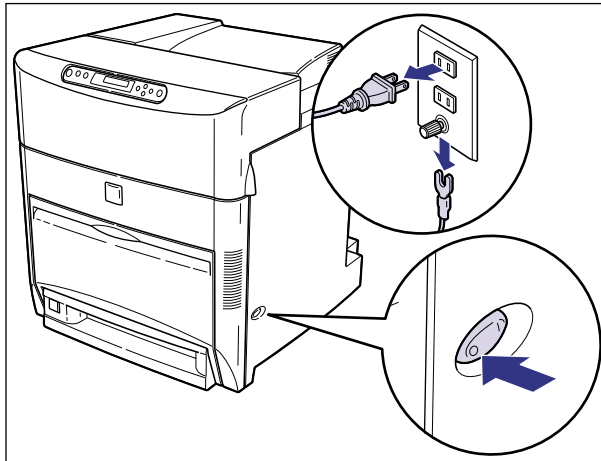
設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に次のような物を置かないでください。
  機器内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。

  ・アクセサリーなどの金属物

  ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 機器には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると機器内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 機器を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

  ・湿気やほこりの多い場所

  ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所

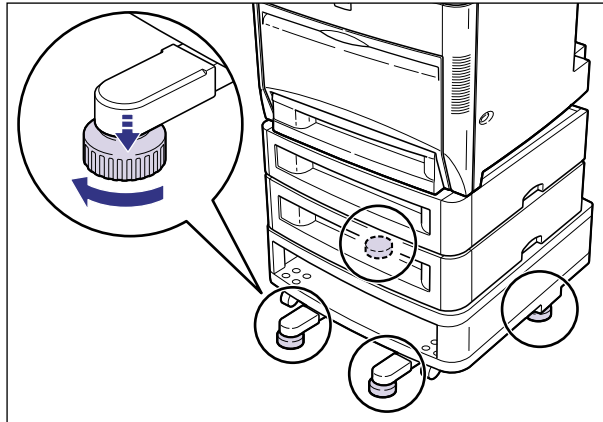
  ・雨や雪が降りかかるような場所

  ・水道の蛇口付近などの水気のある場所

  ・直射日光のあたる場所

  ・高温になる場所

  ・火気に近い場所

- 機器を設置する場合は、機器と床面、機器と機器の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、機器の故障や感電の原因になることがあります。
- 設置したあとは、機器固定用のアジャスタは外さないでください。機器が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 機器を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。機器を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→設置場所に運ぶ：P.2-3）

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱機具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  [アース線を接続してもよいもの]
  ・電源コンセントのアース線端子
  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子
  [アース線を接続してはいけないもの]
  ・水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

・ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。

・電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V15A以上のものを使用してください。使用時は束をほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

注意

- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

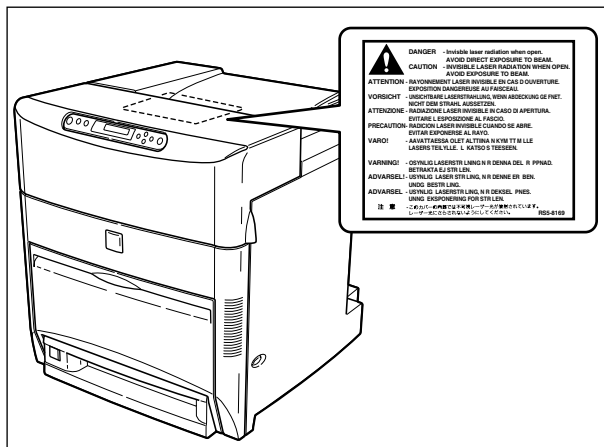
取り扱いについて

警告

- 機器を分解したり、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、機械内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが機器内部の電気部品等に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 機器内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機器内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが機器内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源をオンにした状態でUSBケーブル接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

注意

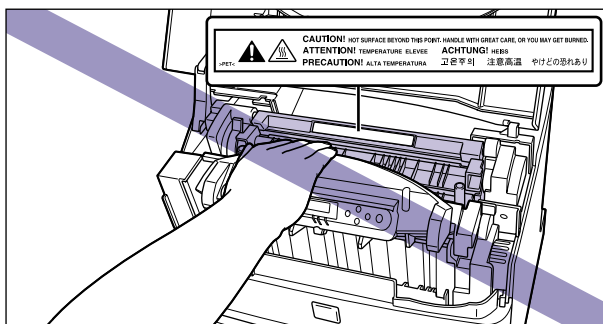
- 機器の上に重い物を置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROMの取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROMの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。

- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。
  - ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機器内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのカートリッジや ETB ユニットを火中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

注意

- 機器内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を機器内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

警告

- カートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- カートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

- カートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

設置する前に

1
CHAPTER

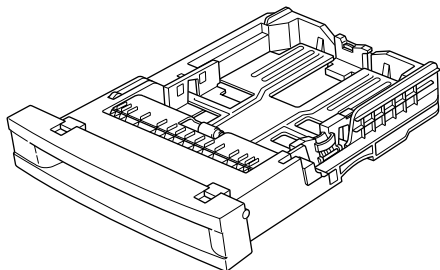
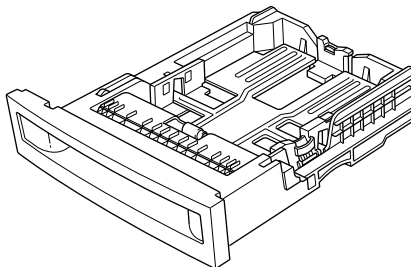
この章では、本プリンタに装着可能なオプション品の紹介と取り付け手順、設置場所の決めかたについて説明しています。

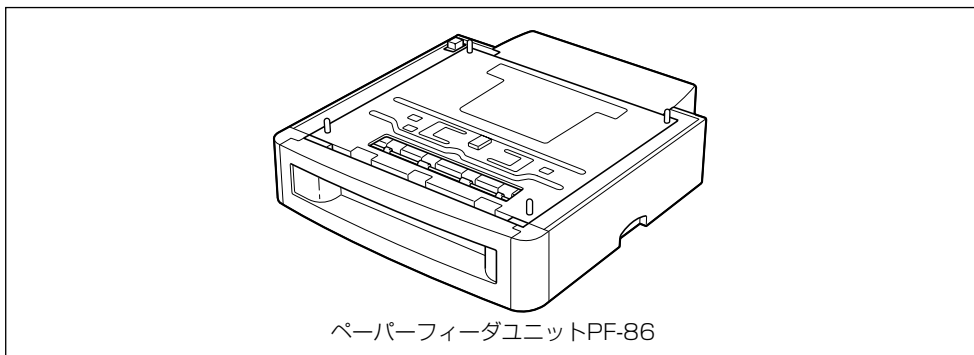
オプション品について

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

給紙カセット

給紙カセットには、500 枚ユニバーサルカセットがあり、定形サイズ（A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ）および定形外のサイズ（幅148.5 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm）の普通紙を最大で約 500 枚（64g/m²）までセットできます。

500 枚ユニバーサルカセットには 2 種類あり、500 枚ユニバーサルカセット UC-86 は、プリンタ本体の標準カセット（カセット 1）と差し替えて使用します。500 枚ユニバーサルカセット UC-86K は、ペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 2 ～ 4）と差し替えて使用します。

ペーパーフィーダ

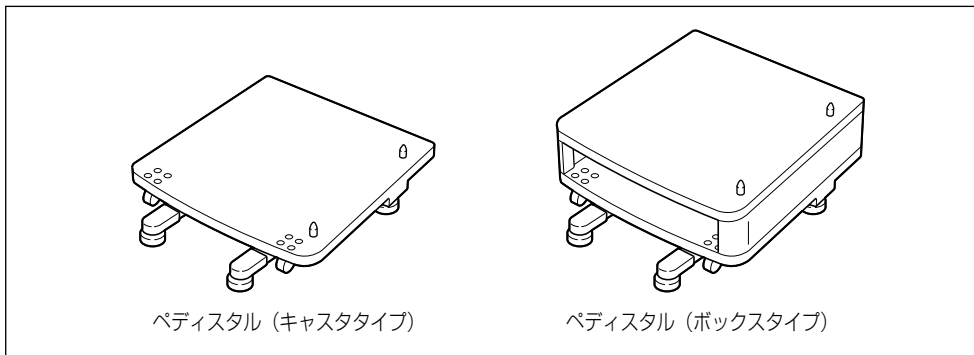
ペーパーフィーダユニットは、500 枚ペーパーフィーダと 500 枚給紙カセットがセットになっています。プリンタ本体の底面に最大 3 つまで（ペディスタル（ボックスタイプ）装着時は 2 つまで）取り付けることができます。500 枚給紙カセットには、定形サイズ（A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ）および定形外のサイズ（幅 148.5 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm）の普通紙を最大で約 500 枚（64g/m2）までセットできます。

ペーパーフィーダユニットPF-86

メモ

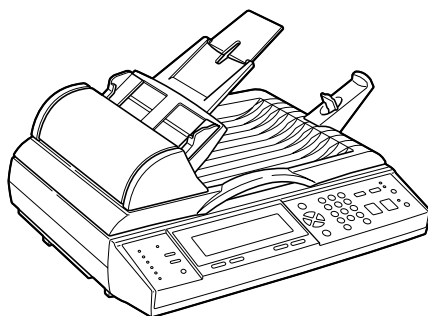
- ペーパーフィーダユニットは、LBP-2810/2710 専用です。他の機種用のペーパーフィーダユニットは使用できません。
- ペーパーフィーダユニットは、最大 3 台まで取り付けることができます。ただし、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は、2 台までです。
- ペーパーフィーダユニットの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（→ P.3-2）を参照してください。

ペディスタル

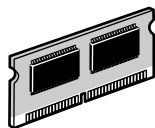
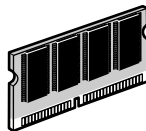
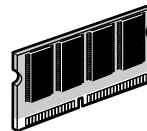
ペディスタルは、本プリンタを操作しやすい高さに設置したり、移動しやすくするための専用台です。プリンタ本体の底面またはペーパーフィーダの底面に取り付けることができます。移動用のキャスタと固定するためのアジャスタが付いています。
ペディスタルには、キャスタタイプとボックスタイプの 2 種類があります。

ペディスタル（キャスタタイプ）　ペディスタル（ボックスタイプ）

メモ
- ペディスタル（キャスタタイプ）を装着した場合、ペーパーフィーダは 3 台まで取り付けることができますが、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は 2 台までです。

ネットワークスキャナ

ネットワークスキャナを本プリンタに接続すると、ネットワークスキャナでダイレクトに文書を読み込みプリントするコピー機能が使えます。また、ネットワークスキャナはインターネットを介して、文書を電子メールで送信することができる機能も備えております。ネットワークスキャナの操作方法などについては、ネットワークスキャナに付属の取扱説明書を参照してください。

ネットワークスキャナ

拡張 RAM

拡張 RAM は、メモリ容量を拡張するための増設メモリです。
LBP-2810 はメインメモリ 32MB、グラフィックメモリ 64MB を標準装備しています。
LBP-2710 はメインメモリ 32MB、グラフィックメモリ 32MB を標準装備しています。
メインメモリは、描画処理用のメモリで「23　ダウンロード　メモリフル」、「26　システムメモリ　フル」、「28　ビョウガメモリ　フル」、「32　リョウメン　フカノウ」、「33　ワークメモリ　フル」、「36　カイチョウ　テイカ」、「38　ガシツテイカ」などのエラーメッセージが表示されてプリントできないときに増設します。グラフィックメモリは、メインメモリで作成したプリント用のデータを一時的に記憶しておくためのメモリで「39　G-RAM　フル」が表示されてプリントできないときに増設します。
拡張 RAM はメインメモリ用、グラフィックメモリ用の専用スロットがあり、それぞれ 1 個ずつ増設可能で、メモリ総容量をメインメモリ、グラフィックメモリとも最大 256MB まで増やすことが可能です。

64MB（RD-64MS）　128MB（RD-128MS）　256MB（RD-256MS）

●メインメモリ増設時の印字保証サイズ（LBP-2810/2710 共通）

拡張 RAM	取り付け後の容量	印字保証サイズ
なし	32MB	B4
64MB	96MB	リーガル× 4
128MB	160MB	A3 × 4
256MB	256MB	B4 × 8

●グラフィックメモリ増設時の印字保証サイズ（LBP-2810 の場合）

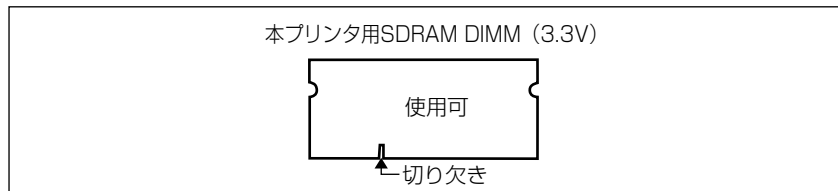
拡張 RAM	取り付け後の容量	印字保証サイズ
なし	64MB	A3 × 2
64MB	128MB	A3 × 4
128MB	192MB	B4 × 8
256MB	256MB	A3 × 8

●グラフィックメモリ増設時の印字保証サイズ（LBP-2710 の場合）

拡張 RAM	取り付け後の容量	印字保証サイズ
なし	32MB	B4
64MB	96MB	B4 × 4
128MB	160MB	リーガル× 8
256MB	256MB	A3 × 8

表中の印字保証サイズは、「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」、「両面印刷」を「シナイ」、「データ処理」を「ファイン」、「階調処理」を「ヒョウジュン」、「ハードディスク」を「ツカワナイ」に設定した場合のカラープリント時の値です。

用紙サイズ（面積）は大きい順に、A3、レジャー、B4、角形 2 号封筒、リーガル、A4、レター、エグゼクティブ、B5、A5、洋形 4 号封筒、ハガキです。

重要
- 拡張 RAM は、必ず本プリンタに対応した 3.3V 用 SDRAM DIMM をご使用ください。キヤノン製拡張 RAM（RD-64MS、RD-128MS、RD-256MS）のご使用をおすすめします。

- 従来の拡張 RAM DIMM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-16ML、RD-32ML、RD-64ML）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

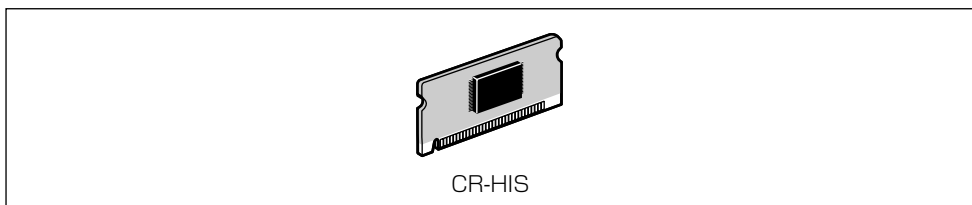
メモ

- 印字保証サイズについては、「印字調整グループの設定項目」（→ LIPS 機能ガイド）を参照してください。
- 本プリンタに 256MB（RD-256MS）を取り付けた場合、総容量は 288MB または 320MB になりますが、使用可能な容量は 256MB までです。
- オーバレイなどの大量の登録データを処理する場合にも拡張 RAM（メインメモリ）の増設が必要です。
- メインメモリとグラフィックメモリはそれぞれ別のスロットに取り付けますので、1 つの拡張 RAM をメインメモリとグラフィックメモリで共有することはできません。
- 拡張 RAM の取り付けかたについては、「RAM/ROM」（→ P. 3-32）を参照してください。

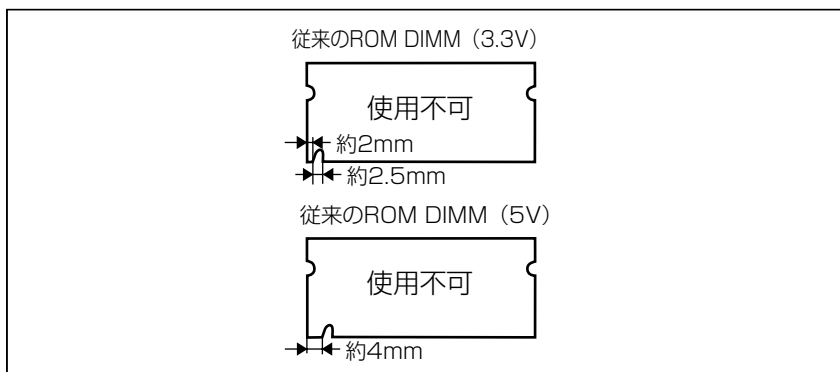
コントロール ROM（LBP-2810 のみ）

コントロール ROM は、エミュレーションモードを追加するための ROM です。本プリンタを、お使いのパソコンに対応した専用プリンタのように動作させることができます。1 枚のコントロール ROM に、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。

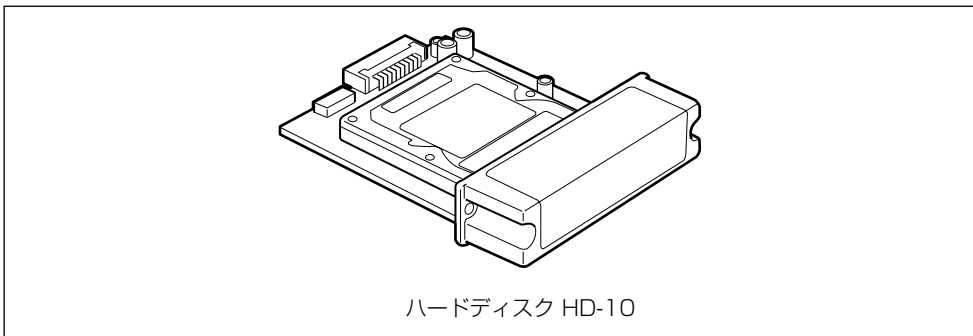
- IBM5577 プリンタエミュレーション
- HP-7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション
- バーコードフォント ROM（FR-BFV2CL 相当）

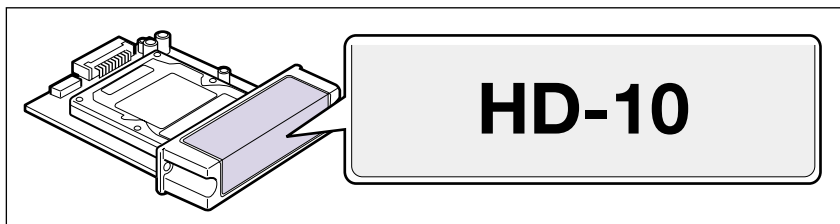
本プリンタには、コントロール ROM を 1 個のみ増設可能です。

重要

- コントロール ROM は、必ず本プリンタに対応したもの（CR-HIS）をご使用ください。

- 従来のコントロール ROM（CR-5577/2、CR-359/2、CR-5273/2、CR-7550/C、CR-201/2、CR-ES/2、CR-5577L、CR-359L、CR-5273L、CR-7550L、CR-201L、CR-ESL、CR-MEL）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

メモ
- コントロール ROM の取り付けかたについては、「RAM/ROM」（→ P.3-32）を参照してください。

ハードディスク（LBP-2810 のみ）

ハードディスクは、受信したプリントジョブを一時的に保存するためのプリンタ内蔵型ハードディスクです。ハードディスクを取り付けることにより、プリントジョブのスプールやセキュアプリント、電子ソート、rip once（リップワンス）などの機能が使えるようになります。

ハードディスク HD-10

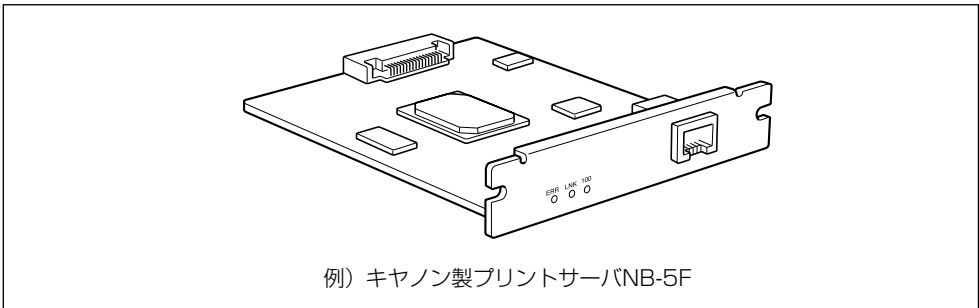
重要
- 本プリンタに装着可能なハードディスクは、ラベルに「HD-10」と記載されているもののみです。「HD-10」と記載されていないハードディスクを誤って使用した場合は、正しく動作しません。

- ハードディスクを使用するときは、64MB 以上の拡張 RAM（メインメモリ）の増設が必要です。併せて取り付けてください。
- ハードディスクを使用するときは、セットアップメニューの「タイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定することをおすすめします。

メモ
- ハードディスクの取り付けかたについては、「ハードディスク（LBP-2810 のみ）」（→ P.3-44）を参照してください。

1

設置する前に

プリントサーバ

プリントサーバは、本プリンタを LAN に接続するためのプリンタ内蔵型ボードです。IPX/SPX、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、AppleTalk のプロトコルに対応したものがありますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare®、イントラネットなど幅広い LAN システムに対応可能です。専用のネットワーク管理ソフト「NetSpot Device Installer」や「NetSpot Console」はプリンタに標準同梱されています。

例）キヤノン製プリントサーバNB-5F

メモ
- 装着できるプリントサーバについては、「パソコンと接続する」（→ P.2-32）を参照してください。
- プリントサーバの取り付けかたについては、「プリントサーバ」（→ P.3-55）を参照してください。

プログラマーズマニュアル

本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。次の 3 種類が用意されています。

プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書 4.2」

（LIPS コマンドの概要を知るためのマニュアル）

プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」

（LIPS コマンドの手引き）

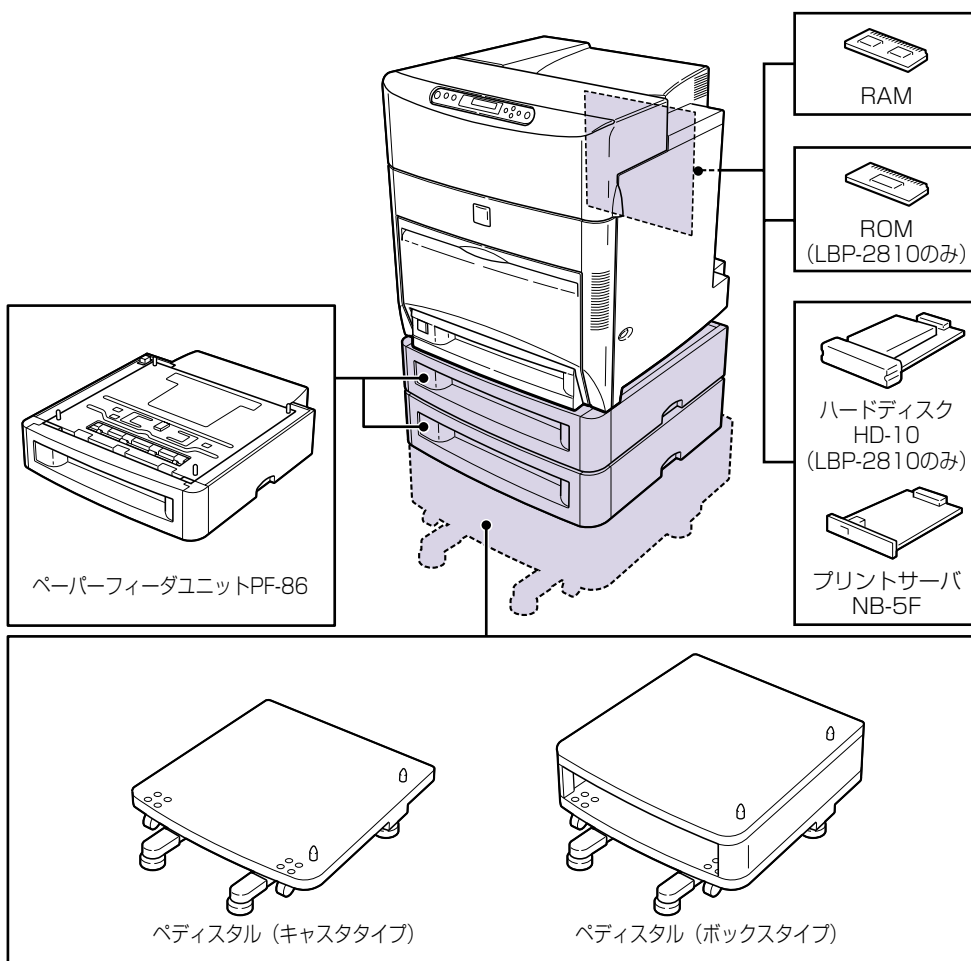
プログラマーズマニュアル「クックブック 4.2」

（プログラムサンプル集）

メモ
- LIPS IV のプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

設置手順について

本プリンタは、取り付けるオプション品によって、設置する手順が異なります。お買い求めになったオプション品の内容を確認し、次表の手順で作業を行ってください。

オプション品の取り付け位置

設置の手順

お客様の設置状況に合わせ、該当する手順にそって作業を進めてください。オプション品を取り付けない場合は、（オプション）と表記された手順は読み飛ばしてください。

手順	内容
1	（オプション）ペディスタルの設置（→P.3-20） ペーパーフィーダの設置（→P.3-2）
2	プリンタ本体の設置（→P.2-3）
3	カートリッジのセット（→P.2-11）
4	用紙のセット（→P.2-24）
5	（オプション）ネットワークスキャナの取り付け（→付属の取扱説明書） RAM/ROMの取り付け（→P.3-32） ハードディスクの取り付け（LBP-2810のみ）（→P.3-44） プリントサーバの取り付け（→P.3-55）
6	本体とパソコンの接続（→P.2-32）
7	電源コード、アース線の接続（→P.2-44）

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

重要 ●本プリンタを設置する前に、「⚠ 安全にお使いいただくために」（→ P.viii）を必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

・周囲温度：10 ～ 30 ℃

・周囲湿度：10 ～ 80%RH（結露のないこと）

重要
- 次のような場合は、プリンタ内部に水滴が生じる（結露）ことがあります。本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、1 時間以上放置してからご使用ください。
  - ・本プリンタが設置されている部屋を急激に暖めた場合
  - ・本プリンタを温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた場合
- プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。また「5F-nn　サービスコール」というメッセージが表示され、プリント処理が停止することがあります。詳しくは、「メッセージが表示されたときには」（→ユーザーズガイド）を参照してください。

■ **超音波加湿器をご使用のお客様へ**

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

LBP-2810 の最大消費電力は 1120W ＊以下、LBP-2710 の最大消費電力は 1110W ＊以下です（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊注：フルオプション装着時（ネットワークスキャナを除く）は LBP-2810 が 1150W、LBP-2710 が 1130W 以下です。ただしこの値は、起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

電源を取るときは、次の事項をお守りください。

· 必ず 15A 以上の電源コンセントから、プリンタの電源を取ってください。

· アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

警告
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

重要
- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントから電源を取らないでください。
- 複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取らないでください。

設置条件

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

· 十分なスペースが確保できる場所

· 風通しがよい場所

· 平坦で水平な場所

· 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

警告
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

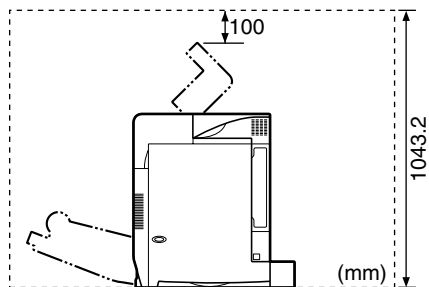
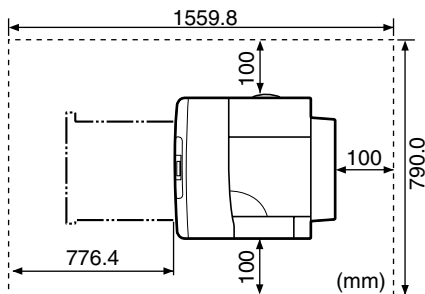
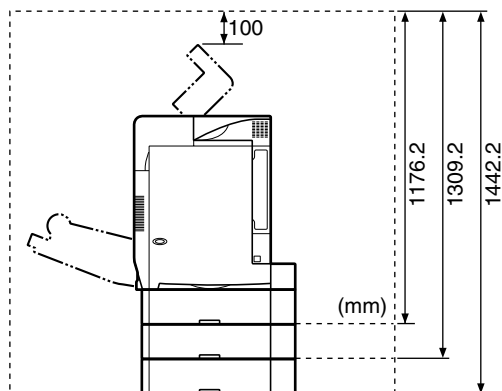
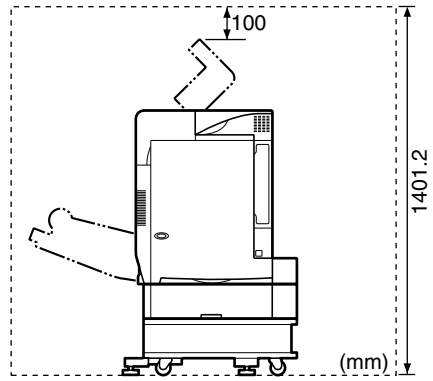
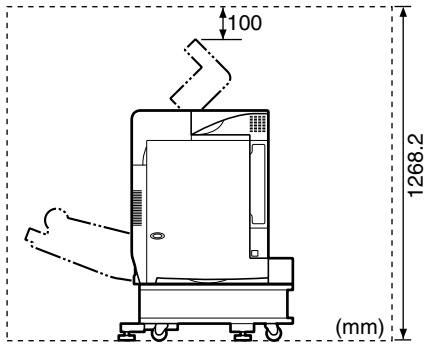
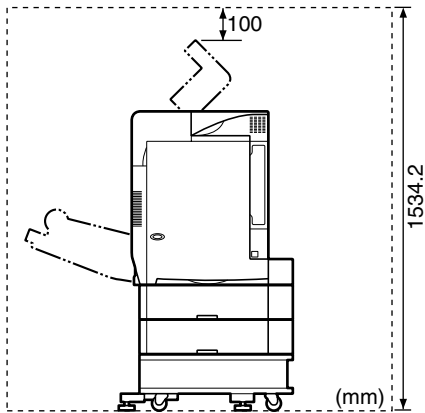
注意
- 本プリンタを次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ·湿気やほこりの多い場所
  - ·調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ·雨や雪が降りかかるような場所
  - ·水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ·直射日光のあたる場所
  - ·高温になる場所
  - ·火気に近い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 本プリンタは次のような場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。
  - ·急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所
  - ·風通しの悪い場所
  - ·磁気や電磁波を発生する機器の近く
  - ·実験室など、化学反応を起こすような場所
  - ·空気中に、塩分やアンモニアガスなどの腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
  - ·本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）

設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

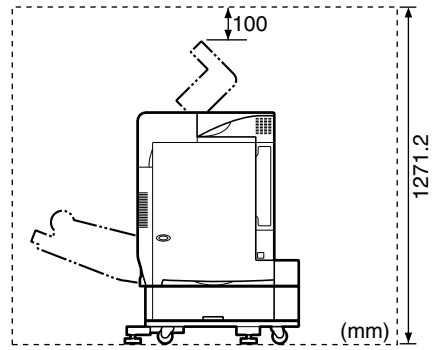
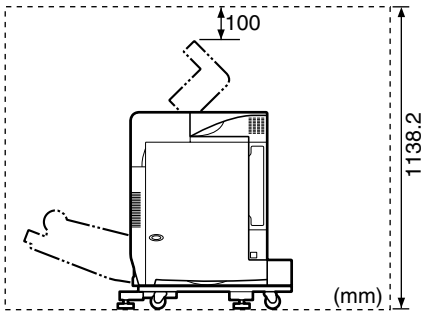
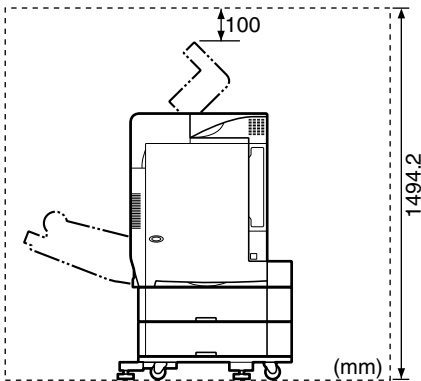
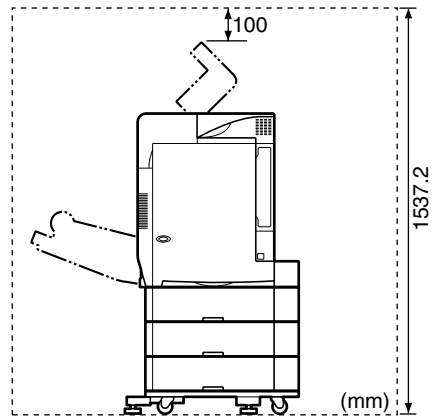
周囲に必要なスペース

●標準状態

●ペーパーフィーダ装着状態

●ペディスタル（ボックスタイプ）装着状態

ペディスタル（ボックスタイプ）
＋ペーパーフィーダ1台

ペディスタル（ボックスタイプ）
＋ペーパーフィーダ2台

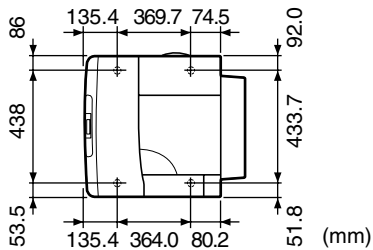
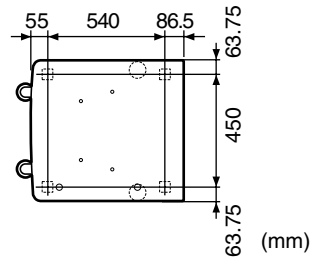
●ペディスタル（キャスタタイプ）装着状態

ペディスタル（キャスタタイプ）
＋ペーパーフィーダ1台

ペディスタル（キャスタタイプ）
＋ペーパーフィーダ2台

100
1537.2
(mm)

ペディスタル（キャスタタイプ）
＋ペーパーフィーダ3台

足の位置

●本体

●ペディスタルのキャスタ、アジャスタの位置

メモ

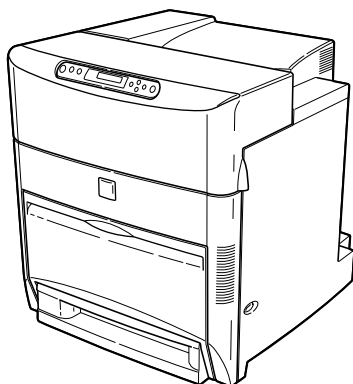
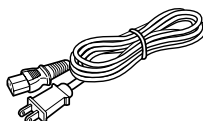
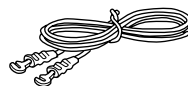
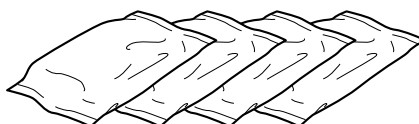
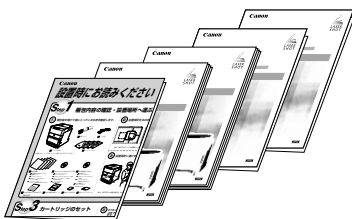
- プリンタ本体のゴム足の高さは 2mm、先端の直径は 20mm です。

プリンタの設置

2
CHAPTER

この章では、本プリンタをパッケージから取り出して設置するまでの手順について説明しています。オプション品を同時に取り付ける場合には、第 3 章「オプション品の取り付け」と併せてお読みください。

パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。

□ プリンタ本体
（給紙カセット、ETBユニットは取り付けられています。）

□ 電源コード

□ アース線

□ カートリッジ×4

□ 取扱説明書
- ■ 設置時にお読みください
- ■ 設置ガイド
- ■ ユーザーズガイド
- ■ LIPSソフトウェアガイド／スタート編
- ■ ネットワークガイド／スタート編(LBP-2810のみ)

□ LIPS IV User Software CD-ROM
- ■ ユーティリティソフト
- ■ プリンタドライバ
- ■ LIPSソフトウェアガイド／本編
- ■ ネットワークガイド／本編(LBP-2810のみ)
- ■ リモートUIガイド(LBP-2810のみ)

□ 取扱説明書CD-ROM
- ■ 設置ガイド
- ■ ユーザーズガイド
- ■ LIPSソフトウェアガイド／本編
- ■ ネットワークガイド／本編(LBP-2810のみ)
- ■ LIPS機能ガイド
- ■ リモートUIガイド(LBP-2810のみ)

□ FontGallery Deluxe CD 全書体見本

□ 保証登録書/封筒セット

□ 用紙サイズ表示板

□ 用紙サイズラベル×2

メモ
- 本プリンタにはプリンタケーブルは付属していません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

設置場所に運ぶ

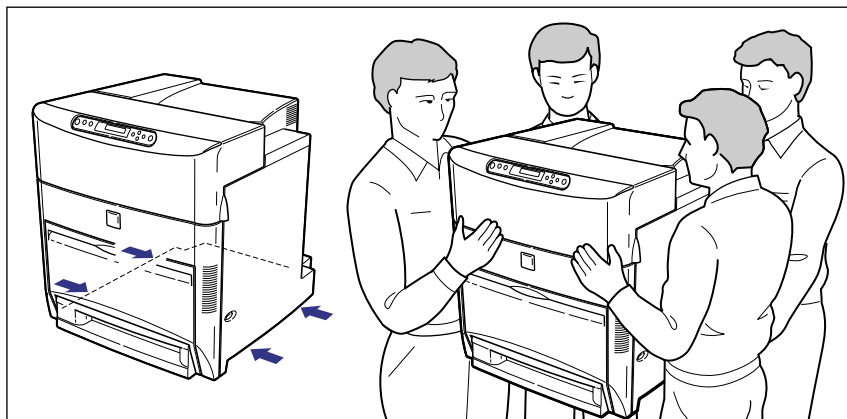
設置場所が確保できたら、本プリンタをパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。

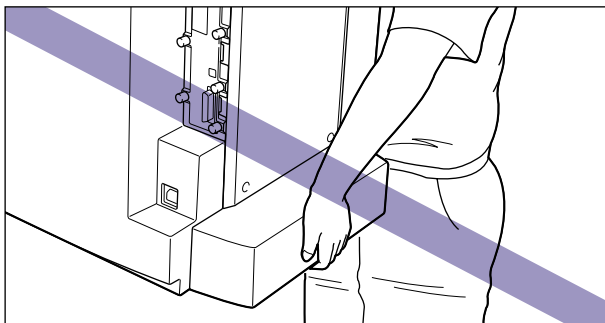
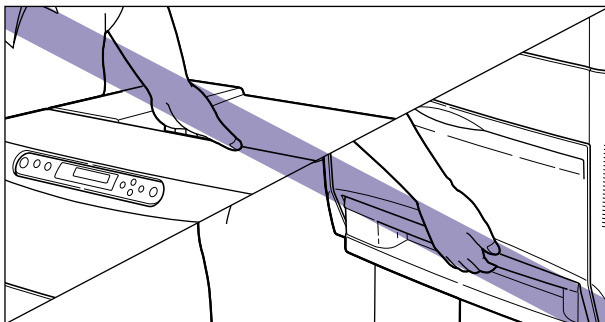
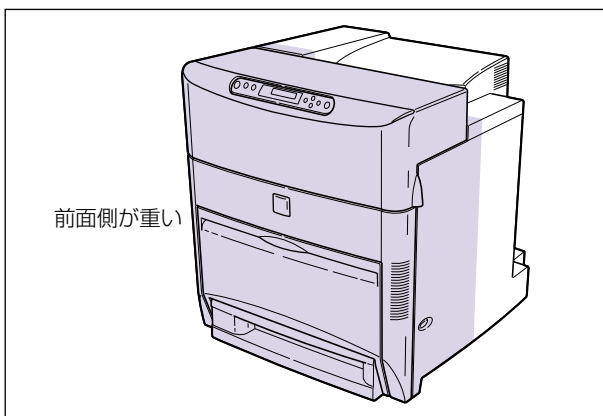
重要
- 本プリンタ用ペディスタルを使用せずに本体のみを設置する場合は、本体の質量に耐えられる机などに設置してください。
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- オプションのペディスタルやペーパーフィーダを取り付けるときは、プリンタ本体をパッケージから取り出す前にペディスタルやペーパーフィーダを設置してください。ペディスタルの設置方法については、「ペディスタル」（→ P.3-20）を、ペーパーフィーダの設置方法については、「ペーパーフィーダ」（→ P.3-2）を参照してください。

1 プリンタ本体をパッケージから取り出します。

重要
- プリンタ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で、必ず 4 人以上で行ってください。

2 プリンタ本体を設置場所へ運びます。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に 4 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて設置場所に運びます。

注意
- 本プリンタは、カートリッジを取り付けていない状態で約 56kg あります。必ず 4 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

- 絶対に給紙カセットやカセット保護カバーなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 本プリンタは、本体前面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないよう注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

重要
- 給紙トレイやカバーを止めてあるテープは、付けたまま持ち運んでください。

3 設置場所にゆっくりとおろします。

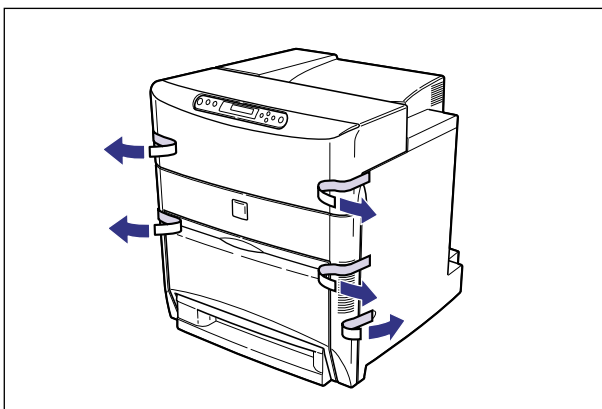
注意
- プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

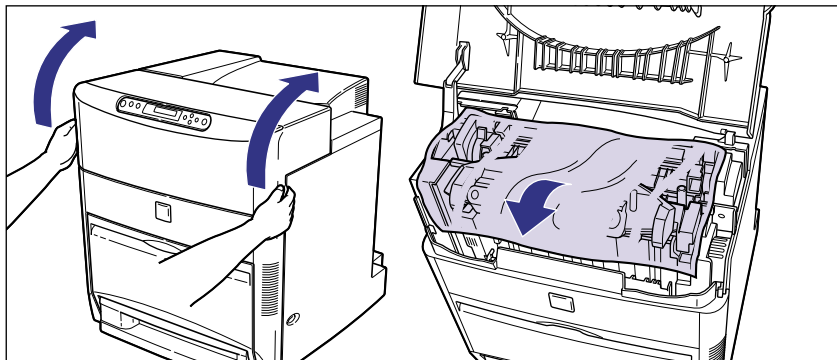
- 設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

梱包材を取り外す

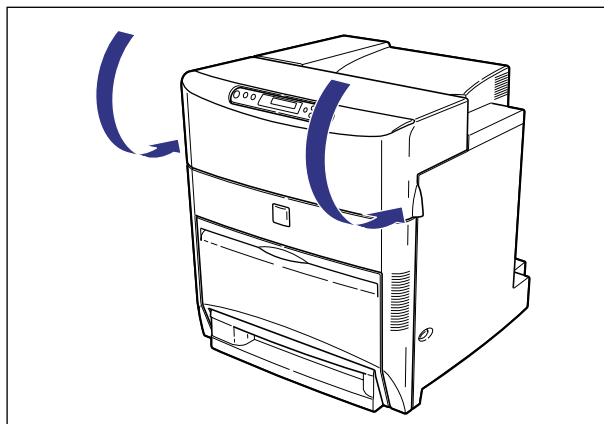
本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。設置場所へ運んだら、これらのテープや梱包材を取り外してください。

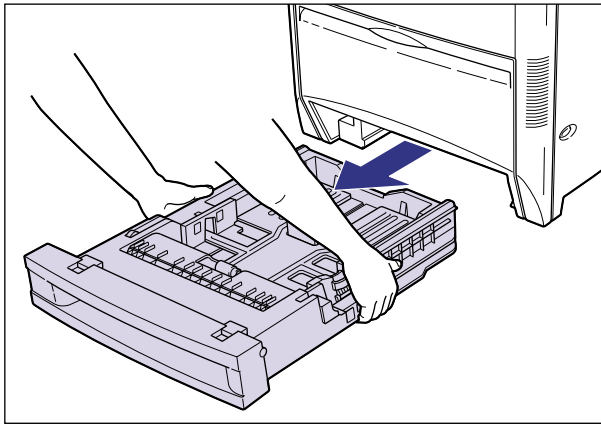
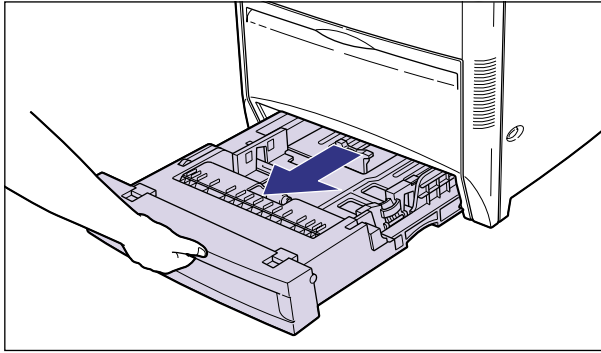
重要
- プリンタ内部に梱包材が残っていると、動作時に印字不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

1 **前上カバーや前下カバー、電源スイッチを止めているテープを取り外します。**

2 前上カバーを開け、内部の保護シートを取り外します。

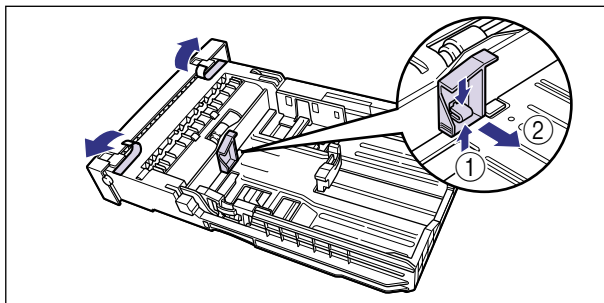
前上カバーは左右の取っ手を両手で持って、止まるまでいっぱいに開けます。

重要 ● 不用意に前上カバーに触れて前上カバーが閉まらないように気を付けてください。

3 前上カバーを閉めます。

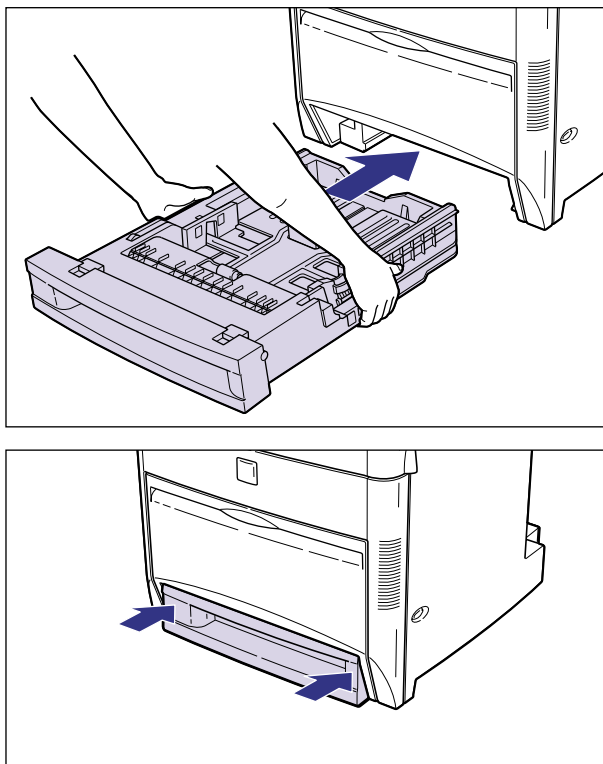
前上カバーは左右の取っ手を両手で持ってゆっくりと確実に閉めます。

4 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットはカチッと音がするまで前面の取っ手を持って引き出してから、図のように側面の取っ手を両手で持って引き出します。

重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

5 給紙カセット内部のテープと梱包材を取り外します。

梱包材は、取っ手を指でつまんで ①、水平に引いて取り外します ②。

重要

- 給紙カセットには、テープと梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを取り出し、残さずに取り外してください。

6 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意

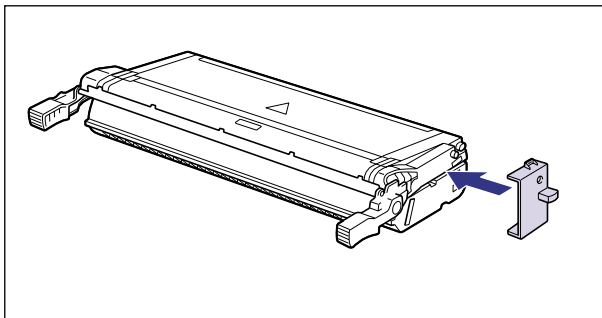
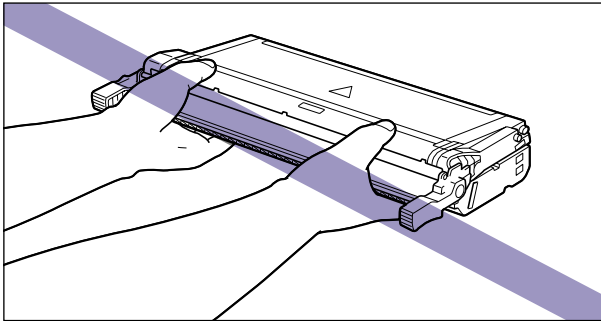
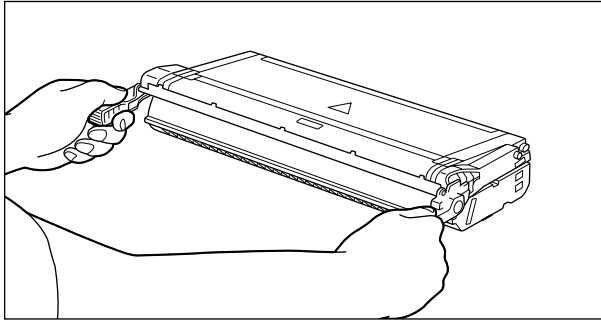
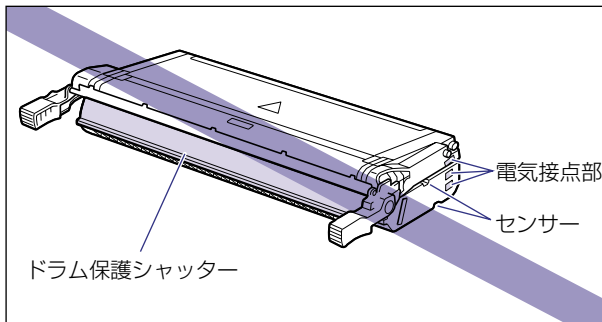
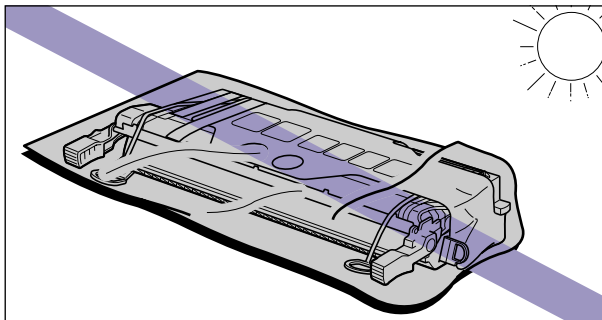
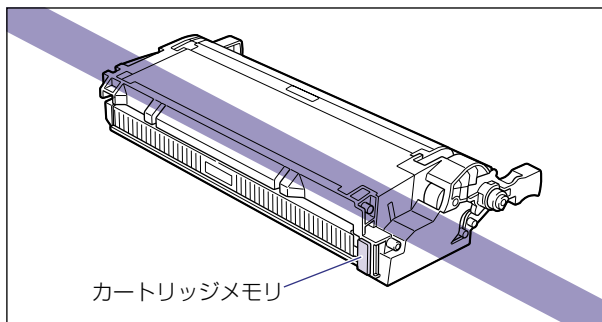
- 給紙カセットをプリンタ本体にセットするときは、指を挟まないように注意してください。

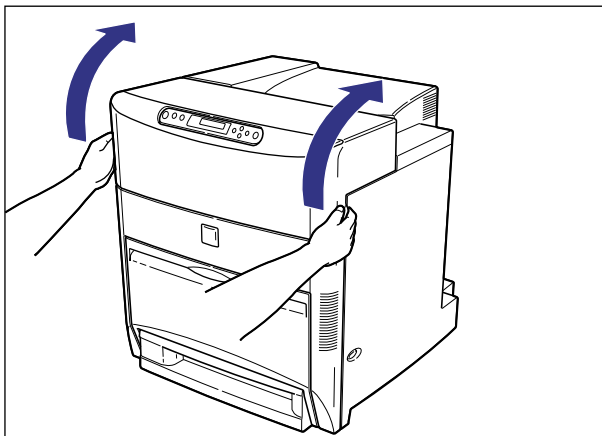
- 給紙カセットがプリンタ本体に入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

カートリッジをセットする

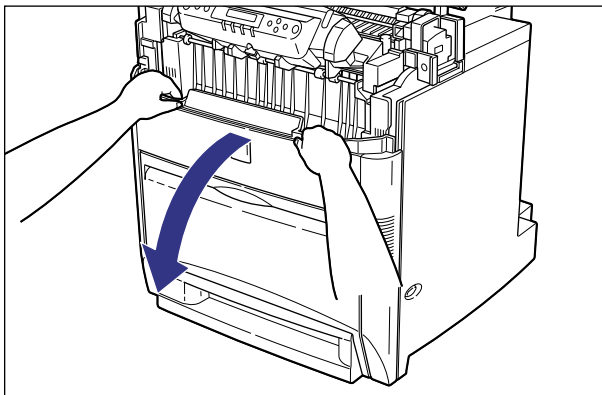
本プリンタは、工場出荷状態ではカートリッジは取り付けられていません。梱包材を取り外したら、必ず同梱されている４色のカートリッジを取り付けてください。
カートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。磁気や光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部の感光ドラムが劣化し、印字品質が低下します。

注意
- **トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**

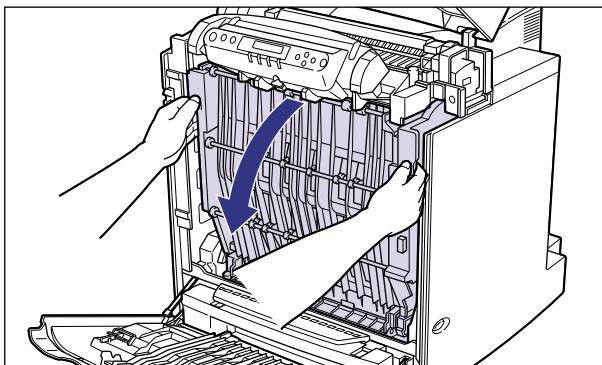
重要
- カートリッジを取り扱う際には、次の点に気を付けてください。
  - ・必ず本プリンタに付属のカートリッジを使用してください。
  - ・新品のカートリッジは、実際に使用するときまでカートリッジが梱包されている箱から取り出さないでください。
  - ・メンテナンスなどのためにカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかに保護カバーを取り付け、カートリッジが入っていた保護袋に入れ、カートリッジが梱包されていた箱に入れてください。梱包されていた箱がないときは、適した大きさの段ボールに入れて、光が当たらないようにしてください。

· カートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

· 内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、電気接点部やセンサーなど指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- カートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。保護カバーが付けられ、保護袋に入っている状態でも直射日光や強い光には当てないでください。

- カートリッジをディスプレイやパソコンなど、磁気を発生する装置に近づけないでください。
- カートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。

1 前上カバーを開けます。

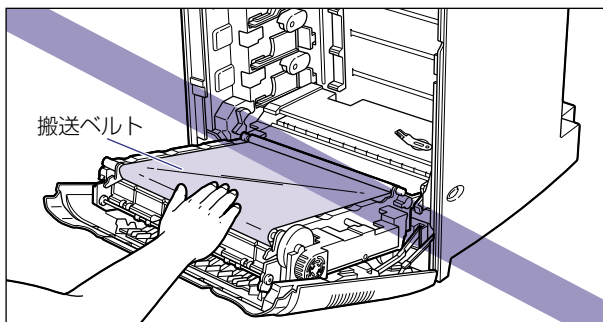
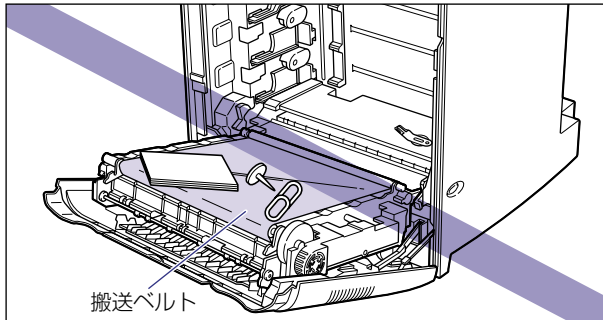
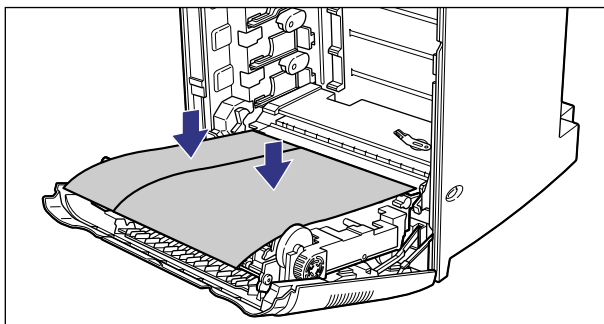
前上カバーは左右の取っ手を両手で持って、止まるまでいっぱいに開けます。

重要 • 以降の作業は前上カバーを開けた状態で行います。不用意に前上カバーに触れて、前上カバーが閉まらないように気を付けてください。

2 前下カバーを開けます。

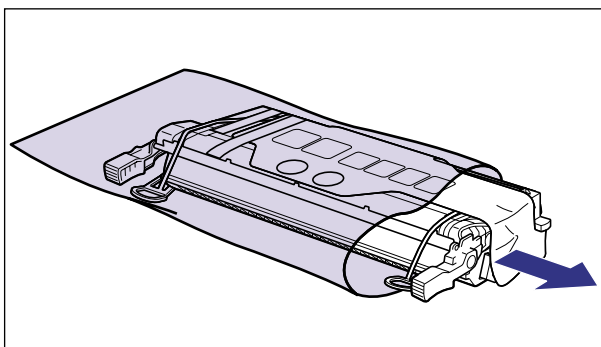
前下カバーは、両手で持って止まるまでいっぱいに開けます。

重要 • 前下カバーを開けるとき、プリンタの前に障害物がないことを確認してください。

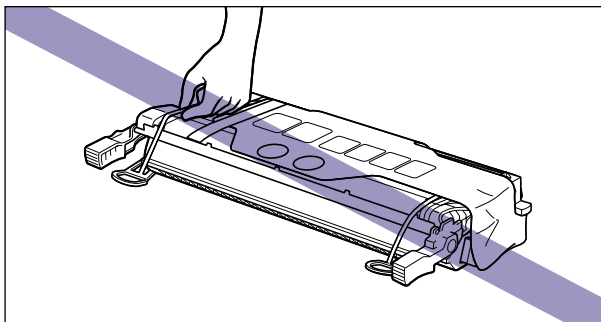
3 ETB ユニットの左右の緑色のラベルが貼られている取っ手を持って、ETB ユニットを開けます。

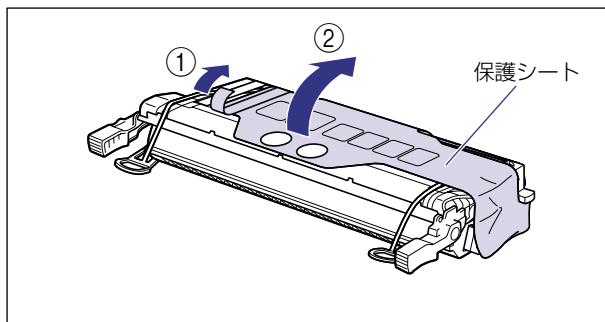
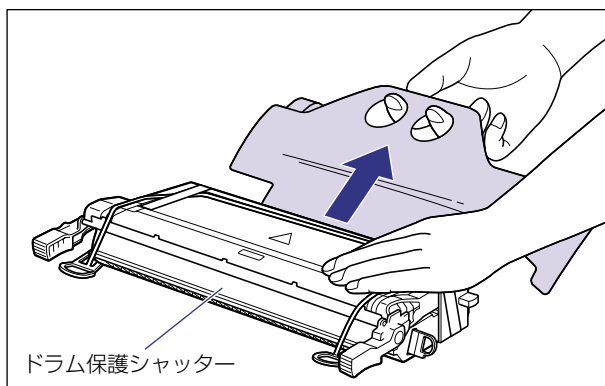
ETB ユニットはゆっくりと強く引いて、止まるまでいっぱいに開けます。

重要

- ETB ユニットは必ず左右の取っ手を両手で持って開けてください。片手で開けたり、片方の取っ手に力を入れて開けないでください。ETB ユニットに無理な力がかかり故障の原因になります。
- ETB ユニットは完全に下まで開けてください。
- ETB ユニットの上に物を置いたり、ETB ユニットの搬送ベルトに触れたりしないでください。ETB ユニットが破損したり搬送ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。

4 ETB ユニットの搬送ベルトの上に、図のようにご使用の用紙（A3 サイズの用紙を推奨）を置きます。

重要
- カートリッジを着脱するときは、ETB ユニットの搬送ベルトを保護するため、必ず用紙を搬送ベルトの上に置いて作業を行ってください。

5 カートリッジを保護袋から取り出します。

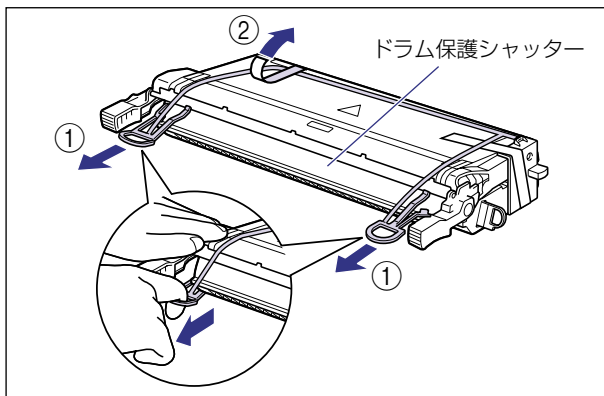
保護袋はカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

注意
- 絶対に梱包材を持ってカートリッジを持ち運ばないでください。落としてけがの原因になることがあります。

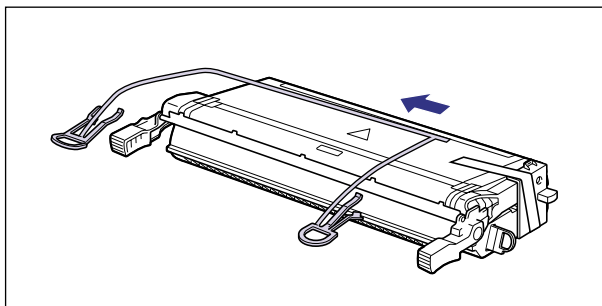
重要

- カートリッジは、下段からシアン、イエロー、マゼンタ、ブラックの順に取り付けますので、この順番で準備します。
- カートリッジを取り付ける準備ができるまで、カートリッジは箱に入れておいてください。
- カートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、カートリッジを取り出すときに必要になります。

6 カートリッジを平らな場所に置き、テープをはがしながら ①、保護シートもはがします ②。

7 カートリッジを押さえながら、保護シートの穴に指を掛け保護シートを取り外します。

重要

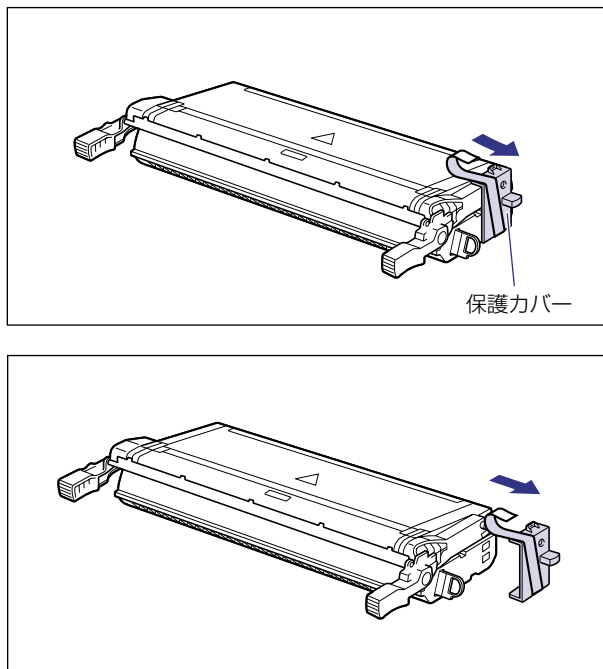
- 保護シートを取り外すときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。
- 取り外した保護シートは、 地域の条例にしたがって処分してください。

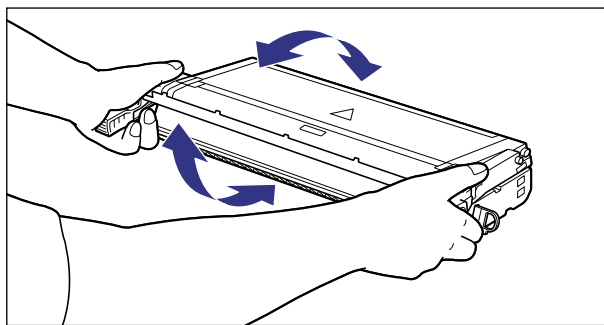
8　梱包材（2 箇所）をカートリッジから外し ①、テープを取り外します ②。

梱包材は、タブに指をかけ、まっすぐ引いて外します。

重要　• 梱包材をカートリッジから外すときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

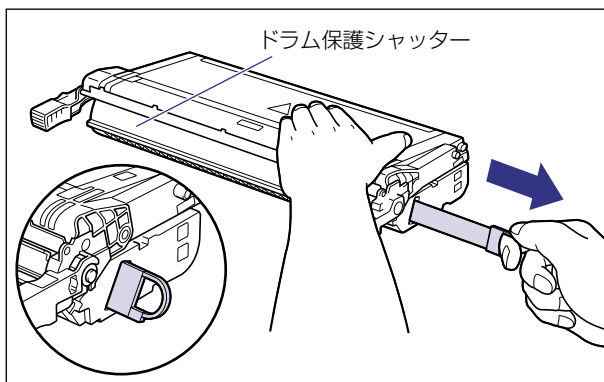
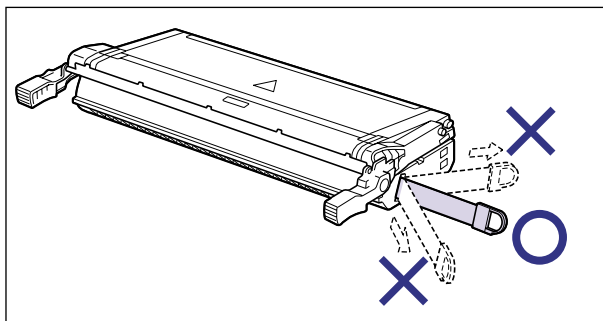
9　梱包材を矢印の方向に引いて取り外します。

重要　• 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

10 テープと保護カバーを取り外します。

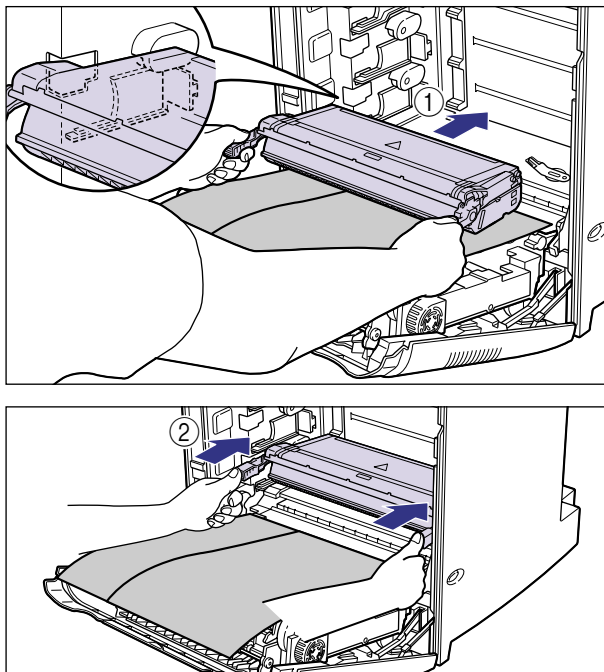
保護カバーはテープと一緒に取り外します。

重要　● 取り外した保護カバーは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、カートリッジを取り出すときに必要になります。

11 カートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５ ～６ 回振って、内部のトナーを均一にならします。

重要　● トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

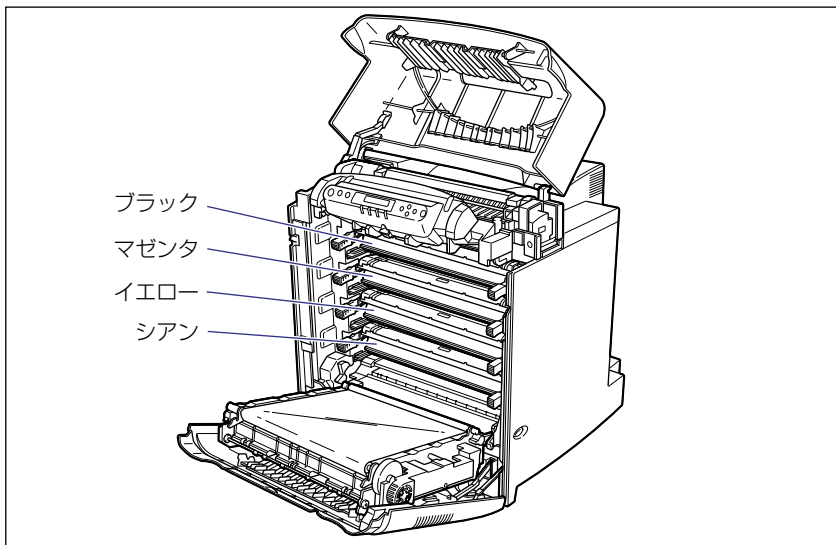
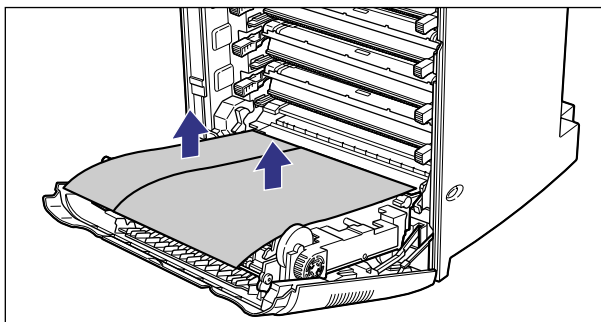
12 カートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約70cm）をゆっくりと引き抜きます。

シーリングテープは、タブに指を掛け、まっすぐに引き抜きます。

重要
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

13 カートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

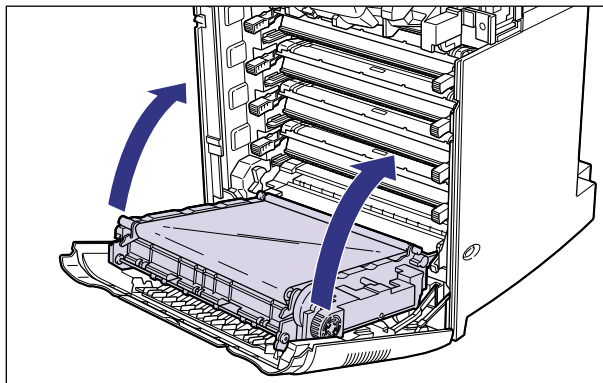
各色のカートリッジを同じ色のラベルが貼られているスロットに合わせて止まるまで差し込みます ①。さらにしっかりと奥まで、図のように押し込みます ②。

重要

- カートリッジはしっかりと奥まで押し込んで取り付けてください。カートリッジが確実に取り付けられていないと印字品質が低下します。

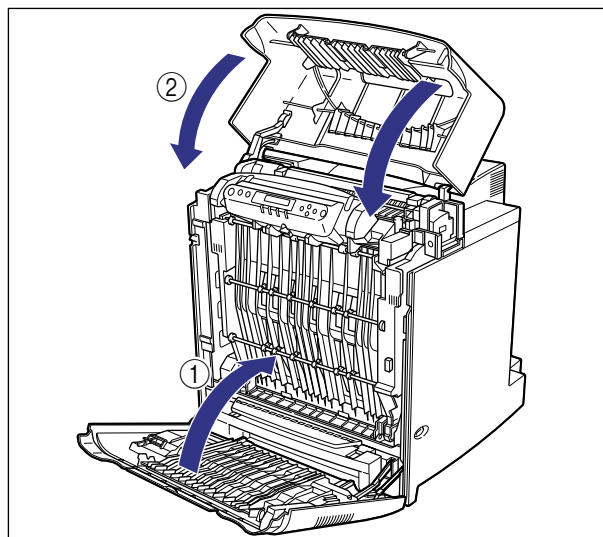
重要 • カートリッジは、下段からシアン、イエロー、マゼンタ、ブラックの順に下から取り付けます。

14 すべてのカートリッジを取り付けたら、用紙を取り除きます。

重要 • 用紙を取り除くときに、ETB ユニットの搬送ベルトに触れたり、傷をつけないように気を付けてください。

15 ETB ユニットを閉めます。

ETB ユニットは両手で、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

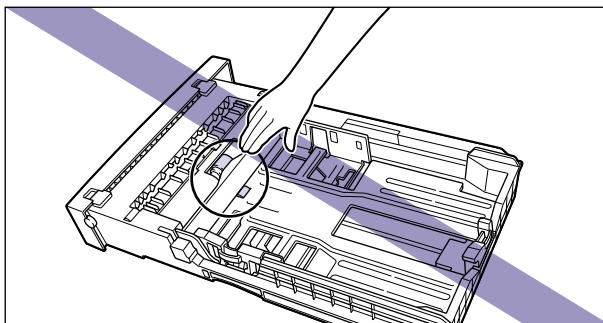
重要

- ETB ユニットは必ず左右の緑色のラベルが貼られている取っ手を両手で持って閉めてください。
- カートリッジを取り付けたあと、ETB ユニットを開けたまま長時間放置しないでください。

16 前下カバーを閉め ①、前上カバーを閉めます ②。

前上カバーは左右の取っ手を両手で持ってゆっくりと確実に閉めます。

用紙をセットする

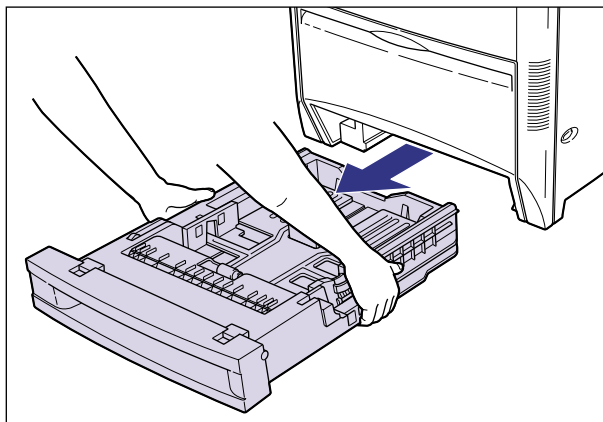
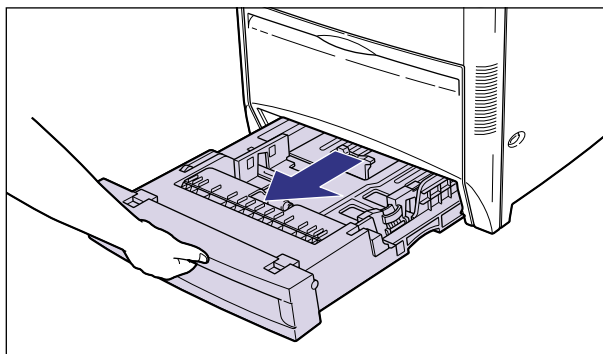
本プリンタの給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズおよび定形外（ユーザーペーパー）の普通紙を約 500 枚（64g/m^2）までセットできます。A4 やレターサイズの用紙は通常横置きにセットしますが、縦置き（A4R、レター R）にもセットできます。

重要

- プリント中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 普通紙（64 ～ 105g/m^2）以外の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 500 枚（64g/m^2）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- 使用できる用紙の詳細は、「用紙について」（➞ユーザーズガイド）を参照してください。
- セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- ハードディスク（LBP-2810 のみ）を取り付けている場合は、HDD ランプが点灯しているときに給紙カセットを引き出したり差し込んだりしないでください。
- 給紙カセットの給紙ローラや黒いゴムパットには触れないでください。給紙不良の原因になります。

給紙カセットに用紙をセットする

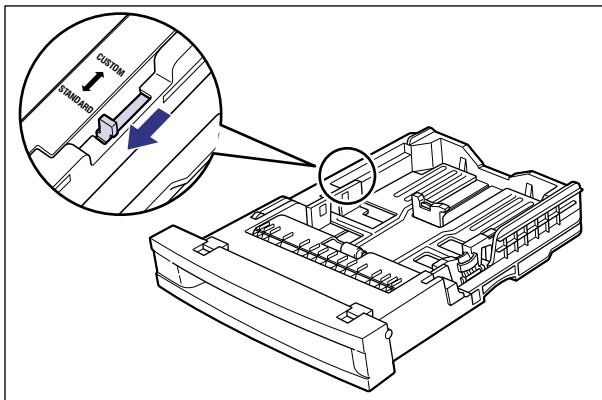
カートリッジを取り付けたら、給紙カセットに用紙をセットします。標準で装着されているカセット 1、オプションのペーパーフィーダ装着時のカセット 2、カセット 3、カセット 4 共に、用紙のセット方法は同じです。次の手順にしたがって、正しく用紙をセットしてください。

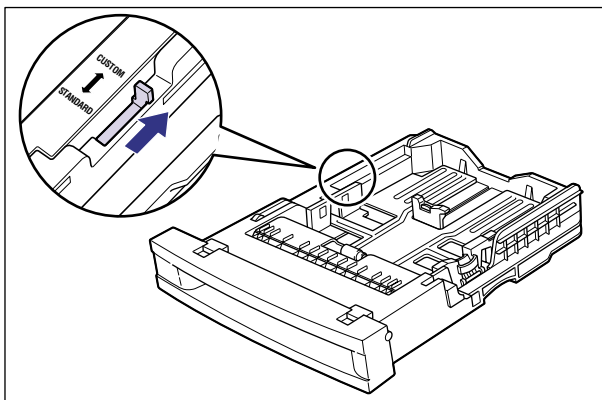
1 給紙カセットを引き出します。

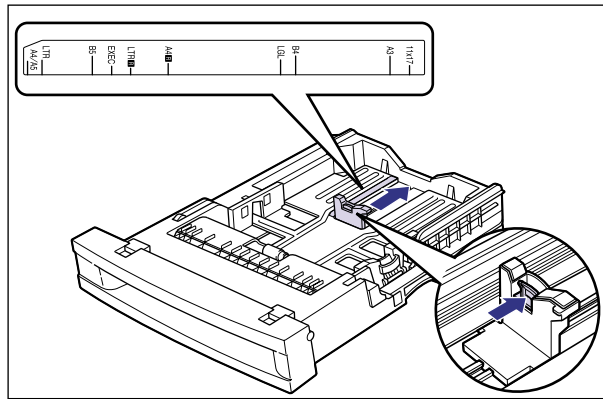
給紙カセットはカチッと音がするまで前面の取っ手を持って引き出してから、図のように側面の取っ手を両手で持って引き出します。

注意
- 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

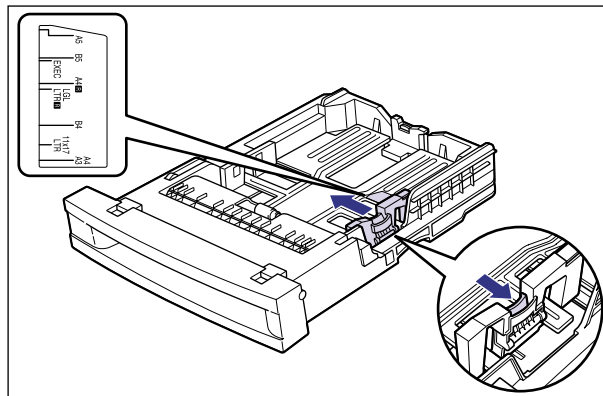
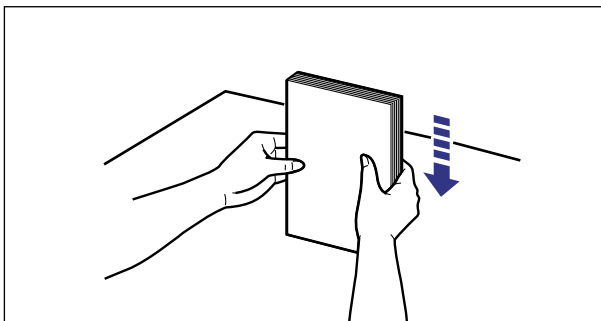
重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

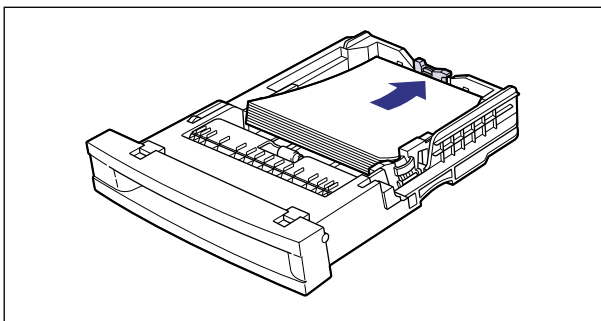
2 定形／不定形切り替えスイッチを以下のように合わせます。

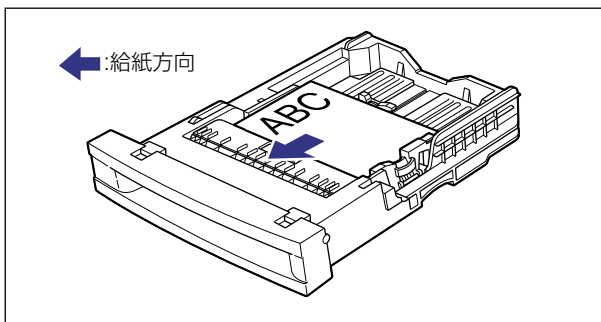
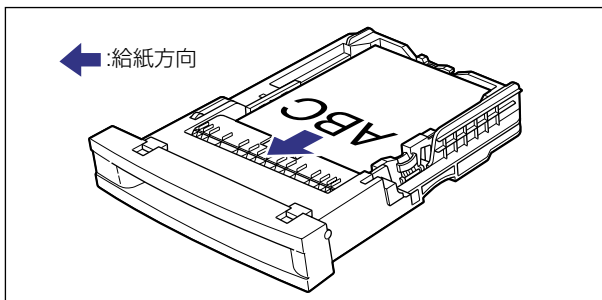
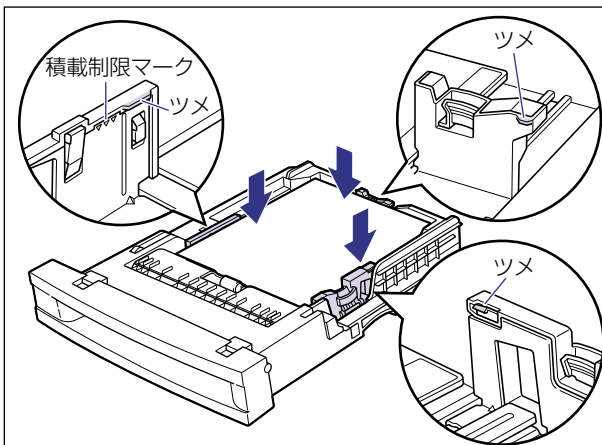
定形サイズの用紙をセットする場合は、“STANDARD”側に合わせます。

定形外の用紙（ユーザペーパー）をセットする場合は、“CUSTOM”側に合わせます。

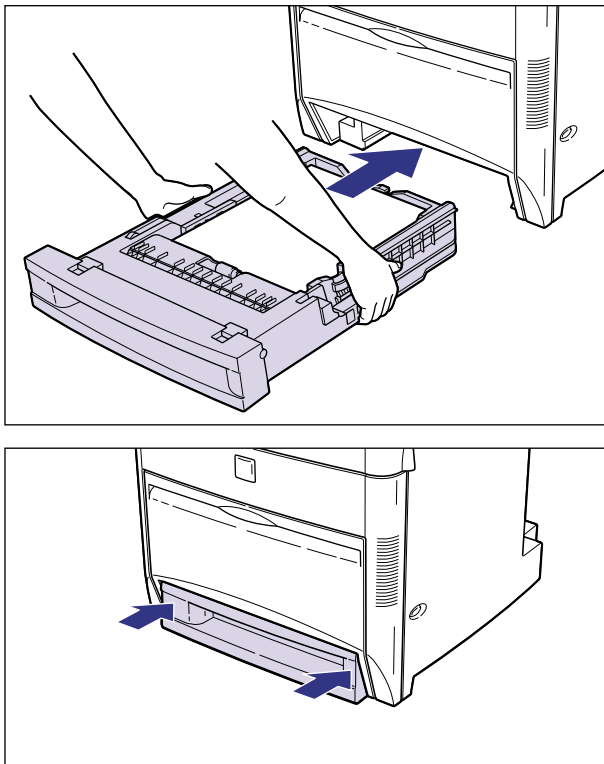
メモ

- 以降の手順は定形サイズの用紙のセット方法を説明します。定形外の用紙のセット方法は「定形外の用紙（ユーザペーパー）をセットする」（→ユーザーズガイド）を参照してください。

3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

5 用紙の束を平らな場所で揃えます。

重要 ● 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙をよくさばいてからセットしてください。

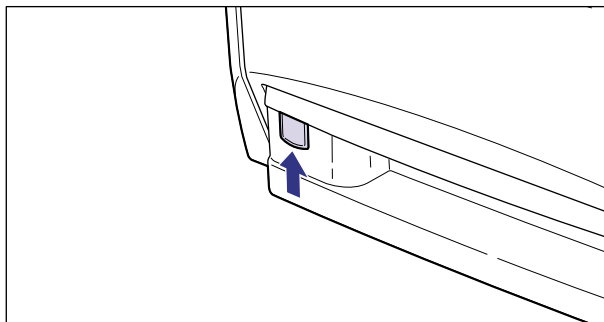
6 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

メモ ● レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・A4、レターサイズのように用紙を横送りでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て左になるようにセットします。

・A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦送りでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端が手前になるようにセットします。

7 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

重要
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 500 枚（64g/m^2）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

8 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意
- 給紙カセットをプリンタ本体にセットするときは、指を挟まないように注意してください。

重要
- 給紙カセットがプリンタ本体に入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

9 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのラベルを貼り、給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

パソコンと接続する

本プリンタをパソコンやネットワークに、プリンタケーブルやネットワークケーブルで接続します。LBP-2810 は、双方向通信対応のパラレルコネクタ、USB コネクタ、LAN コネクタを標準装備していて、LBP-2710 は、双方向通信対応のパラレルコネクタ、USB コネクタを標準装備しています。

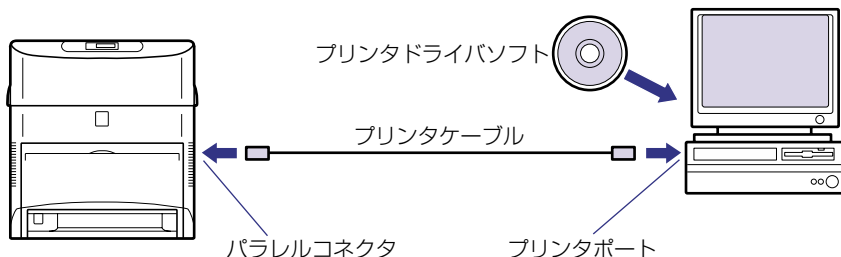
重要
- 本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。

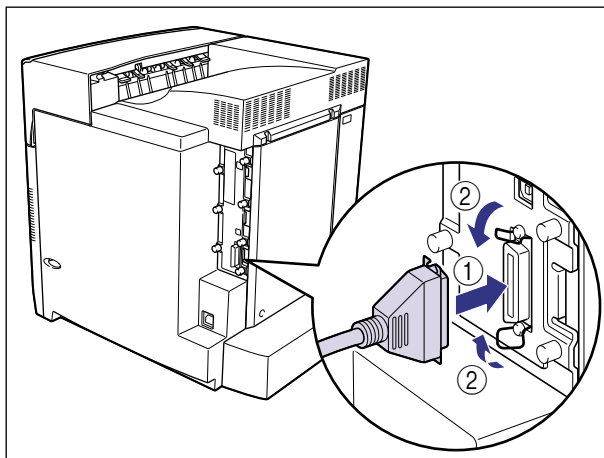
メモ
- 本プリンタに付属のプリンタドライバやユーティリティソフトのインストール方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」を参照してください。

DOS/Windows パソコンとの接続

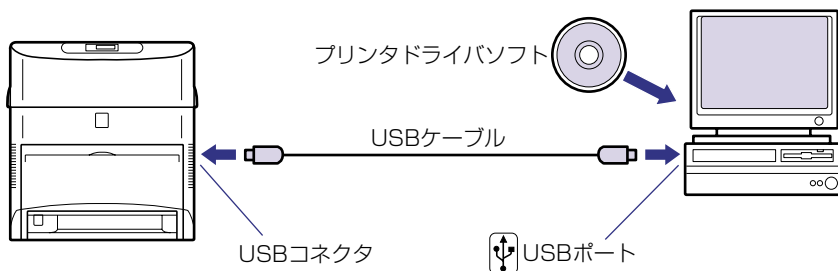
本プリンタを DOS/Windows パソコンに直接接続するときは、プリンタポート（パラレルインタフェース）または USB ポートに接続します。

プリンタポートに接続する場合

PC-9800 シリーズや IBMPC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、その他の DOS/Windows パソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとパソコンのプリンタポートを接続します。

注意
- プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因になることがあります。
  ① 本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  ② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1 プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ右側面のパラレルコネクタへ接続し ①、両側の留め金を掛けます ②。

2 プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

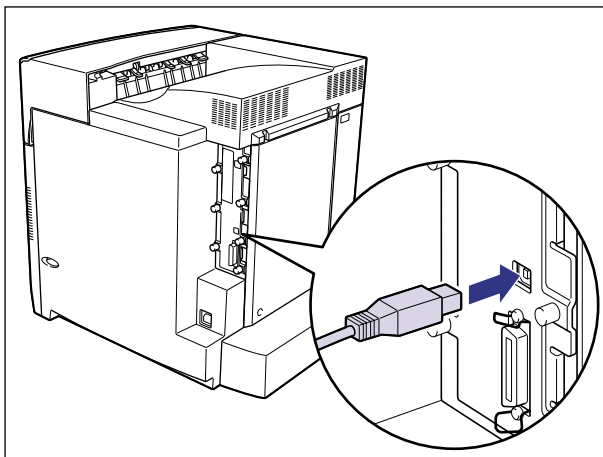
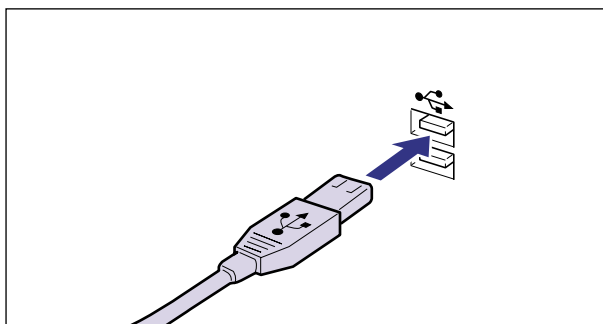
USB ポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したパソコンの場合は、USB ケーブルで本プリンタ右側面の USB コネクタとパソコンの USB ポートを接続します。

警告
- 電源スイッチをオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源スイッチをオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

重要
- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

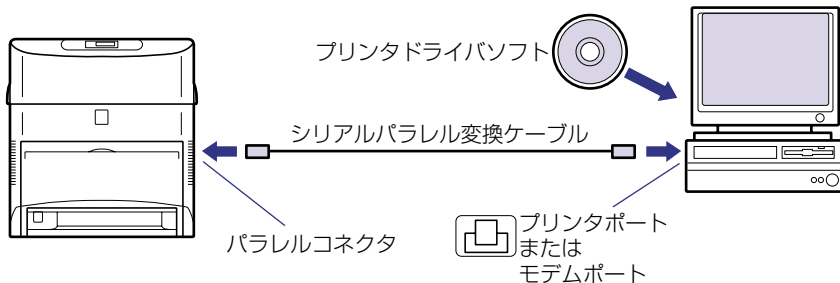
· パソコンの電源を入れた後の OS（Windows）起動中
· プリント中

- パソコンおよびプリンタの電源がオンになっている状態でUSB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

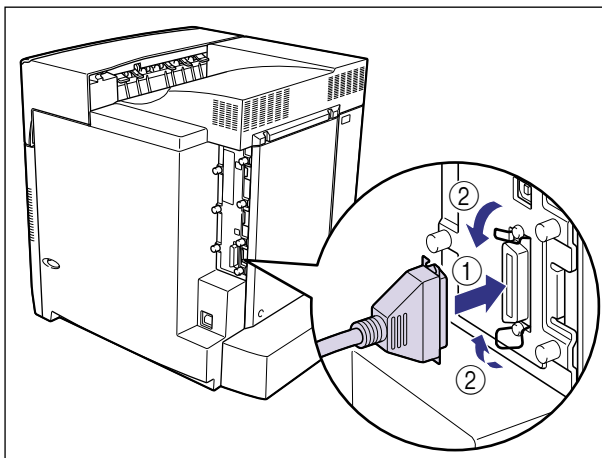
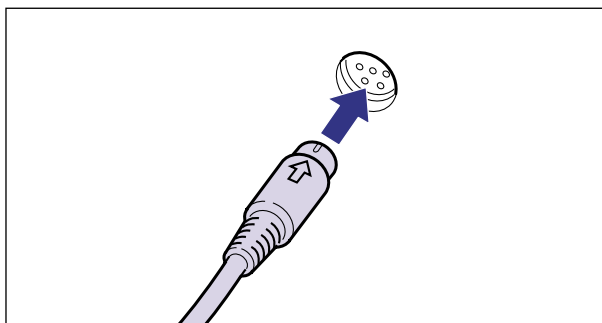
1 **USB ケーブルのB タイプ（四角い）側を本プリンタ右側面の USB コネクタへ接続します。**

2 **USB ケーブルのA タイプ（平たい）側をパソコンのUSB ポートへ接続します。**

Macintosh パソコンとの接続

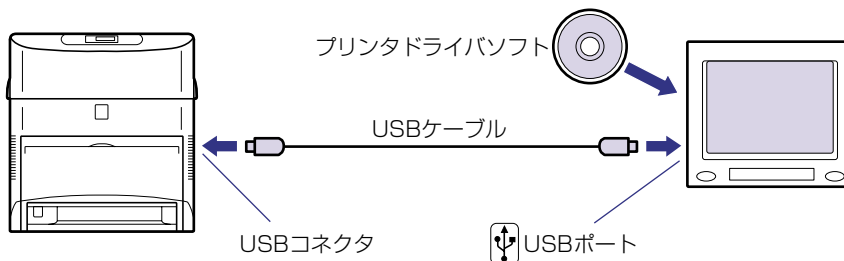
本プリンタを Macintosh に直接接続するときは、プリンタポート（シリアルポート）または USB ポートに接続します。

シリアルポートに接続する場合

シリアルポートを装備した Macintosh は、シリアルパラレル変換ケーブルで本プリンタ右側面のパラレルコネクタと Macintosh のシリアルポートを接続します。接続用のオプション品として、「NetHawk SP-LSIII」（プリンタ ドライバ＋シリアルパラレル変換ケーブルセット）が用意されています。

⚠注意
- プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因になることがあります。
  ① 本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  ② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ
- 「NetHawk SP-LSIII」については、新潟キヤノテック（株）へお問い合わせください。（TEL. 025-244-6445）

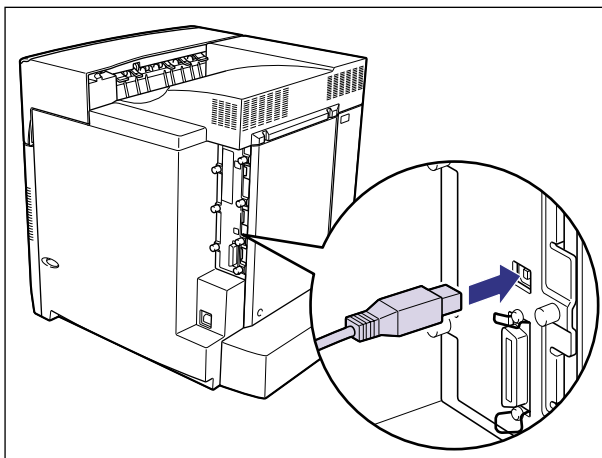
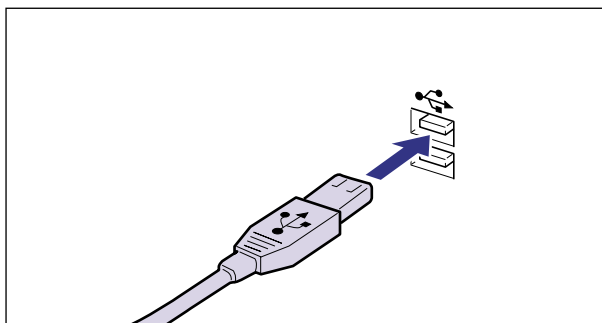
1 シリアルパラレル変換ケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ右側面のパラレルコネクタへ接続し ①、両側の留め金を掛けます ②。

2 シリアルパラレル変換ケーブルの反対側を Macintosh のプリンタポート（シリアルポート）へ接続します。

USB ポートに接続する場合

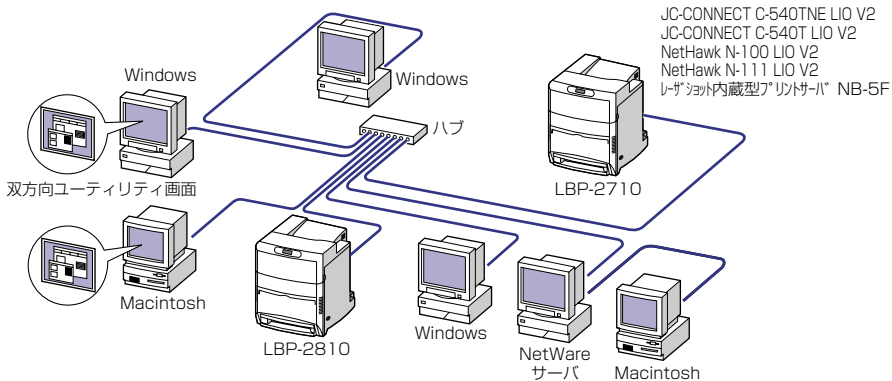
USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備した Macintosh は、USB ケーブルで本プリンタ右側面の USB コネクタと Macintosh の USB ポートを接続します。

警告

- 電源スイッチをオンにした状態で USB ケーブル接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源スイッチをオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

重要

- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後の OS（MacOS）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源がオンになっている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

1 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタ右側面の USB コネクタへ接続します。

2 USB ケーブルの A タイプ(平たい)側を Macintosh の USB ポートへ接続します。

ネットワークとの接続

本プリンタを Ethernet などのネットワークに接続すると、ネットワーク上のパソコンからプリンタを共有して使用することができます。NetWare、UNIX、Windows、Mac OS などの OS で使用可能です。

標準のプリントサーバを使用する場合（LBP-2810 のみ）

LBP-2810 は、10BASE-T/100BASE-TX 対応プリントサーバを標準装備しており、ネットワークへ直接接続して Windows や Macintosh、UNIX などのパソコンからプリンタを共有することができます。本プリンタのプリントサーバは IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBIOS/NetBEUI のプロトコルに対応しています。

メモ

- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワーク OS（NetWare、UNIX など）の設定やプリントサーバの設定などが必要です。これらの設定については「ネットワークガイド」を参照してください。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバの MAC アドレスなどを確認し、ネットワーク OS（NetWare、UNIX など）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。

オプションのプリントサーバを使用する場合

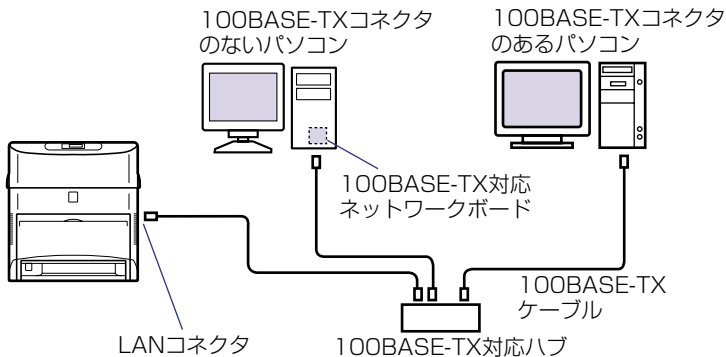
オプションのプリントサーバには以下の種類があります。プリントサーバにより、対応 OS やネットワークの種類が異なります。お使いのネットワークやパソコンに合わせてお選びください。
これらの製品の詳細や購入については、プリンタをお買い上げの販売店へお問い合わせください。

製品名称	対応プロトコル	インタフェース	メーカー名
JC-CONNECT C-540TNE LIO V2	IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業（株）
JC-CONNECT C-540T LIO V2	TCP/IP、NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業（株）

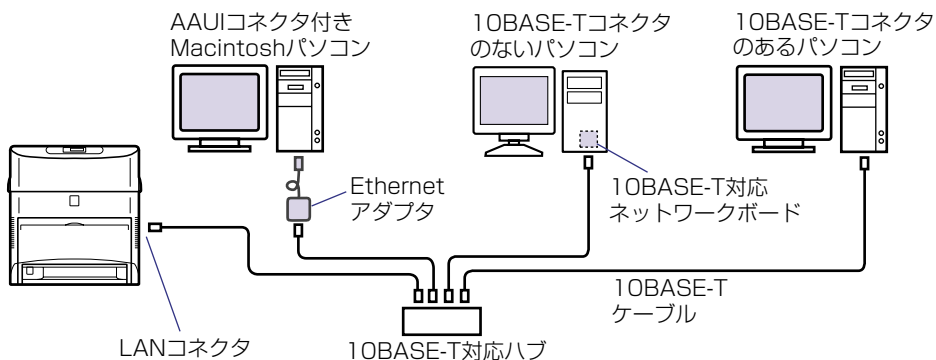
製品名称	対応プロトコル	インタフェース	メーカー名
NetHawk N-100 LIO V2	TCP/IP、NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ (株)
NetHawk N-111 LIO V2	IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ (株)
内蔵型ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ NB-5F	IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	キヤノン (株)

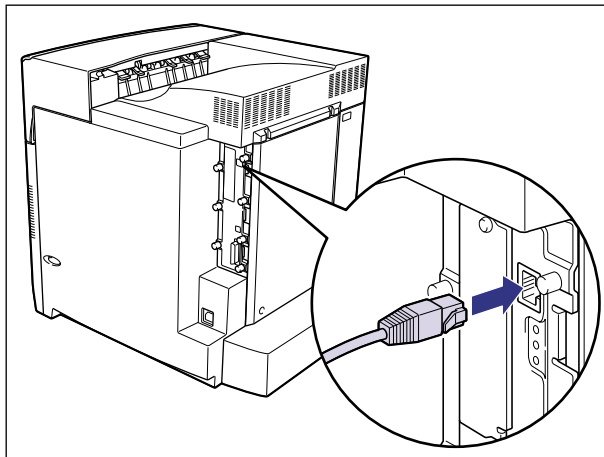
メモ
- 本プリンタにプリントサーバを装着してネットワークに接続した場合、ネットワーク OS（NetWare、UNIX など）の設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの設定についてはネットワーク OS やプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

100BASE-TX で接続する場合

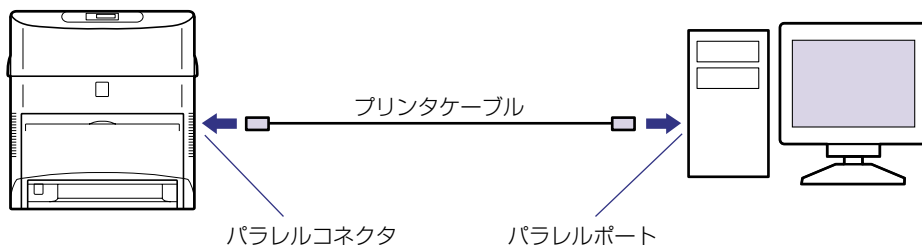
本プリンタの LAN コネクタとハブのポートを 100BASE-TX 対応 LAN ケーブル（カテゴリ 5 用ツイストペアケーブル）で接続します。100BASE-TX のネットワークに対応していないパソコンの場合は、100BASE-TX 対応のネットワークボードも必要になります。また、ネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

メモ
- ハブや LAN ケーブル、パソコン用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。

10BASE-T で接続する場合

本プリンタの LAN コネクタとハブのポートを 10BASE-T 対応 LAN ケーブル（カテゴリ 3 ～ 5 用ツイストペアケーブル）で接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。また、ネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

接続のしかた

1 LAN ケーブルを本プリンタ右側面の LAN コネクタへ接続します。

2 LAN ケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。

その他のパソコンとの接続（LBP-2810 のみ）

ご使用のパソコンのプリンタポートがパラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）のときは、そのパソコンのコネクタに合ったプリンタケーブルで本プリンタと接続します。

なお、本プリンタを PS/55、PS/V シリーズなどのパソコンに接続して使用する場合、オプションのコントロール ROM が必要です。また、これらのパソコンからプリントする場合、インタフェースの自動切り替えや動作モードの自動切り替えができないことがあります。このようなときは、使用しているインタフェースおよびコントロール ROM のエミュレーションモードに固定してご使用ください。コントロール ROM には、次の種類が用意されています。

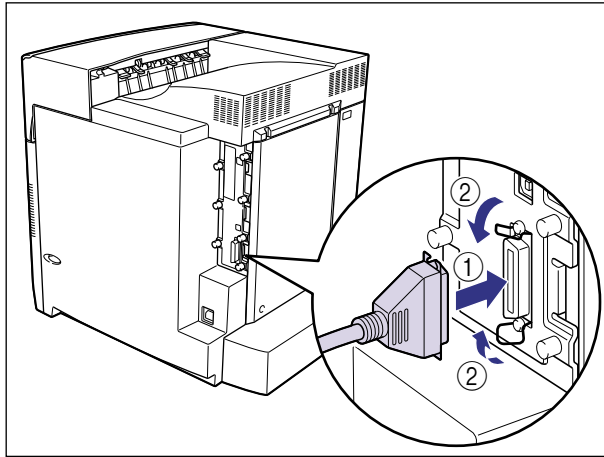
製品名	
CR-HIS	下記のコントロール ROM およびフォント ROM の内容を収録 · IBM5577 プリンタエミュレーション · HP7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション · バーコードフォント ROM（FR-BFV2CL 相当）

注意

- **プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因になることがあります。**
  ① 本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  ② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ

- 使用できるプリンタケーブルについては、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- コントロール ROM については、「コントロール ROM（LBP-2810 のみ）」（→ P.1-6）を参照してください。
- コントロール ROM の取り付けについては、「RAM/ROM」（→ P.3-32）を参照してください。
- インタフェースおよびエミュレーションモードの固定方法については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

1 プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ右側面のパラレルコネクタへ接続し ①、両側の留め金を掛けます ②。

2 プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

電源コードを接続する

パソコンとの接続が終わったら、電源コードとアース線を接続します。接続する際には「⚠安全にお使いいただくために」(→ P.viii)を必ずお読みください。

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱機具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  [アース線を接続してもよいもの]
  ・電源コンセントのアース線端子
  ・接地工事(D 種)が行われているアース線端子
  [アース線を接続してはいけないもの]
  ・水道管:配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  ・ガス管:ガス爆発や火災の原因になります。
  ・電話線のアースや避雷針:
  落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V15A 以上のものを使用してください。使用時は束をほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

⚠注意

- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

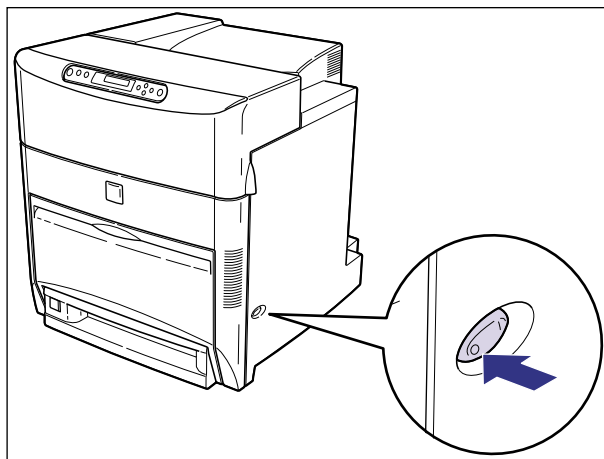
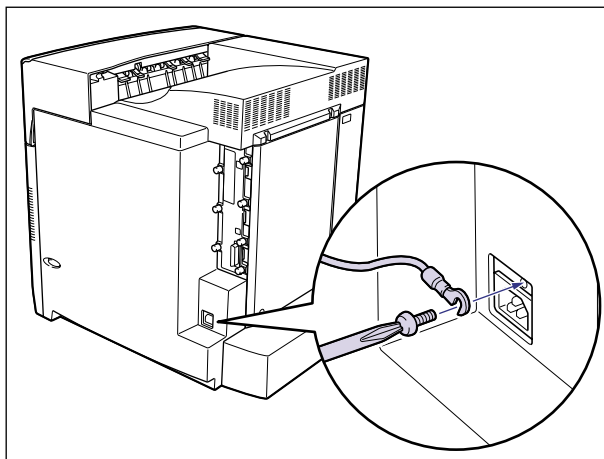
重要

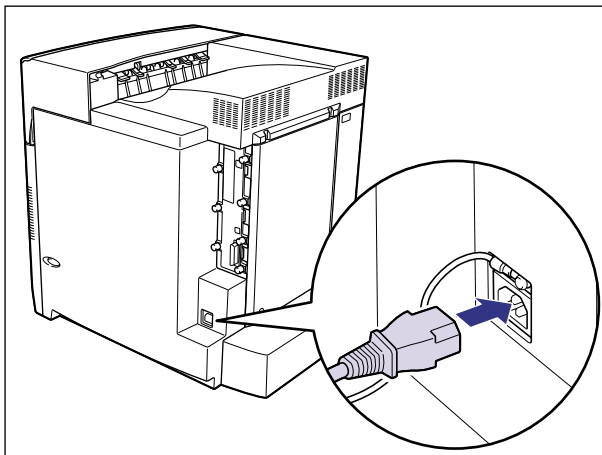
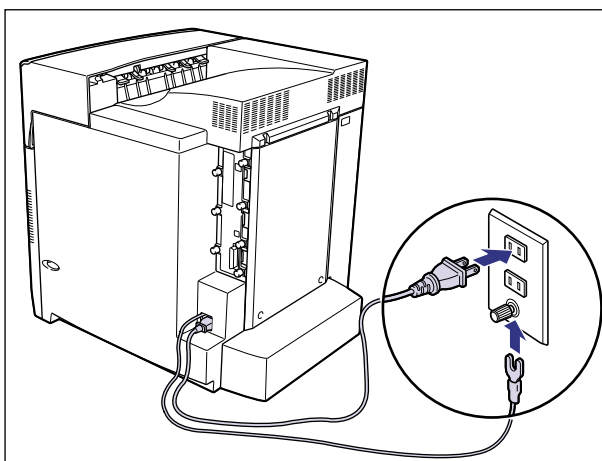
- アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。
- パソコン本体の補助コンセントから電源をとらないでください。

- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。

---

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチの"○"側を押した状態がオフです。

2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

重要
- アース線が、電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

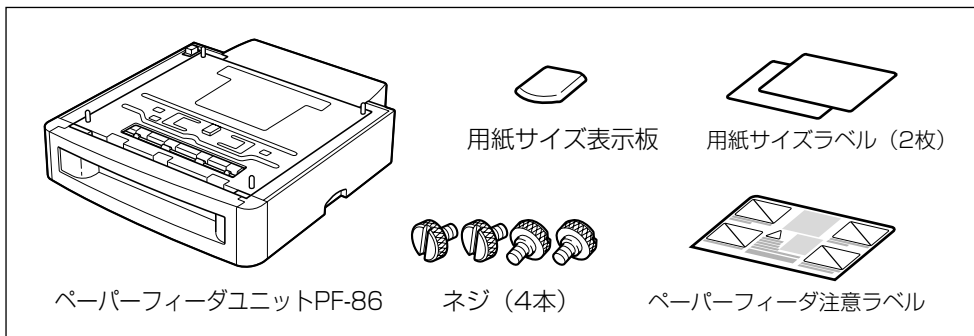
3 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

4 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

警告
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

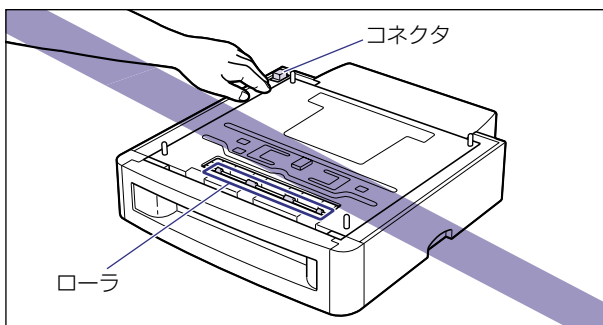
オプション品の取り付け

3
CHAPTER

この章では、オプション品の取り付けかたについて説明しています。

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダの取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

警告 ● ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

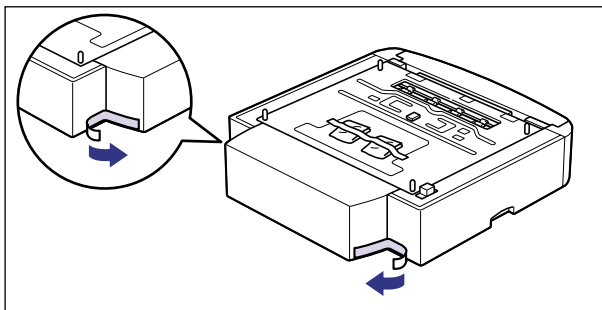
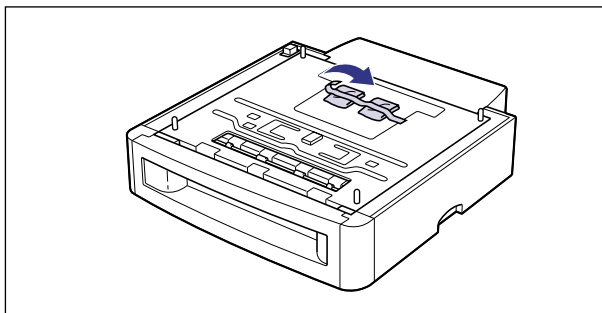
重要 ● ペーパーフィーダのコネクタやローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

メモ ● ペーパーフィーダは最大３台まで取り付けることができます。ただし、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は、２台までです。

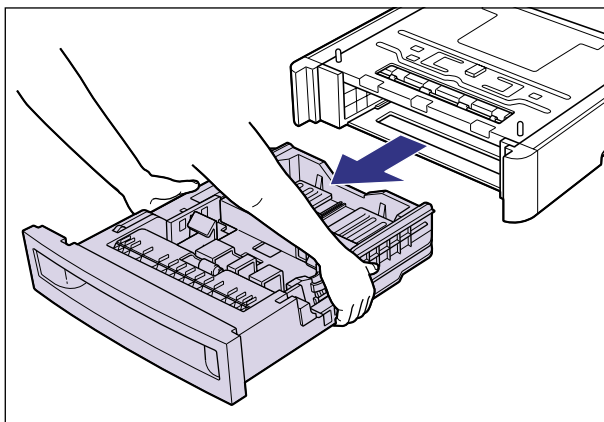
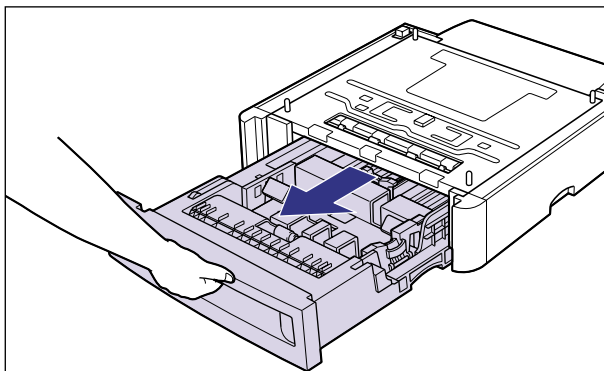
梱包材を取り外す

ペーパーフィーダをプリンタに取り付ける前に、ペーパーフィーダに取り付けられているテープや梱包材を取り外します。

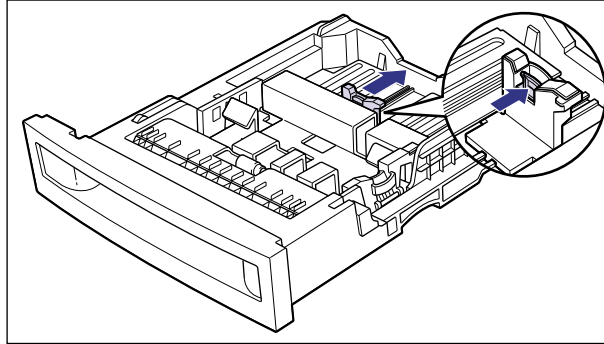
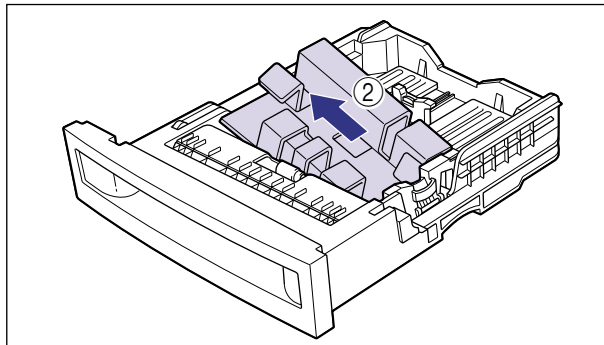
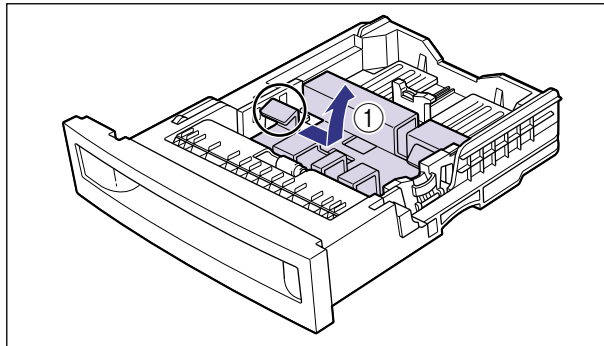
重要

- ペーパーフィーダには輸送時の振動や衝撃から装置を保護するために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず梱包材を取り外してからご使用ください。
- ペーパーフィーダの運搬や修理の際には、梱包材が必要になりますので、大切に保管してください。

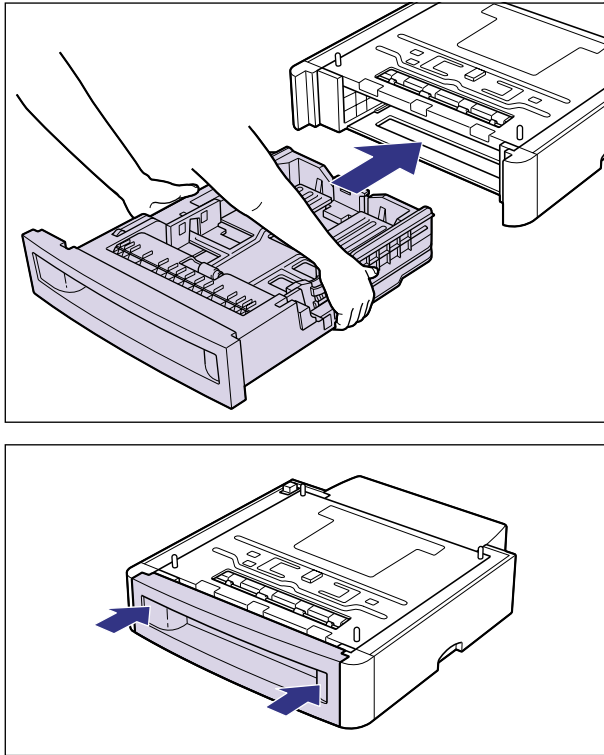
1 ペーパーフィーダを止めているテープを取り外します。

2 ネジが入ったビニール袋および用紙サイズ表示板と用紙サイズラベルが入ったビニール袋を取り外します。

3 給紙カセットをペーパーフィーダから引き出します。

給紙カセットはカチッと音がするまで前面の取っ手を持って引き出してから、図のように側面の取っ手を両手で持って引き出します。

重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

4 給紙カセット内部の梱包材を取り外します。

後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、矢印の方向に少しずらします。

梱包材の左側の突起部分を持って、矢印の方向に引き出しながら持ち上げ ①、左上方向に取り外します ②。

重要 • 給紙カセットには、梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを取り出し、梱包材を取り外してください。

5 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意 • 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

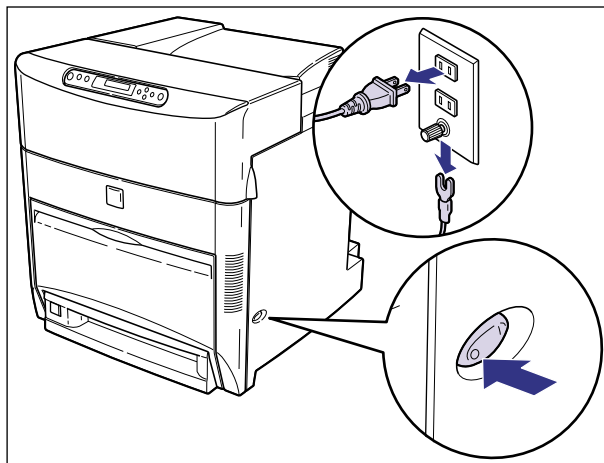
重要 • 給紙カセットがペーパーフィーダに入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

プリンタ本体を移動する

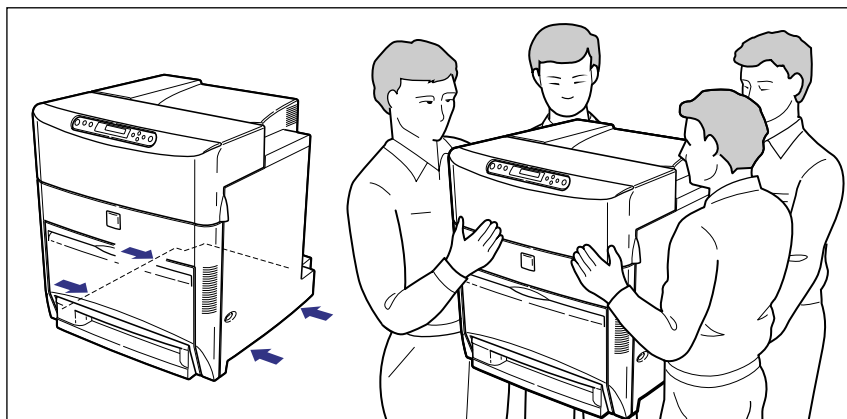
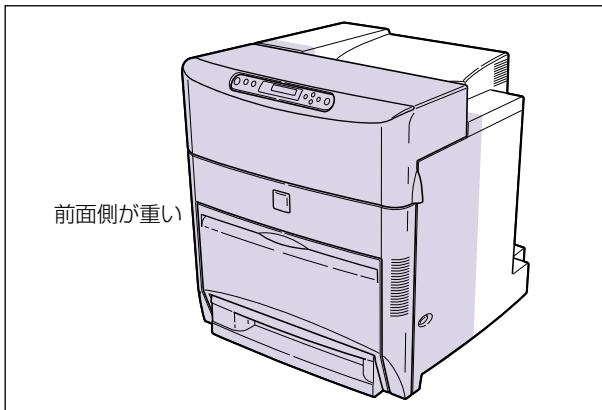
プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

警告 • プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要 • ペーパーフィーダがすでに取り付けられている場合には、ペーパーフィーダをプリンタから取り外して移動してください。（→ペーパーフィーダを取り外す：P.3-17）

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に 4 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて設置場所から移動します。

注意
- 本プリンタは、約 65.2kg（本体：約 56kg / カートリッジ× 4：約 9.2kg）あります。必ず 4 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。
- 本プリンタは、本体前面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

ペーパーフィーダを取り付ける

ペーパーフィーダはプリンタ本体の下に取り付けます。

注意
- プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

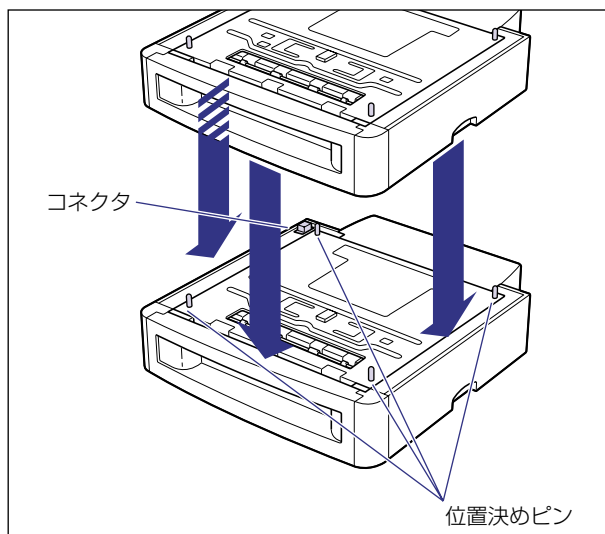
重要
- ペーパーフィーダを装着した場合、給紙するペーパーフィーダ（カセット 2、カセット 3、カセット 4）より上段の給紙カセットは必ずセットした状態で使用してください。給紙カセットがセットされていないと、下段の給紙元から給紙することはできません。（たとえば、カセット 2 がセットされていない場合、カセット 3、カセット 4 から給紙することはできません。）

1 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

重要
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

2 ペーパーフィーダとペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せます。

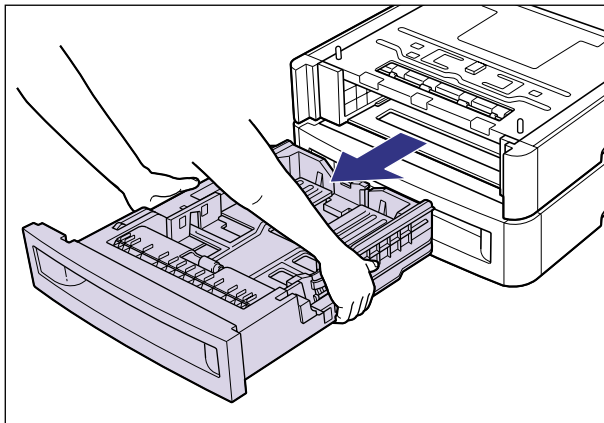
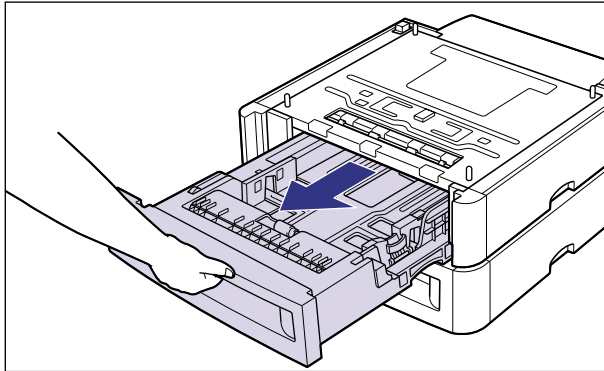
ペーパーフィーダを載せるときは、位置決めピンやコネクタも合わせてください。

ペーパーフィーダを 1 台のみ取り付ける場合は、手順 7 に進んでください。

重要

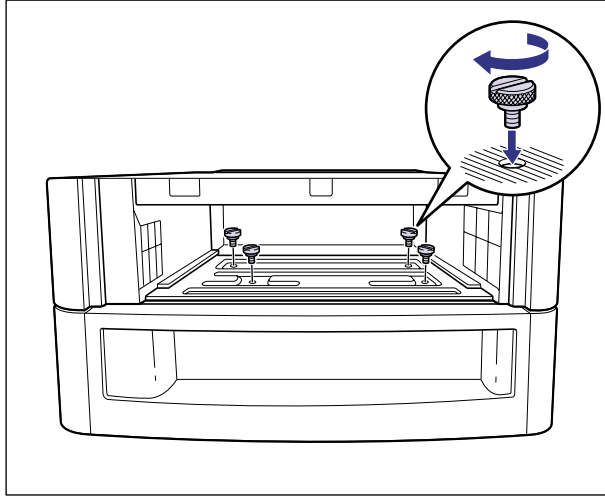
- ペーパーフィーダがうまく載らないときは、一度ペーパーフィーダを持ち上げて、水平にしてから載せなおしてください。ペーパーフィーダを持ち上げずに無理に載せようとすると、ペーパーフィーダのコネクタや位置決めピンが破損することがあります。

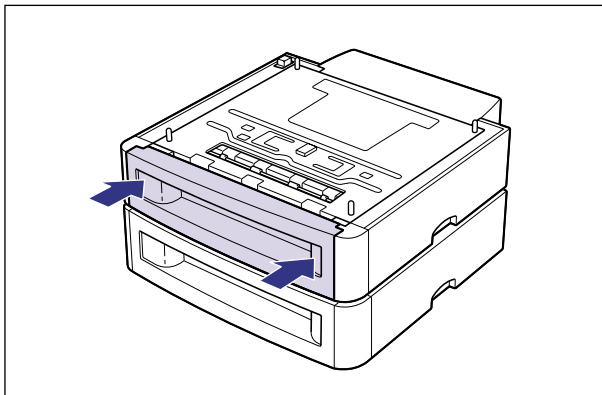
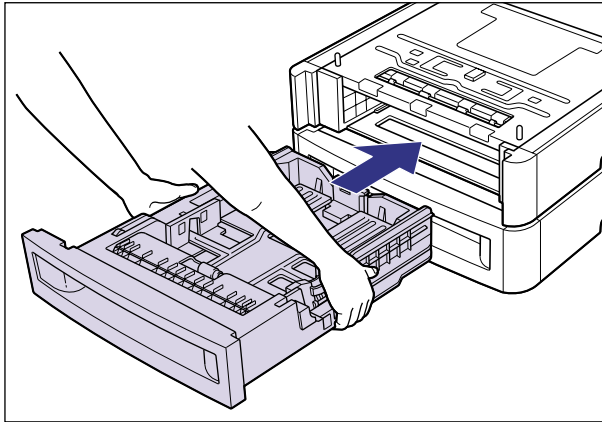
3 上に置いたペーパーフィーダの給紙カセットを引き抜きます。

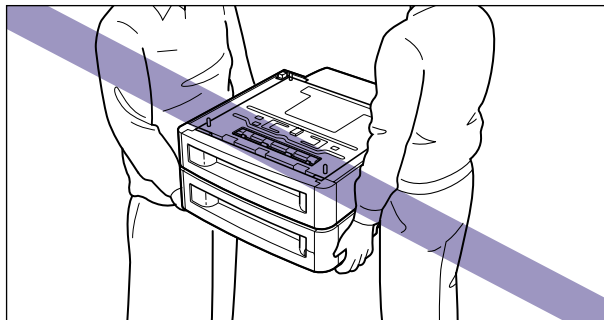
給紙カセットはカチッと音がするまで前面の取っ手を持って引きだしてから、図のように側面の取っ手を両手で持って引き出します。

重要

- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

4 付属の４本のネジでペーパーフィーダを固定します。

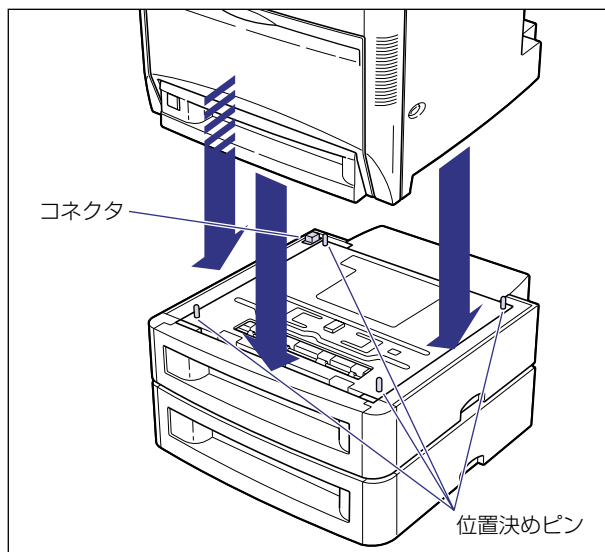
ネジはしっかりと固定してください。

5 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意
- 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

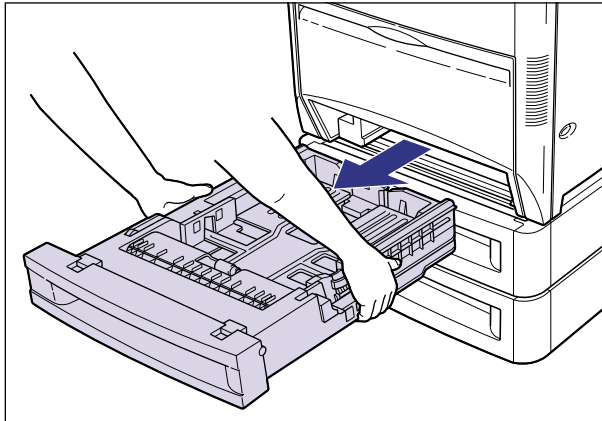
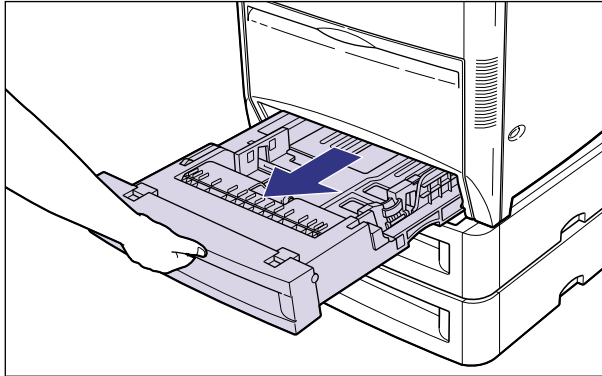
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットがペーパーフィーダに入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

6 ペーパーフィーダをもう1台取り付ける場合は、手順2～手順5を行って取り付けます。

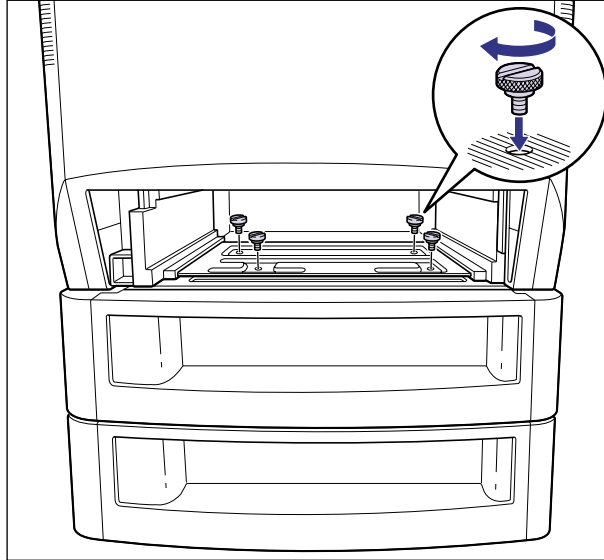
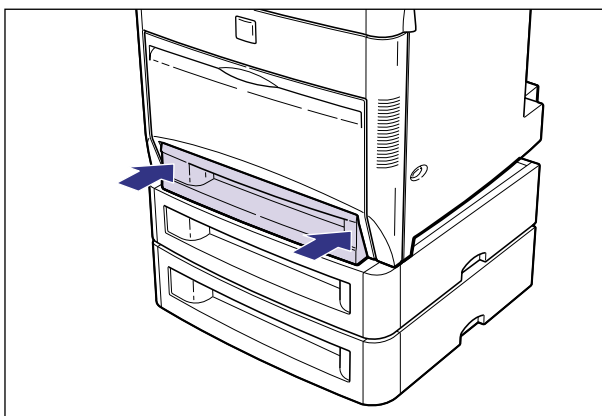
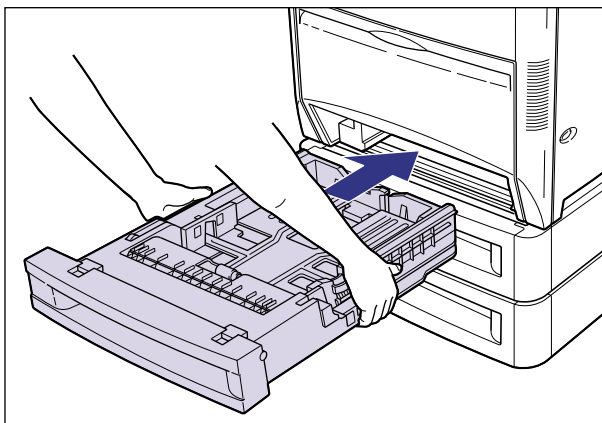
7 プリンタ本体をペーパーフィーダの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せます。

プリンタを載せるときは、位置決めピンやコネクタも合わせてください。

重要
- プリンタがペーパーフィーダにうまく載らないときは、一度プリンタを持ち上げて、水平にしてから載せなおしてください。プリンタを持ち上げずに無理に載せようとすると、ペーパーフィーダのコネクタや位置決めピンが破損することがあります。

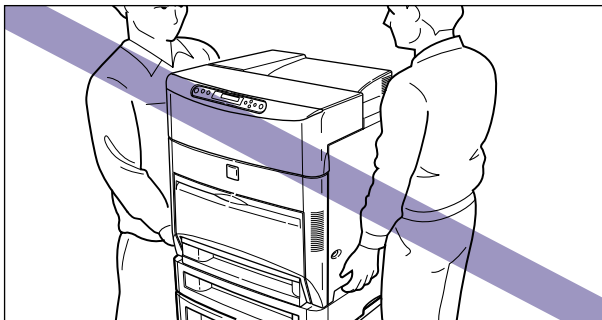
8 プリンタ本体の給紙カセットを引き抜きます。

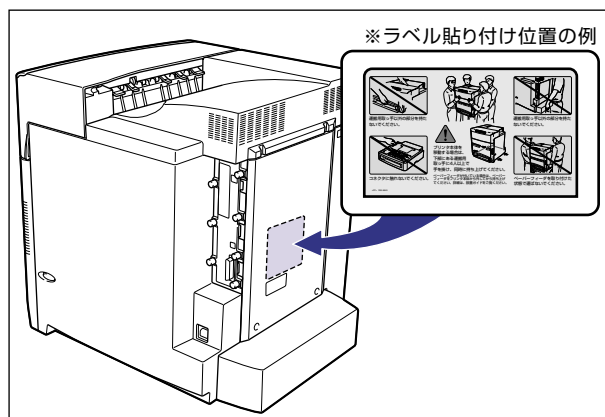
給紙カセットはカチッと音がするまで前面の取っ手を持って引きだしてから、図のように側面の取っ手を両手で持って引き出します。

重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

9 付属の４本のネジでペーパーフィーダを固定します。

ネジはしっかりと固定してください。

10 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意 • 給紙カセットをプリンタ本体にセットするときは、指を挟まないように注意してください。

- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットがプリンタ本体に入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

11 **ペーパーフィーダに同梱されているペーパーフィーダ注意ラベルをプリンタ本体の背面に貼り付けます。**

12 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。**

13 **アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

ペーパーフィーダを取り外す

ペーパーフィーダの取り外しは、次の手順で行います。

⚠警告 • ペーパーフィーダを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要 • プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダを取り外してください。

---

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 **プリンタ本体の給紙カセットを引き抜きます。**

給紙カセットはカチッと音がするまで前面の取っ手を持って引きだしてから、側面の取っ手を両手で持って引き出します。

重要 • 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
• 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

4 **4本のネジを取り外します。**

取り付けるときと逆に回してネジを取り外します。

重要 • 取り外したネジは再度ペーパーフィーダを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

5 **給紙カセットをプリンタ本体にセットします。**

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

⚠注意 • 給紙カセットをプリンタ本体にセットするときは、指を挟まないように注意してください。

重要 • 給紙カセットがプリンタ本体に入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

6 **プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。**

7 ペーパーフィーダを 2 台以上取り付けている場合、上の段から順にペーパーフィーダを取り外します。

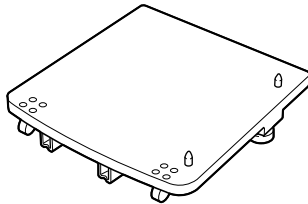
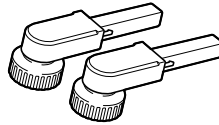
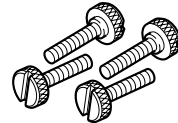
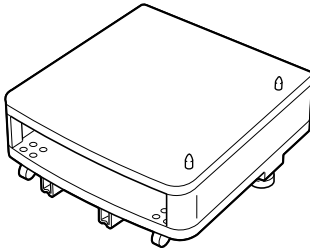
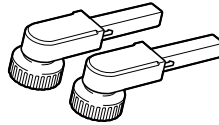
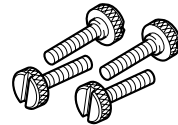
8 ペーパーフィーダを移動します。

9 プリンタ本体を設置場所へ戻します。

10 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ペディスタル

ペディスタルは、プリンタ本体の底面に取り付けます。ペディスタルには、ボックスタイプとキャスタタイプがあります。設置の手順は同じです。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

警告

- ペディスタル取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

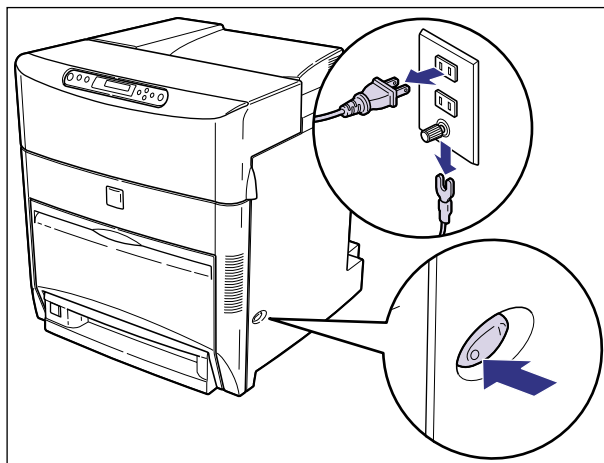
メモ

- ペディスタル（キャスタタイプ）を装着した場合、ペーパーフィーダは 3 台まで取り付けることができますが、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は 2 台までです。

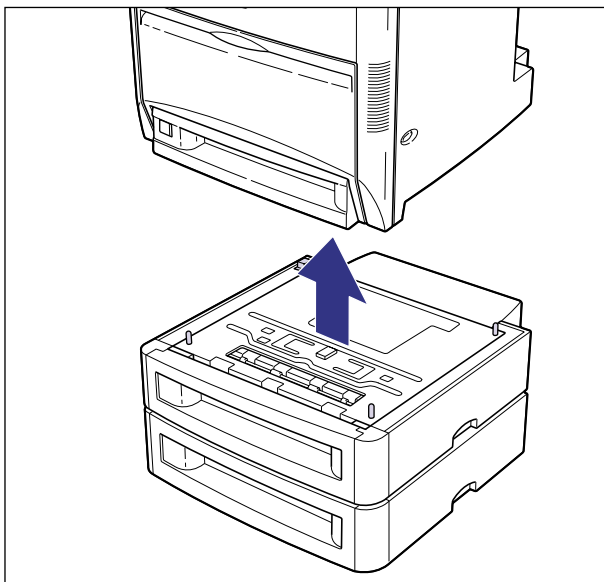
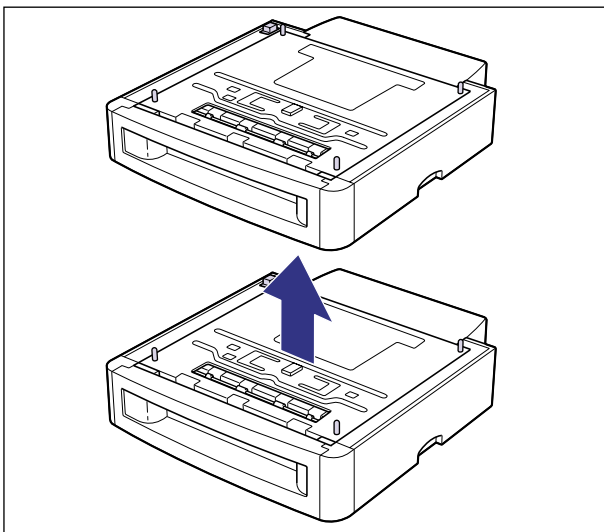
プリンタ本体（ペーパーフィーダ）を移動する

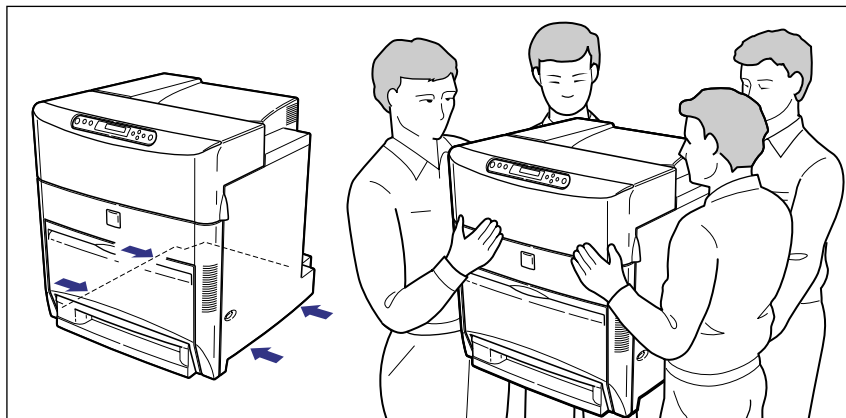
プリンタ設置後に、ペディスタルを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。ペーパーフィーダがプリンタに装着されている場合は、ペーパーフィーダを取り外します。

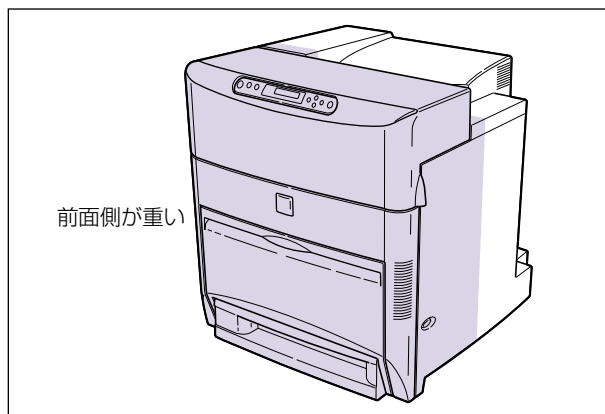
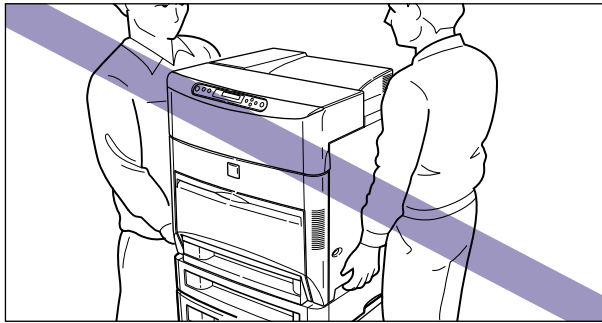
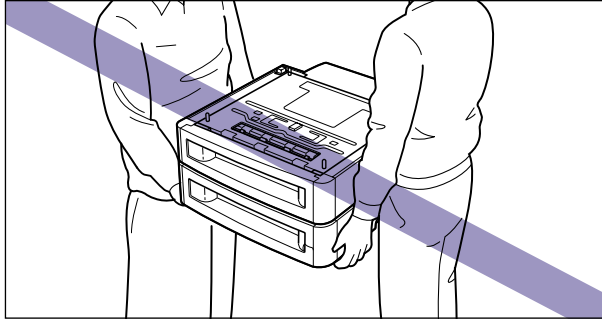
⚠警告
- プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 ペーパーフィーダが装着されている場合、ペーパーフィーダを取り外します。

ペーパーフィーダの取り外しかたは、「ペーパーフィーダを取り外す」（→ P.3-17）を参照してください。

ペーパーフィーダが 2 台以上装着されている場合は、すべて取り外します。

4 プリンタとペーパーフィーダを設置場所から移動します。

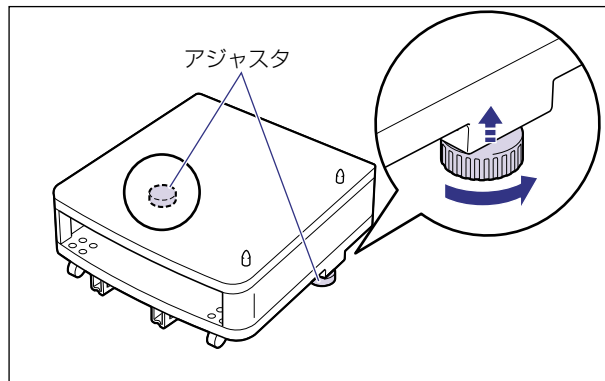
プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に 4 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて設置場所から移動します。

⚠注意

- 本プリンタは、約 65.2kg（本体：約 56kg / カートリッジ× 4：約 9.2kg）あります。必ず 4 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。
- 本プリンタは、本体前面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

ペディスタルを取り付ける

ペディスタルはプリンタまたはペーパーフィーダの下に取り付けます。

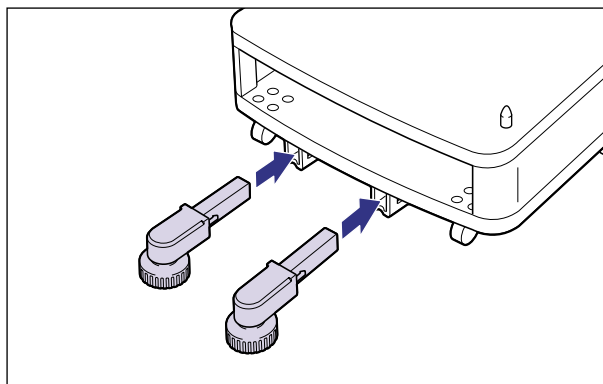
注意
- プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

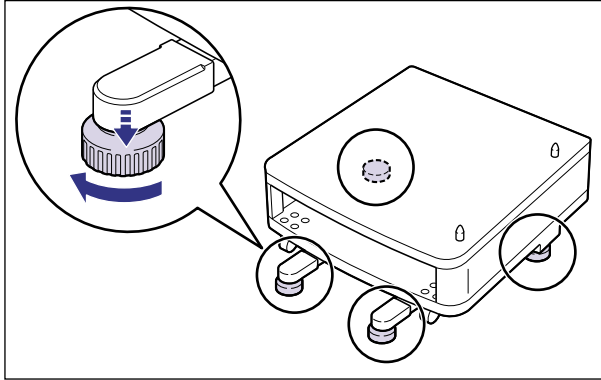
1 **ペディスタルをパッケージから取り出します。**

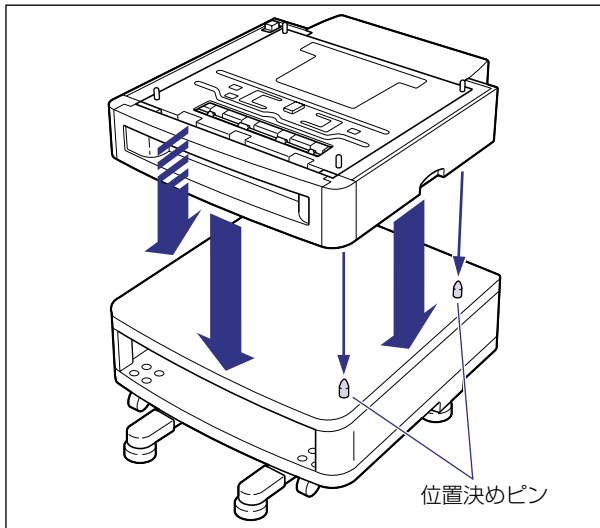
2 アジャスタを矢印の方向に回して上に突き当たるまで縮めます。

3 ペディスタルを設置場所に運びます。

重要

- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

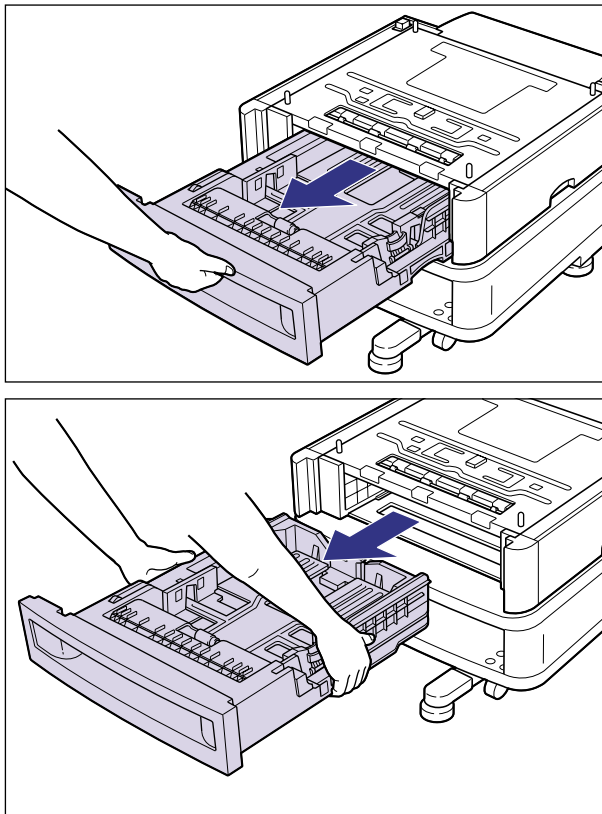
4 転倒防止脚を取り付けます。

5 アジャスタを矢印の方向に回して固定します。

アジャスタが均等に床に着くまで下ろし、しっかりと固定します。

6 ペーパーフィーダまたはプリンタ本体をペディスタルの両側面や前面に合わせてゆっくり載せます。

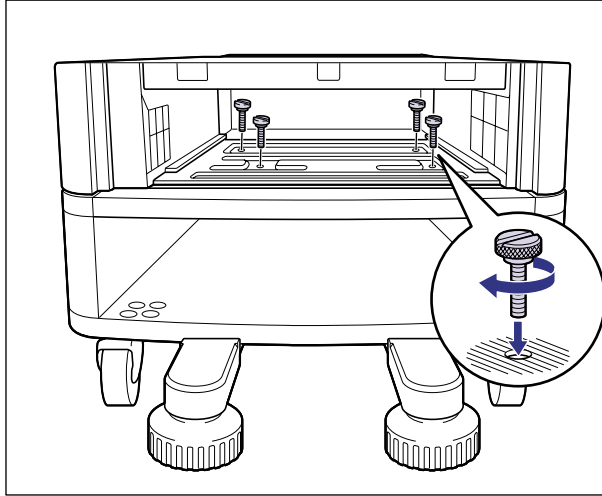
プリンタまたはペーパーフィーダを載せるときは、位置決めピンも合わせてください。

重要

- プリンタまたはペーパーフィーダがペディスタルにうまく載らないときは、一度プリンタまたはペーパーフィーダを持ち上げて、水平にしてから載せなおしてください。プリンタまたはペーパーフィーダを持ち上げずに無理に載せようとすると、ペディスタルの位置決めピンが破損することがあります。

7 ペーパーフィーダまたはプリンタの給紙カセットを引き抜きます。

給紙カセットはカチッと音がするまで前面の取っ手を持って引きだしてから、図のように側面の取っ手を両手で持って引き出します。

重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

8 付属の４本のネジでペディスタルを固定します。

ネジはしっかりと固定してください。

9 給紙カセットをセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、ペーパーフィーダまたはプリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意 • 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

• 給紙カセットが入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

10 手順６～手順９を繰り返してペーパーフィーダまたはプリンタをすべて取り付けます。

11 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

12 **アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

ペディスタルを取り外す

ペディスタルの取り外しは、次の手順で行います。

警告
- ペディスタル取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 **プリンタ本体の給紙カセットを引き抜きます。**

給紙カセットはカチッと音がするまで前面の取っ手を持って引きだしてから、側面の取っ手を両手で持って引き出します。

重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

4 **４本のネジを取り外します。**

取り付けるときと逆に回してネジを取り外します。

重要
- 取り外したネジは再度ペディスタルを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

5 **給紙カセットをプリンタ本体にセットします。**

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意
- 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

重要 ・給紙カセットが入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

6 プリンタを持ち上げて、ペディスタルまたはペーパーフィーダから取り外します。

7 ペーパーフィーダを取り付けている場合、上の段から順にペーパーフィーダを取り外します。

8 アジャスタを縮めてから、ペディスタルを移動します。

9 プリンタ本体を設置場所へ戻します。

10 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

RAM/ROM

拡張RAM、コントロールROMは、プリンタ本体内部のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じてRAMやROMを設定します。以下のことに気をつけてRAMやROMの取り付けを行ってください。

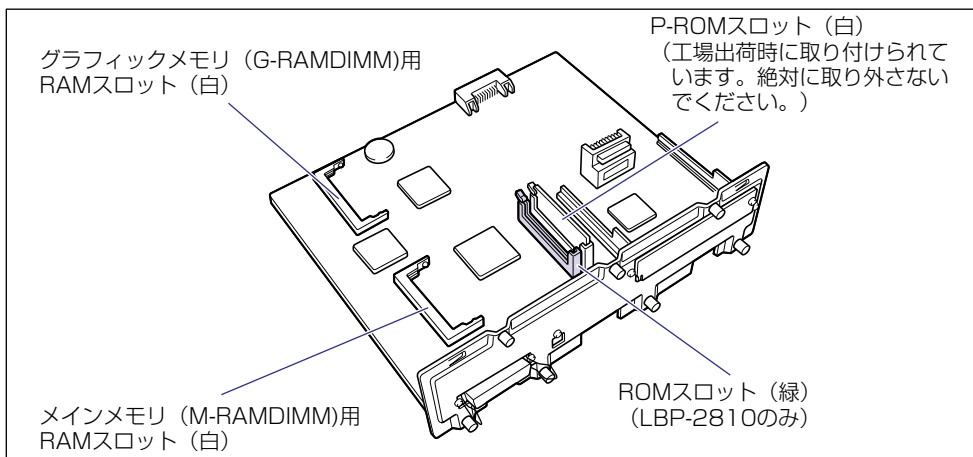
注意

- RAMやROMを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。
- メインボードやRAM、ROMの取り扱いには注意してください。メインボード、RAM、ROMの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

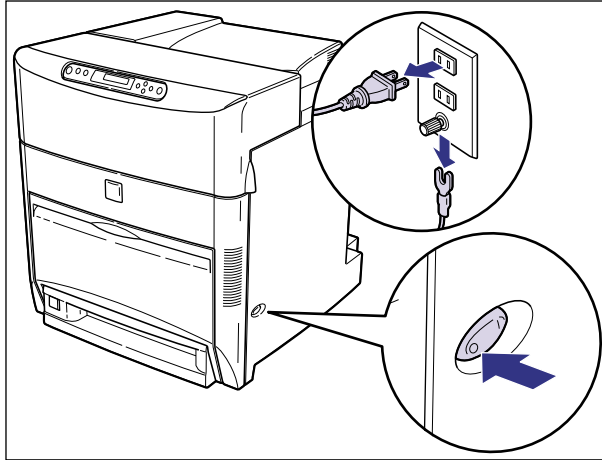
重要

- P-ROMスロット（白）に取り付けられているROMは絶対に取り外さないでください。プリンタが使用できなくなります。
- RAMとROMは、形状や取り付ける位置、取り付け方法が異なります。取り付け位置や取り付け方法を間違えないように気を付けてください。間違えると正しく動作しません。
- RAMやROM、メインボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ･一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ･作業中にディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ･メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ･静電気の影響を避けるために、RAMやROMは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。
- 取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

RAM、ROMの取り付け位置について

RAMとROMは、取り付ける位置が異なります。取り付ける前に図を参照して、取り付け位置を確認してから作業を行ってください。

RAMを取り付ける

RAM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。メインメモリ、グラフィックメモリとも同様の手順で取り付けます。

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 メインボードの７本のネジをゆるめます。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。

メモ
- ネジを手でゆるめることができないときは、プラスドライバを使用します。

4 メインボードを引き出し、両手で持って取り外します。

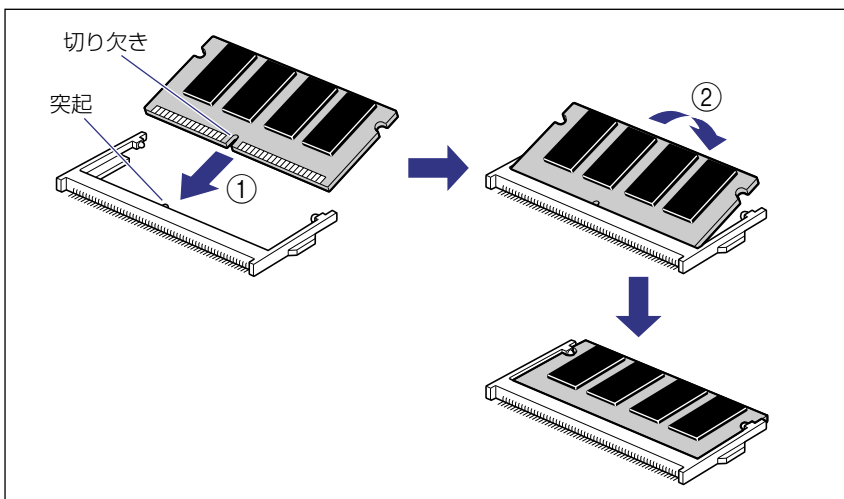
取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

警告
- 機器内部には、高圧になる部分があります。メインボードを取り外したり取り付けたりするときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように注意してください。感電の原因になります。

注意
- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

重要
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。

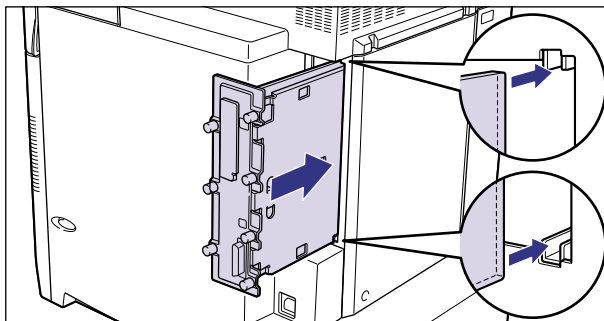
- メインボードの取り出し後、本体のメインボードスロット内にネジやクリップ、ホッチキスの針などを落とさないでください。これらがメインボードスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

5 白い RAM スロットへ斜め上から図のように切り欠きに合わせて差し込み ①、RAM の端子が見えなくなるくらいまで押し込んだあと、RAM の後側をカチッと音がするまで押します ②。

RAM が正しく取り付けられると、左右のレバーでロックされます。

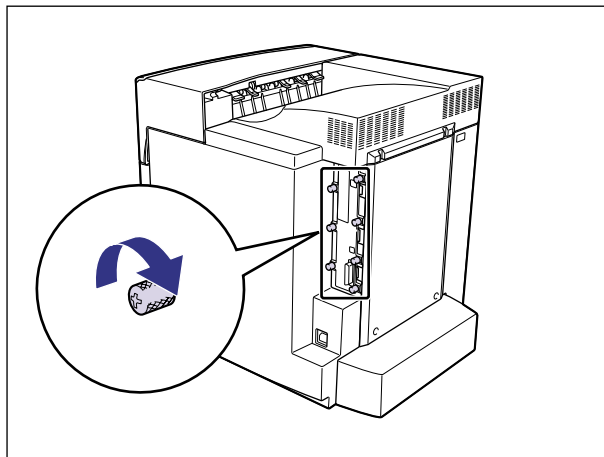
注意
- メインボードの部品や RAM の角でけがをしないように、注意してください。

重要
- メインメモリを増設するときは「M-RAMDIMM」と書かれているスロットへ、グラフィックメモリを増設するときは「G-RAMDIMM」と書かれているスロットへ差し込んでください。

6 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

プリンタ本体のメインボードスロットの上下にあるレールに合わせて、メインボードをまっすぐに押し込みます。

重要 • メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

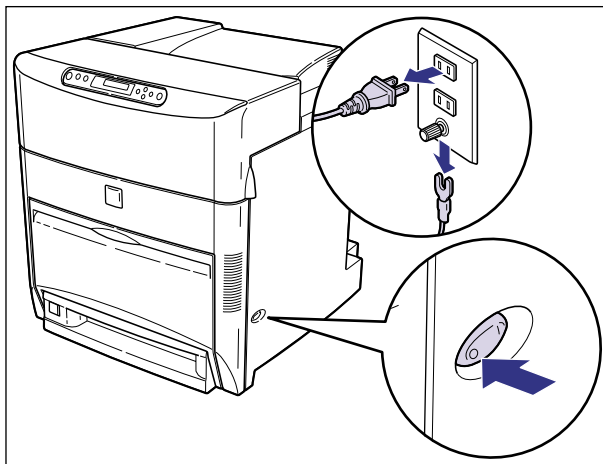
7 メインボードの７本のネジを締めて固定します。

メインボードとプリンタ本体の間にすきまができないように、しっかり固定してください。

8 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ROM を取り付ける（LBP-2810 のみ）

ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 メインボードの７本のネジをゆるめます。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。

メモ
- ネジを手でゆるめることができないときは、プラスドライバを使用します。

4 メインボードを引き出し、両手で持って取り外します。

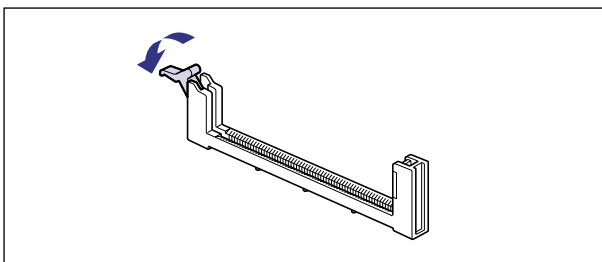
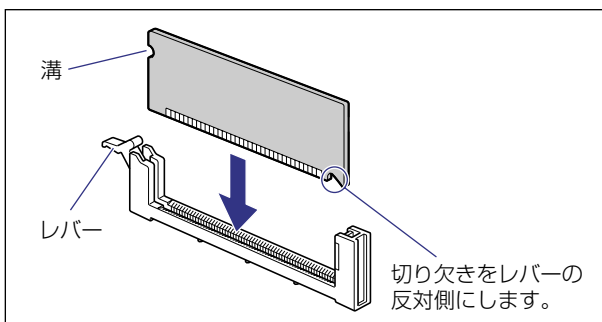
取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

警告
- 機器内部には、高圧になる部分があります。メインボードを取り外したり取り付けたりするときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように注意してください。感電の原因になります。

注意
- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

重要
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。

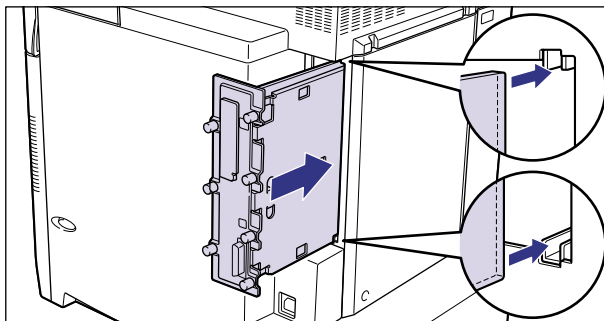
- メインボードの取り出し後、本体のメインボードスロット内にネジやクリップ、ホッチキスの針などを落とさないでください。これらがメインボードスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

5 緑色の ROM スロットのレバーを押し下げます。

6 ROM　の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

ROM が正しく取り付けられると、レバーの突起が ROM の溝に掛かります。

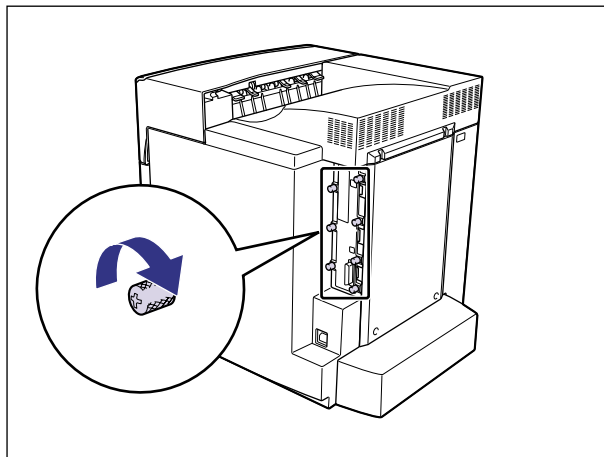
注意
- メインボードの部品や ROM の角でけがをしないように、注意してください。

3 オプション品の取り付け

7 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

プリンタ本体のメインボードスロットの上下にあるレールに合わせて、メインボードをまっすぐに押し込みます。

重要
- メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

8 メインボードの７本のネジを締めて固定します。

メインボードとプリンタ本体の間にすきまができないように、しっかり固定してください。

9 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

RAM、ROM の設定について

RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張 RAM	→	必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。
コントロール ROM	→	メニュー機能で設定します。

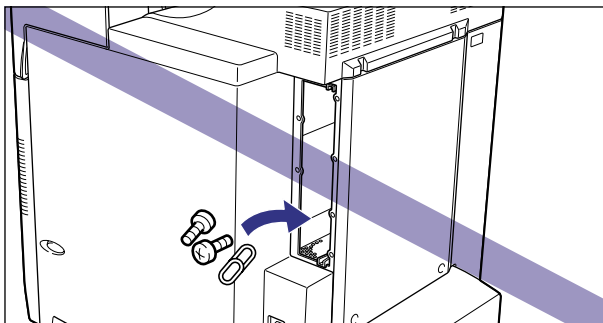
メモ
- 操作パネルのメニュー機能のエミュレーションモードの設定については「LIPS 機能ガイド」またはオプションのコントロール ROM に付属の取扱説明書を参照してください。

RAM または ROM を取り外す

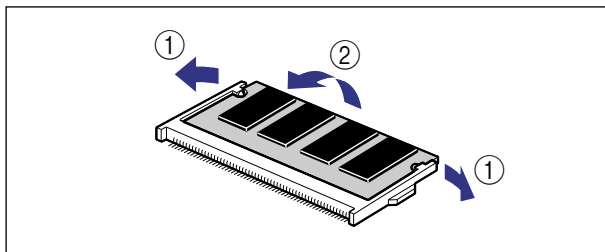
RAM または ROM は、プリンタ本体からメインボードを取り外してから、次の手順で取り外します。

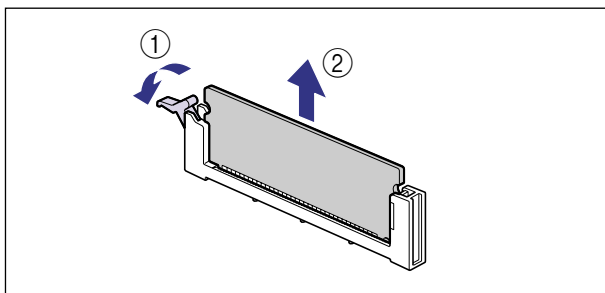
警告
- **機器内部には、高圧になる部分があります。メインボードを取り外したり取り付けたりするときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように注意してください。感電の原因になります。**

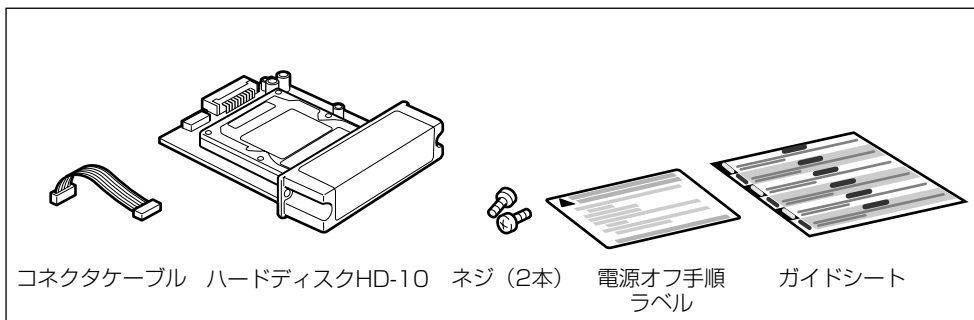
注意
- **RAM や ROM を取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。**
- **メインボードや RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

重要
- メインボードの取り出し後、本体のメインボードスロット内にネジやクリップ、ホッチキスの針などを落とさないでください。これらがメインボードスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

メモ
- メインボードの取り外しや取り付け手順は「RAM を取り付ける」(→ P.3-33)または「ROM を取り付ける（LBP-2810 のみ）」(→ P.3-38)を参照してください。

■ RAMの取り外しかた

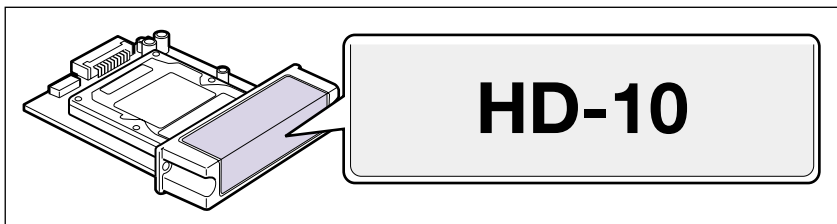
RAMスロット左右のレバーを同時に矢印の方向へ引くと①、RAMが外れます②。

■ ROMの取り外しかた（LBP-2810のみ）

ROMスロットのレバーを押し下げると①ロックが外れますので、ROMを引き抜きます②。

ハードディスク（LBP-2810 のみ）

ハードディスクは、メインボードの拡張ボードスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠注意

- ハードディスクを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。
- メインボードやハードディスクの取り扱いには注意してください。メインボード、ハードディスクの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要

- 本プリンタに装着可能なハードディスクは、ラベルに「HD-10」と記載されているもののみです。「HD-10」と記載されていないハードディスクを誤って使用した場合は、正しく動作しません。

- メインボードやハードディスクには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ･一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ･作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
  - ･メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ･取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。
  - ･静電気の影響を避けるために、ハードディスクは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、強い磁気を発生するものの側に近づけないでください。
  - ･ハードディスクを落としたり、衝撃を与えないでください。

・ハードディスクは精密機器なので、ドライブの上面を押したり、重ねたり、他の物にぶつけたりしないでください。
・ハードディスクのドライブ上面に貼ってあるラベルなどを絶対にはがさないでください。また、別のラベルなどを貼ったりしないでください。
・ハードディスクを気温の低い場所から急に暖かい場所へ移動しないでください。

- ハードディスクに貼ってある注意ラベルの記載事項を必ず守ってください。

メモ
- ハードディスクを使用するときは、64MB 以上の拡張 RAM（メインメモリ）の増設が必要です。ハードディスクと併せて取り付けてください。拡張 RAM の取り付けについては、「RAM を取り付ける」（→ P.3-33）を参照してください。

ハードディスクを取り付ける

ハードディスクは、次の手順でプリンタ本体のメインボードの拡張ボードスロットに取り付けます。ハードディスクの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

3
オプション品の取り付け

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 メインボードの 7 本のネジをゆるめます。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。

メモ
- ネジを手でゆるめることができないときは、プラスドライバを使用します。

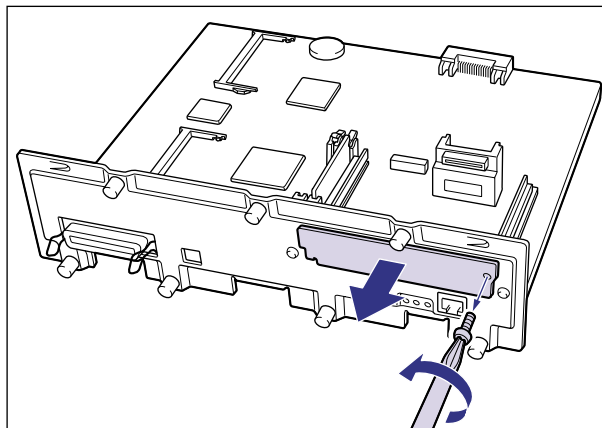
4 メインボードを引き出し、両手で持って取り外します。

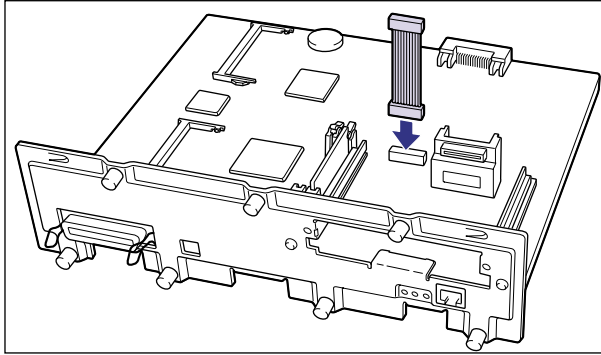
取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

警告
- 機器内部には、高圧になる部分があります。メインボードを取り外したり取り付けたりするときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように注意してください。感電の原因になります。

注意
- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

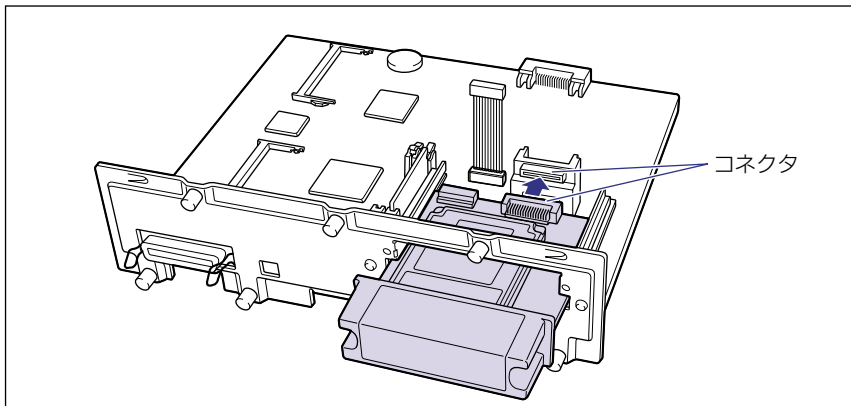
重要
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。
- メインボードの取り出し後、本体のメインボードスロット内にネジやクリップ、ホッチキスの針などを落とさないでください。これらがメインボードスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

5 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

重要
- 取り外した保護板とネジは、ハードディスクを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

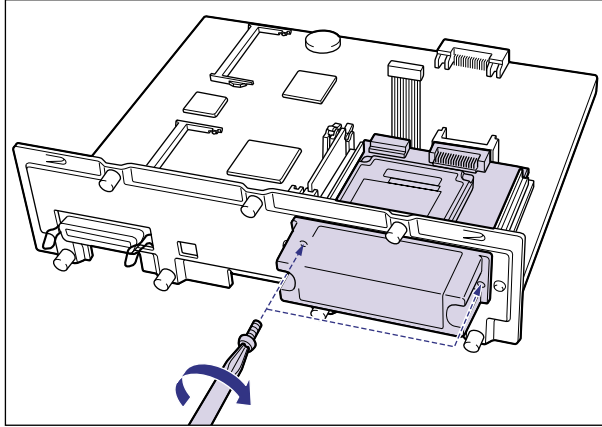
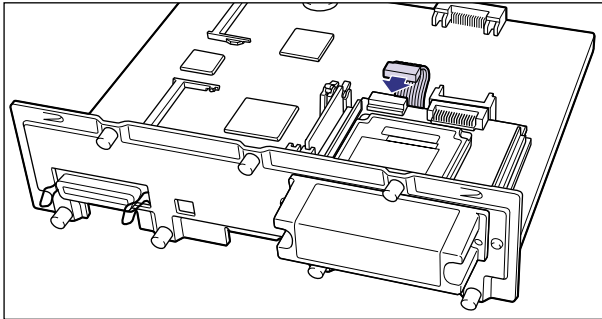
6 ハードディスクに付属のコネクタケーブルの、ベージュ色のコネクタをメインボードのベージュ色のソケットへ差し込みます。

⚠注意 • メインボードの部品やハードディスクの角でけがをしないよう、注意してください。

重要 • ソケットは、位置が合っていなかったり、斜めになっている状態で無理に押し込まないでください。ピンが破損し、ハードディスクが正しく動作しなくなることがあります。

7 ハードディスクを拡張ボードスロットに差し込みます。

ハードディスクは、金属製のカバー部分を持ち、拡張ボードスロット内部のスロットガイドに合わせて差し込みます。

重要 • メインボードとハードディスクのコネクタが合うように、しっかりと差し込んでください。

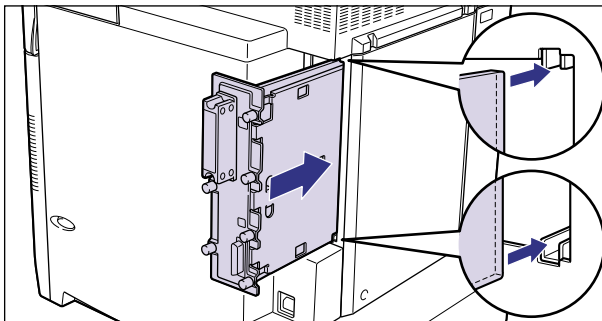
• メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

8 ハードディスクの左右を、付属の２本のネジで固定します。

9 コネクタケーブルの青色のコネクタをハードディスクの青色のソケットへ差し込みます。

重要

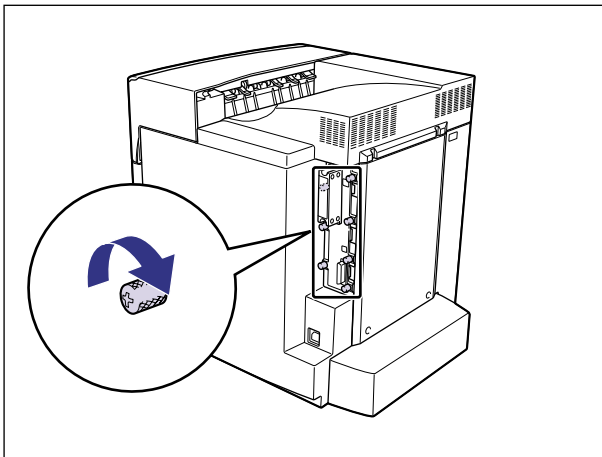
- ソケットは、位置が合っていなかったり、斜めになっている状態で無理に押し込まないでください。ピンが破損し、ハードディスクが正しく動作しなくなることがあります。

10 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

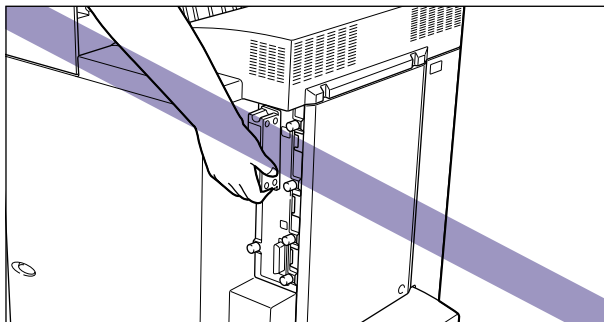
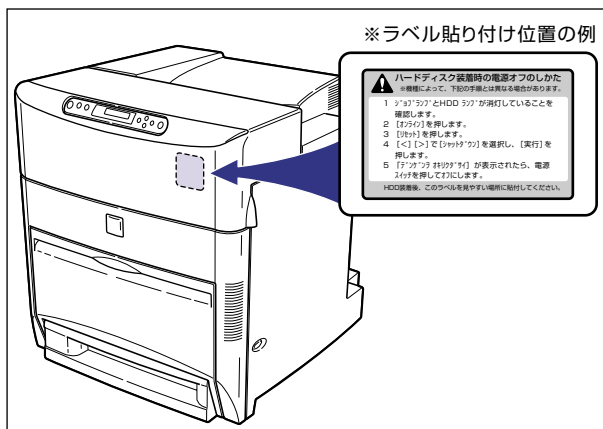
プリンタ本体のメインボードスロットの上下にあるレールに合わせて、メインボードをまっすぐに押し込みます。

重要

- メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

11 メインボードの７本のネジを締めて固定します。

メインボードとプリンタ本体の間にすきまができないように、しっかり固定してください。

重要

- ハードディスクとプリンタ本体の間にあるネジは、手では締められませんのでプラスドライバで締めてください。

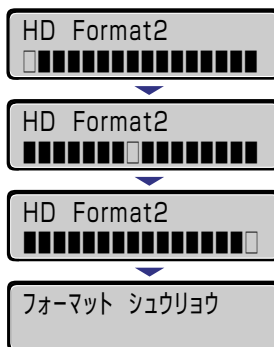
- プリンタを持ち運ぶ際は、絶対にハードディスクのカバーに手を掛けないでください。ハードディスク破損の原因になります。

12 ハードディスクに同梱されている「電源オフ手順ラベル」をプリンタ本体の見やすい場所に貼り付けます。

重要

- ハードディスク装着後、電源をオフにするときはハードディスク保護のため、ラベルの指示にしたがって「シャットダウン」を実行してから、電源スイッチの“○”側を押してください。

13 電源コード、アース線を接続します。

14 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

15 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

ハードディスクのフォーマットが行われます。
ハードディスクのフォーマット中は、次のような画面が表示され、フォーマットの進行状況を「□」で表します。フォーマットが終了するまで、しばらくお待ちください。

ハードディスクのフォーマットが終了したら、すべてのインタフェースケーブルを接続します。(→パソコンと接続する：P.2-32)

重要
- ハードディスクを取り付けたあと、初めてプリンタの電源スイッチをオンにすると、自動的にハードディスクのフォーマットが行われます。このときにフォーマットが行われない場合、ユーティリティメニューの「HD　ユーティリティ」で「フォーマット 1」を実行してください。詳細は、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

ハードディスクを取り外す

ハードディスクの取り外しは、次の手順で行います。ハードディスクの取り付け時に取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

注意
- 必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。

---

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 メインボードの7本のネジをゆるめます。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。

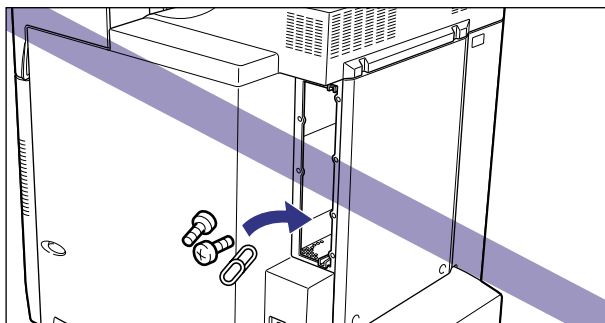
メモ
- ネジを手でゆるめることができないときは、プラスドライバを使用します。

4 メインボードを引き出し、両手で持って取り外します。

取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

警告
- 機器内部には、高圧になる部分があります。メインボードを取り外したり取り付けたりするときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように注意してください。感電の原因になります。

注意
- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

重要
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。
- メインボードの取り出し後、本体のメインボードスロット内にネジやクリップ、ホッチキスの針などを落とさないでください。これらがメインボードスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

5 コネクタケーブルをハードディスクとメインボードから取り外します。

注意
- メインボードの部品やハードディスクの角でけがをしないように、注意してください。

6 ハードディスクの左右の2本の固定ネジを取り外します。

重要
- 取り外したネジは再度ハードディスクを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

7 ハードディスクを引き抜きます。

取り外したハードディスクは、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

8 拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。

9 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

プリンタ本体のメインボードスロットの上下にあるレールに合わせて、メインボードをまっすぐに押し込みます。

重要 • メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

10 メインボードの 7 本のネジを締めて固定します。

メインボードとプリンタ本体の間にすきまができないように、しっかり固定してください。

11 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

12 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

プリントサーバ

プリントサーバは、プリンタ右側面の拡張ボードスロットへ取り付けます。プリントサーバの詳細については、プリントサーバの取扱説明書を参照してください。
ここでは、プリントサーバ NB-5F を例にしています。

注意
- **プリントサーバを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。**
- **プリントサーバの取り扱いには注意してください。プリントサーバの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

重要
- プリントサーバには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
  - ・プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、プリントサーバは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はプリントサーバを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。
- プリントサーバNB-5Fを取り付けたプリンタがAppleTalkネットワーク上に2台以上接続されている場合、それぞれのプリンタの電源は 10 秒以上間隔をおいてオンにしてください。

ケーブルやコネクタの準備

本プリントサーバをプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、ネットワークの種類に応じて次のようなケーブルやコネクタが必要です。あらかじめこれらのケーブルやコネクタを準備してから作業を行ってください。

■ ツイストペア LAN ケーブル

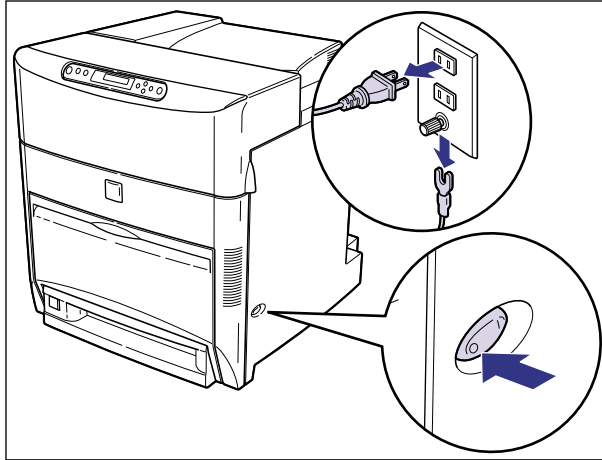
接続するネットワークに合わせて、10BASE-T または 100BASE-TX 対応のネットワークケーブル（両端に RJ-45 コネクタが付いたより対線）をご用意ください。

■ ハブ

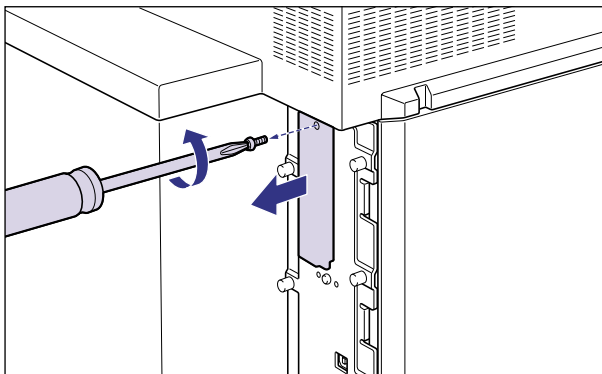
プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合、ハブの増設が必要になります。

プリントサーバを取り付ける

プリントサーバは、次の手順でプリンタ本体の拡張ボードスロットに取り付けます。プリントサーバの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

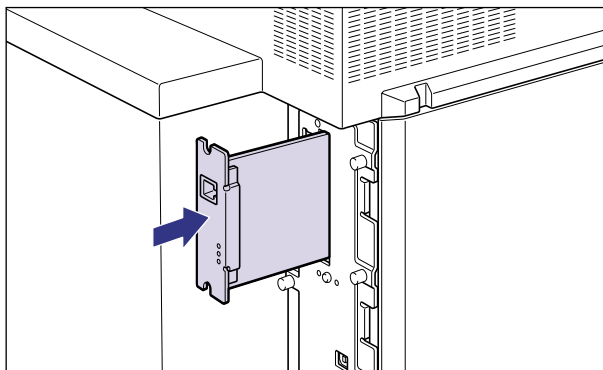
1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

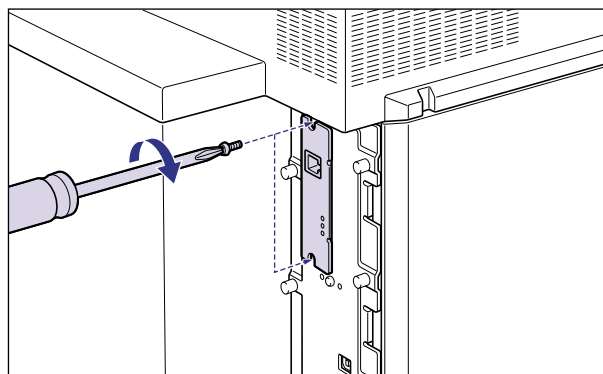
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

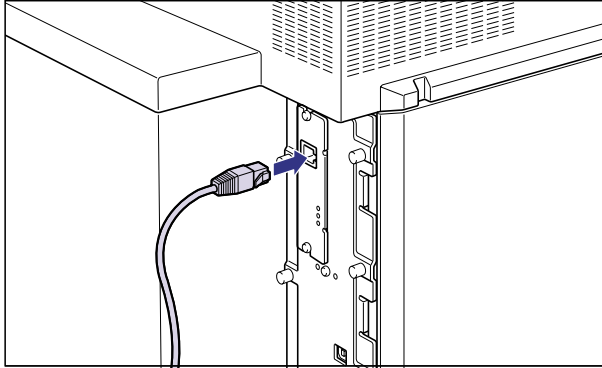
3 拡張ボードスロットのネジを外して、保護板を取り外します。

重要
- 取り外した保護板とネジは、プリントサーバを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

4 プリントサーバを拡張ボードスロットに差し込みます。

プリントサーバは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

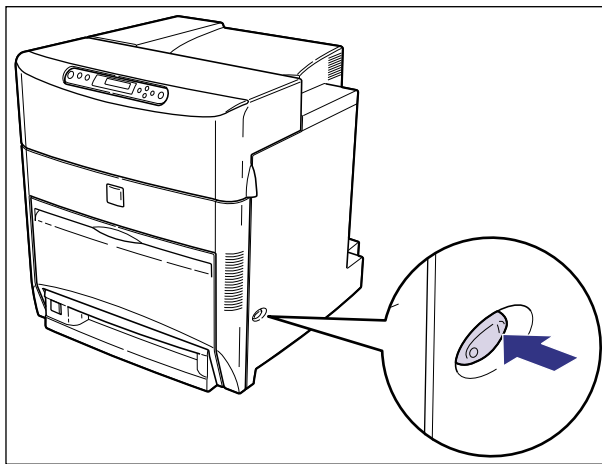
重要

- プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリントサーバのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

5 プリントサーバの上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

6 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、プリントサーバの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。

メモ
- ネットワークとの接続については、プリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

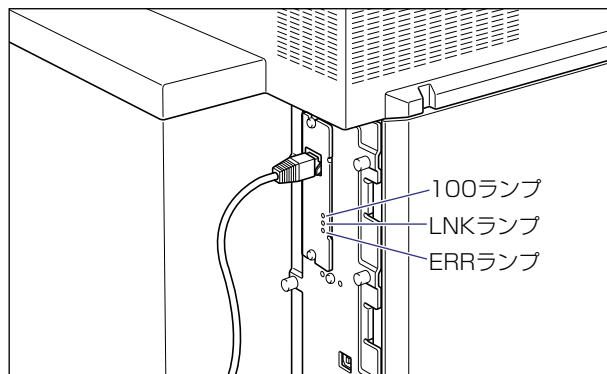
7 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　インサツ　カノウ」または「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

重要
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（→ユーザーズガイド）を参照してください。

10 プリントサーバのLNK ランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば正常です。
100BASE-TX の場合は、LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば正常です。

正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LAN ケーブルの接続やハブの動作、プリントサーバの取り付け状態を確認してください。（→プリントサーバに付属の取扱説明書）

11 確認が終わったら、電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにします。

プリントサーバを取り外す

プリントサーバの取り外しは、次の手順で行います。プリントサーバの取り付け時に取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

注意
- 必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 2 本のネジを外して、プリントサーバを取り外します。

取り外したプリントサーバは、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

重要

- プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 取り外したネジは再度プリントサーバを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

4 拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。

5 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

6 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

プリンタの動作と機能を確認する

この章では、設置後のプリンタの状態や設定値などを確認する方法、プリントサーバの動作確認や設定方法について説明しています。

動作を確認する

本プリンタには、現在使用可能な機能および現在の設定値を確認するためのステータスプリント機能があります。また、本プリンタをネットワークに接続している場合は、プリントサーバの動作状態をランプで確認することができます。プリンタの準備や接続が終了したらステータスプリントやプリントサーバの動作確認を行い、正しく動作することを確認してください。

プリンタの動作を確認する

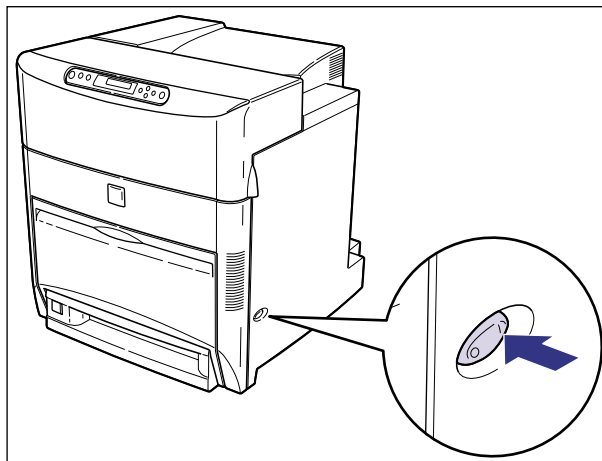
現在使用できる機能やメニュー設定値の一覧を確認するときは、ステータスプリントを行います。

メモ

- ステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙がプリントされます。

ステータスプリント

ステータスプリントは、次の手順で行います。

1 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」または「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

2 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

3 ［ユーティリティ］を押します。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ →

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

4 ［実行］を押します。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ →

01 ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ

ディスプレイに「01　ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントがプリントされます。

ステータスプリントの内容

ステータスプリントを行うと、次のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

重要

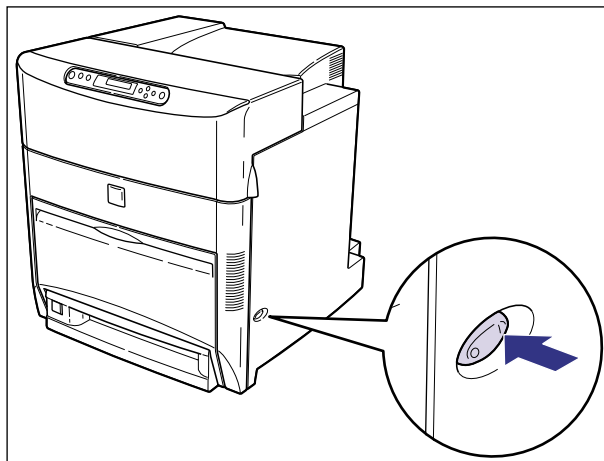
- ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは、一部内容が異なる場合があります。

プリントサーバの動作確認と設定をする（LBP-2810のみ）

プリントサーバの動作確認の方法と正しく動作しない場合のプリントサーバの設定方法について説明しています。

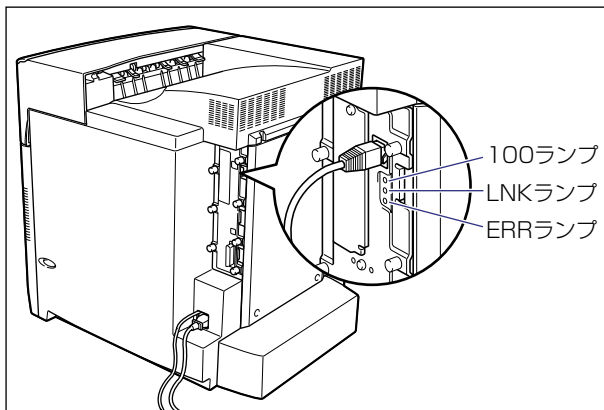
プリントサーバの動作を確認する

プリントサーバの動作確認は、次の手順で行います。

1 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」と表示され、プリント可能な状態になります。

- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（→ユーザーズガイド）を参照してください。

2 プリントサーバのLNK ランプ（緑）が点灯していることを確認します。

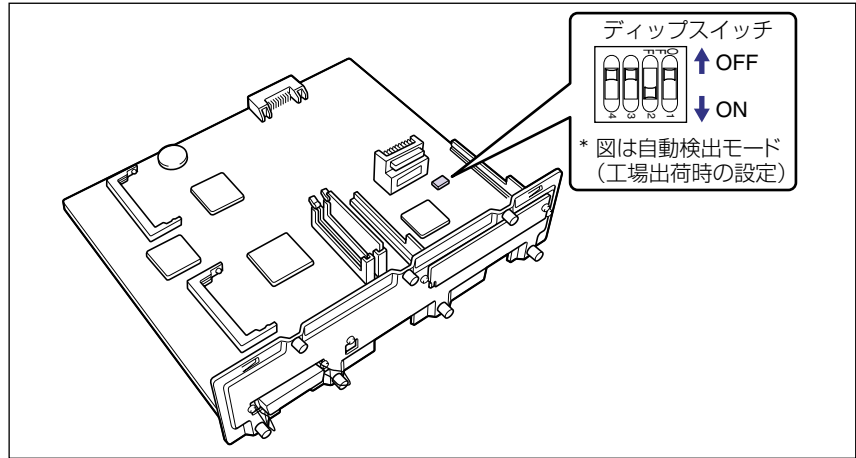
10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば、正常です。
100BASE-TX の場合は、LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば、正常です。

正常に動作していない場合は、LAN ケーブルの接続やハブの動作状態を確認してください。他の機器がすべて正常に動作している場合は、プリンタの電源をオフにしてメインボードを取り外し、プリントサーバのディップスイッチを接続したネットワークに合わせて変更してください。（→次項目）

重要
- プリントサーバのランプは正面（プリンタの右側面）から水平に見て確認してください。

3 確認が終わったら、電源スイッチの "○" 側を押して電源をオフにします。

プリントサーバを設定する

内蔵のプリントサーバは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE/100BASE の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないときは、メインボードのプリントサーバ用のディップスイッチを設定してください。プリントサーバの設定は、プリンタの電源をオフにしてからプリンタ右側面のメインボードを取り外して行います。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

- ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

LANの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード （工場出荷時の設定）	OFF ON
10BASE-T／半二重モード に固定する場合	OFF ON
10BASE-T／全二重モード に固定する場合	OFF ON
100BASE-TX／半二重モード に固定する場合	OFF ON
100BASE-TX／全二重モード に固定する場合	OFF ON

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 メインボードの7本のネジをゆるめます。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。

メモ ● ネジを手でゆるめることができないときは、プラスドライバを使用します。

4 メインボードを引き出し、両手で持って取り外します。

取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

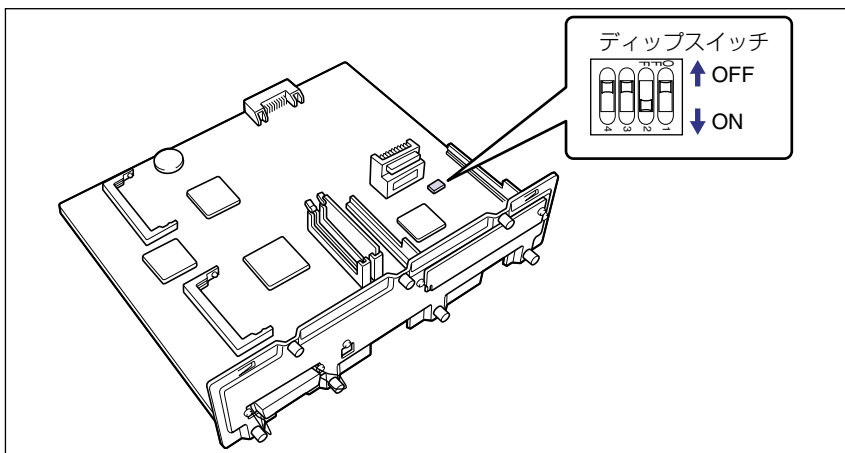
警告 ● 機器内部には、高圧になる部分があります。メインボードを取り外したり取り付けたりするときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように注意してください。感電の原因になります。

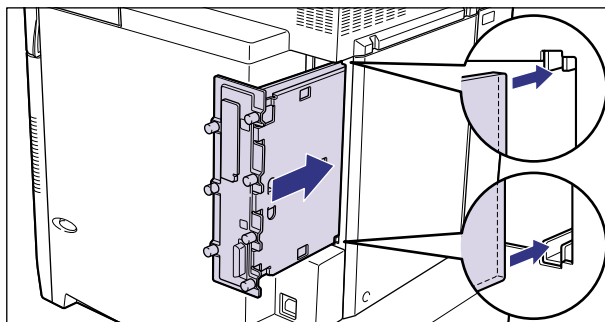
注意 ● メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

重要 ● メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
● 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。

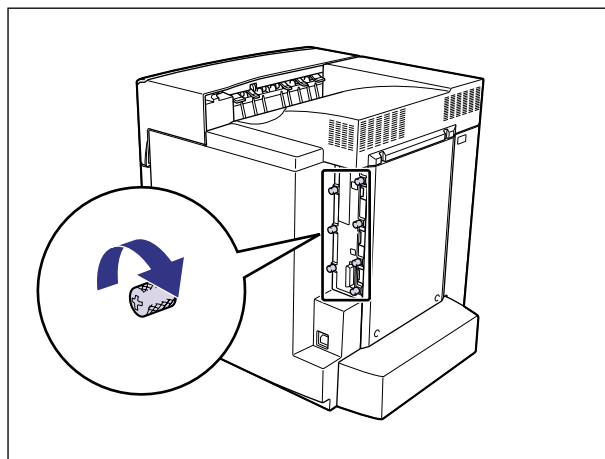
- メインボードの取り出し後、本体のメインボードスロット内にネジやクリップ、ホッチキスの針などを落とさないでください。これらがメインボードスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

5 ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.4-7 の表を参照してください。

6 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

プリンタ本体のメインボードスロットの上下にあるレールに合わせて、メインボードをまっすぐに押し込みます。

重要 ● メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

7 メインボードの7本のネジを締めて固定します。

メインボードとプリンタ本体の間にすきまができないように、しっかり固定してください。

8 プリンタ本体の電源コードやインタフェースケーブルを接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

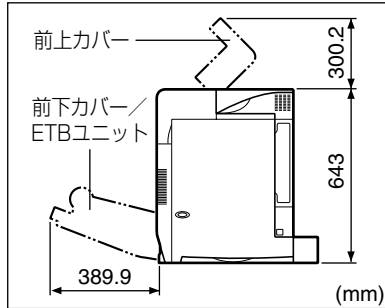
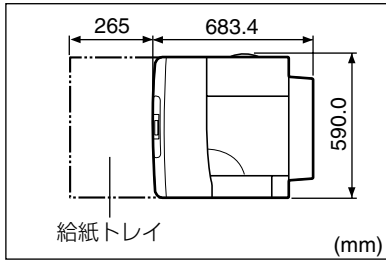
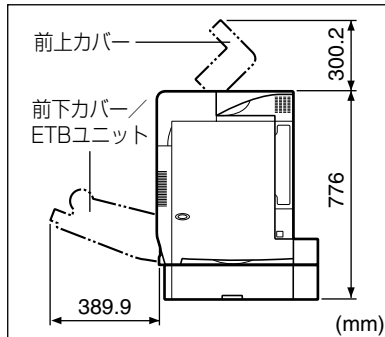
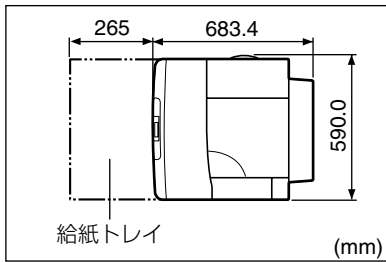
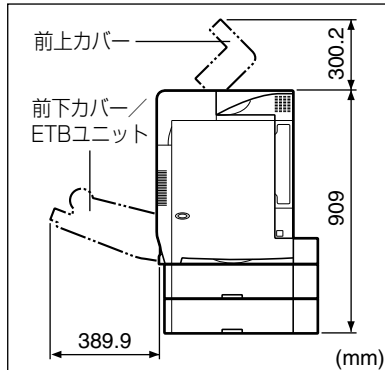
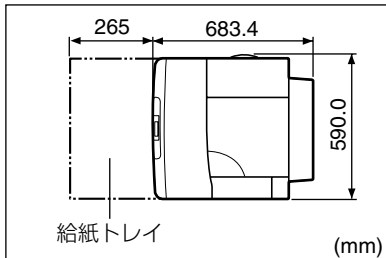
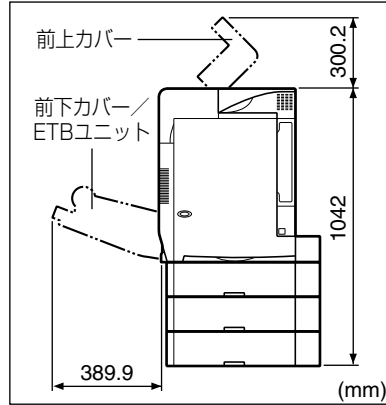
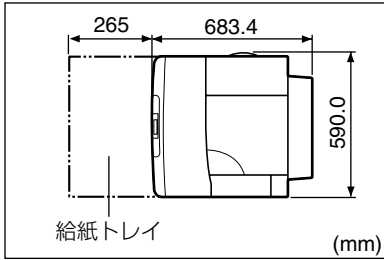
付録

5
CHAPTER

この章では、各部の寸法や、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内などを記載しています。

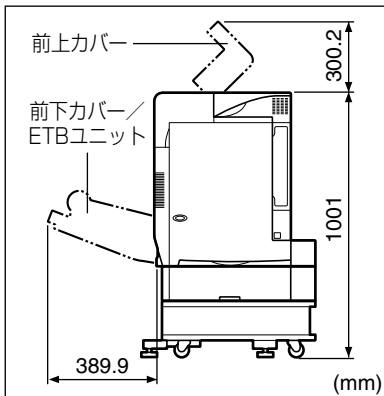
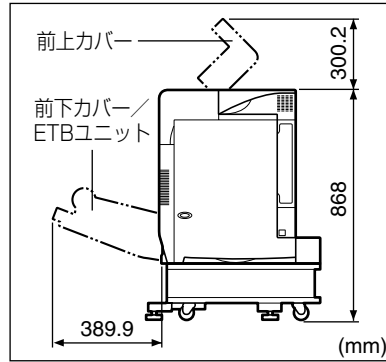
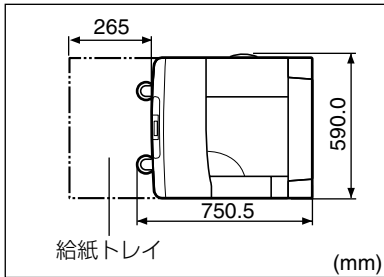
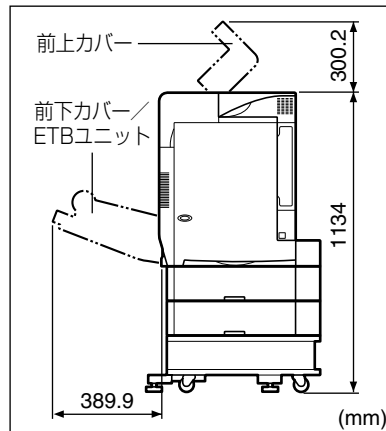
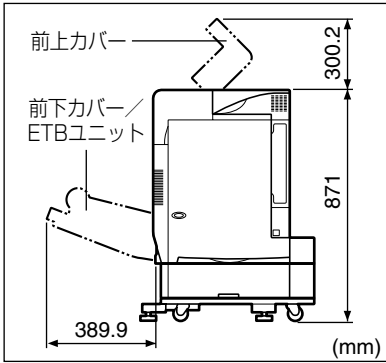
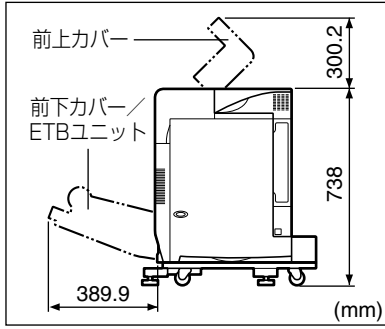
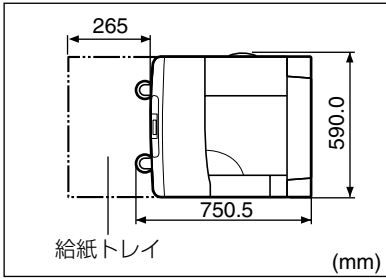
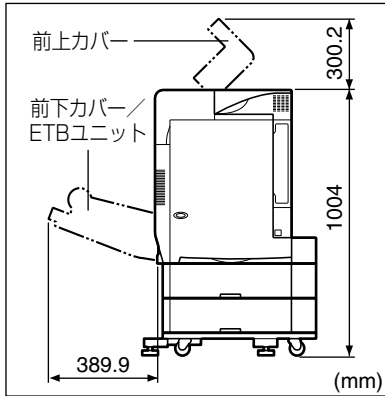
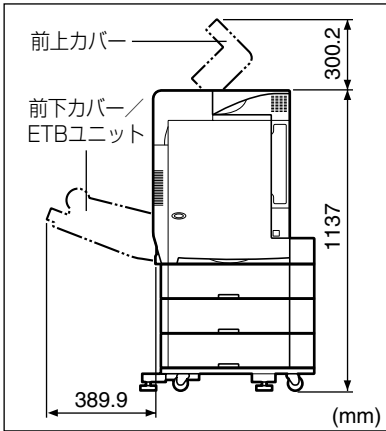
各部の寸法

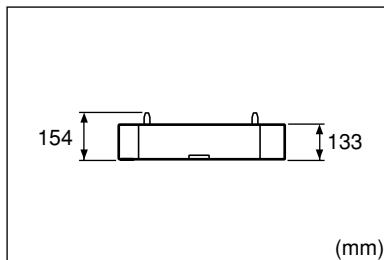
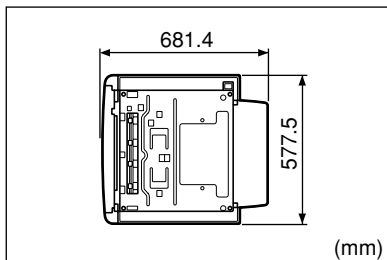
■ プリンタ本体

• 標準仕様

• ペーパーフィーダ 1 台装備仕様

• ペーパーフィーダ 2 台装備仕様

- ペーパーフィーダ 3 台装備仕様

- ペディスタル（ボックスタイプ）装備仕様

ペディスタル（ボックスタイプ）
＋ペーパーフィーダ1台

ペディスタル（ボックスタイプ）
＋ペーパーフィーダ2台

5
付録

- ペディスタル（キャスタタイプ）装備仕様

ペディスタル（キャスタタイプ）
＋ペーパーフィーダ1台

ペディスタル（キャスタタイプ）
＋ペーパーフィーダ2台

ペディスタル（キャスタタイプ）
＋ペーパーフィーダ3台

■ ペーパーフィーダユニット PF-86

■ ペディスタル（ボックスタイプ）

■ ペディスタル（キャスタタイプ）

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

保守サービスのご案内

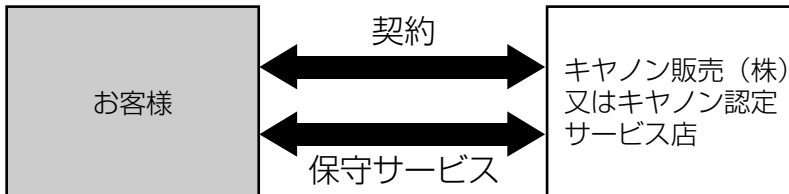
■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

5

付録

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ 簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ 電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ 固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。
「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

- 定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、「定期交換部品のご案内」（→ユーザーズガイド）を参照してください。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

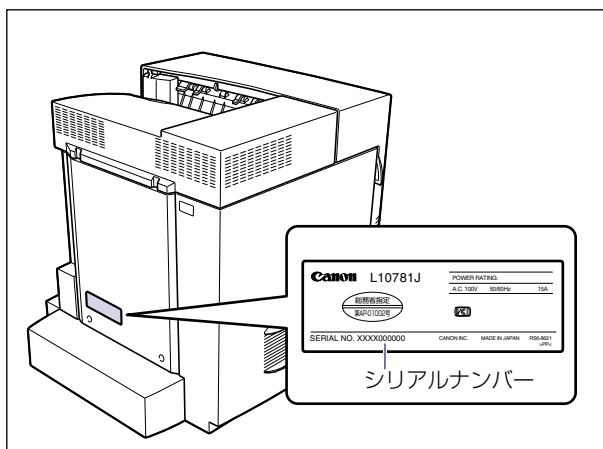
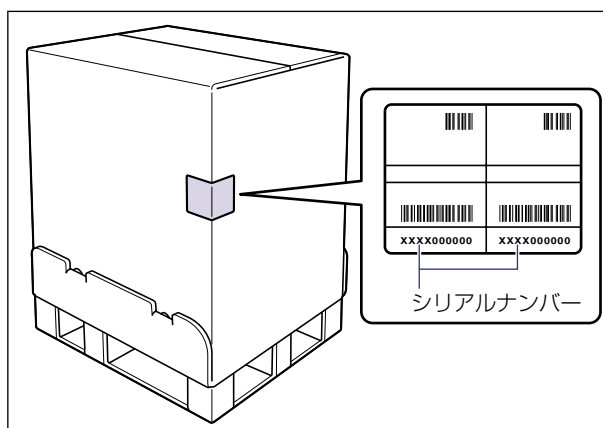
シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要 • シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

■ 梱包箱外側

5
付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネット、FAX 情報サービスを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

■ **キヤノン FAX 情報サービス**

札幌（011）728-0485	秋田（018）826-0441	仙台（022）211-5730
東京（03）3455-5962	名古屋（052）936-0758	大阪（06）4795-9011
広島（082）240-6729	高松（087）826-1621	福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。

各種ドライバ入手方法ご案内：10001 #

ドライバ代引き配送サービス一覧：11001 #

ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ CD-ROM・FD の代引き配送サービス

プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM もしくは FD を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。
ソフトウェアの種類、内容、金額は FAX 情報サービス、キヤノンホームページなどでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM・FD が異なります。

本書は、本文に100%の再生紙を使用しています。

本書は、揮発性有機化合物(VOC)ゼロのインキを使用しています。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

ナビダイヤル **0570-01-9000**（商品該当番号：42）

※全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号<42>または（レーザショット）とお話しください。
[受付時間]　<平日> 9:00～20:00
<土日祝日> 10:00～17:00（1/1～1/3を除く）

※PHSまたは海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。

※電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合は案内窓口にお繋ぎいたします。

※音声応答システム･受付時間･該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■アクセスポイント

札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・水戸・つくば・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・厚木・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・甲府・沼津・静岡・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・金沢・富山・和歌山・福井・京都・大津・大阪・神戸・姫路・岡山・広島・福山・山口・鳥取・松江・高松・徳島・高知・松山・北九州・福岡・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区三田3-11-28

Canonホームページ：http://canon.jp

PUB. R-IJ-1132AB

MADE IN JAPAN